
仙 台 市

地 域 経 済 動 向 調 査 報 告

(43)

平成 21 年 7 月 ~ 9 月 期 (今 期) 実 績
平成 21 年 10 月 ~ 12 月 期 (来 期) 見 通 し

平成 2 1 年 1 0 月

仙 台 市 経 済 局

目次

1 . 調査の概要.....	1
2 . 調査結果の総括.....	2
< 仙台市企業経営動向調査結果 (D I) の総括表 >	2
< 業況判断 (事業所の業況) D I の動向 > 仙台市における業種別業況判断の動向.....	3
< 業況判断 (事業所の業況) D I の動向 > 仙台市・東北・全国の業況判断 D I の比較.....	4
3 . 企業経営動向調査結果 (D I) の概要.....	5
設問 1 - 1 売上高.....	5
設問 1 - 2 販売数量.....	6
設問 1 - 3 経常利益.....	7
設問 2 - 1 製 (商) 品単価.....	8
設問 2 - 2 原材料 (仕入) 価格.....	9
設問 3 - 1 製 (商) 品在庫.....	10
設問 3 - 2 労働力.....	11
設問 3 - 3 生産・営業用設備.....	12
設問 3 - 4 資金繰り.....	13
設問 4 - 1 正規従業員数.....	14
設問 4 - 2 非正規従業員数.....	15
設問 4 - 3 生産・営業用設備 (予定)	16
設問 5 - 1 事業所の業況 (業況の良し悪し)	17
設問 6 - 1 事業所の業況 (業況の変化)	18
設問 7 - 1 経営上の課題.....	19
4 . 業界ヒアリング調査結果.....	20
資料編.....	25
(1) 企業経営動向調査結果 (D I) の詳細	
規模別 D I	27
業種別 D I	32
経営の課題.....	46
(2) 東北、全国の調査結果	
東北.....	47
全国.....	49
(3) 主要経済指標	
主要経済指標グラフ.....	50
主要経済指標一覧表.....	54
(4) 調査票.....	60

企業経営動向調査結果（DI）の用語について

DI について

DI とは、Diffusion Index（ディフュージョン・インデックス）の略であり、「良い/悪い」「増加/減少」などの定性的な判断を指標として集計加工した指数。分析にあたっては、DI 値のみではなく、回答の構成比、前回調査からの DI 値の変化に留意する必要がある。

本調査における DI の算出方法

売上高、販売数量、経常利益「増加」と答えた事業所の割合 - 「減少」と答えた事業所の割合

DI 値が大きいほど状況は良いということになる。

製（商）品単価、原材料（仕入）価格「上昇」と答えた事業所の割合 - 「下降」と答えた事業所の割合

DI 値が大きいほど、価格の上昇感が強いということになる。

製（商）品在庫、労働力、生産・営業用設備「過剰・やや過剰」と答えた事業所の割合 - 「不足・やや不足」と答えた事業所の割合

DI 値が大きいほど、過剰感が強いということになる。

資金繰り「楽である・やや楽である」と答えた事業所の割合 - 「苦しい・やや苦しい」と答えた事業所の割合

DI 値が大きいほど資金繰りが容易ということになる。

正規従業員数、非正規従業員数「増員」と答えた事業所の割合 - 「減員」と答えた事業所の割合

DI 値が大きいほど増員予定の事業所が減員予定の事業所に比べ、多いということになる。

生産・営業用設備（予定）「増強」と答えた事業所の割合 - 「縮小」と答えた事業所の割合

DI 値が大きいほど増強予定の事業所が縮小予定の事業所に比べ、多いということになる。

事業所の業況、業況の変化「良い、好転」と答えた事業所の割合 - 「悪い、悪化」と答えた事業所の割合

DI 値が大きいほど業況判断は良いということになる。

- DI 値の算出においては、事業所規模の大小に基づくウェイト付けは行っており、一社一票の単純平均の形をとっている。

今期 = 平成 21 年 7 月 ~ 9 月期

来期 = 平成 21 年 10 月 ~ 12 月期

前期比 = 前 3 ヶ月間との比較

前年同期比 = 1 年前の同期間との比較

事業所の規模

中小企業基本法の基準を参考に、業種毎に、従業者数をもとに、事業所の規模を下表のように区分している。

業種	製造業、建設業、運輸業、 不動産業	卸売業、 サービス業（個人向け）、 サービス業（法人向け・ほか）	小売業、 飲食店・宿泊業
大規模事業所	300 人以上	100 人以上	50 人以上
中規模事業所	20 人以上 300 人未満	5 人以上 100 人未満	5 人以上 50 人未満
小規模事業所	20 人未満	5 人未満	5 人未満

1. 調査の概要

(1) 調査目的

仙台市の経済動向を把握し、適切かつ効果的な施策を推進するための基礎的な資料とするため、仙台市が調査を実施する。

また、調査結果については、各関係機関に対し、本市経済の動向を把握する基礎資料として提供する。

(2) 調査時期

本調査は、企業経営動向調査、業界ヒアリング調査、主要経済指標の動向調査により構成しており、四半期毎に実施している。今回の調査は平成 21 年 9 月に実施した。

(3) 調査方法

企業経営動向調査 (D I)

事業所・企業統計調査対象事業所名簿から、業種や規模別に無作為に抽出した仙台市内の事業所 1,000 社に対して、郵送によりアンケート調査を実施した。

(調査期間：平成 21 年 9 月 1 日～9 月 16 日)

業種	従業員規模			
	全規模計	大規模	中規模	小規模
全業種計 (有効回収率：%)	696 69.6	127 63.5	299 74.8	270 67.5
製造業	145	5	61	79
非製造業	551	122	238	191
建設業	74	1	38	35
運輸業	73	1	42	30
卸売業	65	16	37	12
小売業	64	20	21	23
飲食店・宿泊業	56	19	26	11
不動産業	75	0	24	51
サービス業(個人向け)	70	32	23	15
サービス業(法人向け・ほか)	74	33	27	14

業界ヒアリング調査

仙台市内の主な業種毎の事業所 30 社に対し、景気動向の現状や、各事業所における課題等について仙台市職員及び(財)仙台市産業振興事業団職員が聞き取りを行った。調査は、平成 21 年 9 月 24 日～平成 21 年 10 月 19 日にかけて実施した。

主要経済指標の動向調査

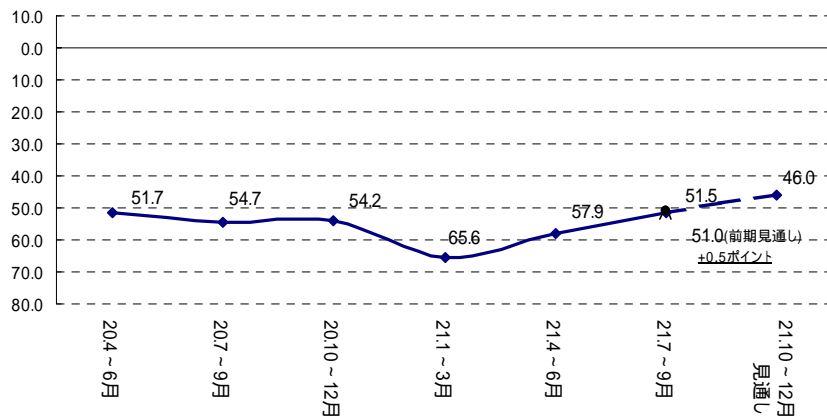
仙台市の産業関連資料、国、県、金融機関等の経済関係資料を集約し、本市域の経済活動の推移をみるための資料として、グラフと一覧表にまとめた。

2. 調査結果の総括

今期の市内事業所の業況判断は、前期に比べ上昇した。業種別では、運輸業、不動産業では下降し、建設業、飲食店・宿泊業ではほぼ横ばい、これら以外の業種では上昇した。

来期も、上昇する見通しであり、業種別では、サービス業（個人向け）で下降、建設業ではほぼ横ばい、それ以外の業種で上昇するものと見込まれる。

業況判断(事業所の業況)DIの推移



< 仙台市企業経営動向調査結果 (DI) の総括表 >

調査項目 (DI)	今期実績 (前回調査実績との比較)		来期見通し (今期実績との比較)	
売上高	上昇した	↗	上昇する見通し	↗
販売数量	ほぼ横ばい	⇔	上昇する見通し	↗
経常利益	上昇した	↗	上昇する見通し	↗
製(商)品単価	下降した	↘	ほぼ横ばいの見通し	⇔
原材料(仕入)価格*	上昇した	↗	上昇する見通し	↗
製(商)品在庫*	下降した	↘		
労働力*	下降した	↘		
生産・営業用設備*	ほぼ横ばい	⇔		
資金繰り	ほぼ横ばい	⇔		
正規従業員数	ほぼ横ばい	⇔		
非正規従業員数	上昇した	↗		
生産・営業用設備(予定)	ほぼ横ばい	⇔		
事業所の業況 (業況の良し悪し)	上昇した	↗	上昇する見通し	↗
事業所の業況 (業況の変化)	ほぼ横ばい	⇔		

上昇
 横ばい
 下降

DI = 「上昇」(「増加」「過剰」「良い」と答えた事業所の割合(%))
 - 「下降」(「減少」「不足」「悪い」と答えた事業所の割合(%))
 表中の今期はH21年7~9月、来期はH21年10~12月をあらわす。
 表中の*印は、DIがマイナス値である方が、好況、好転を示す。
 調査結果の詳細についてはP5~P19、P25~P46参照

＜業況判断（事業所の業況）DIの動向＞

～ 仙台市企業経営動向調査結果（DI）より ～

仙台市における業種別業況判断（DI）の動向

業種	状 況	今期実績	来期見通し
製造業	今期のDI値は 61.1と、前期に比べて7.4ポイント上昇した。来期見通しでは 57.6と、今期に比べて3.5ポイント上昇する見通しである。		
建設業	今期のDI値は 63.5と、前期（ 63.6）に比べてほぼ横ばいである。来期見通しでは 63.9と、今期に比べてほぼ横ばいの見通しである。		
運輸業	今期のDI値は 80.6と、前期に比べて8.5ポイント下降した。来期見通しでは 63.4と、今期に比べて17.2ポイント上昇する見通しである。		
卸売業	今期のDI値は 40.0と、前期に比べて12.2ポイント上昇した。来期見通しでは 35.4と、今期に比べて4.6ポイント上昇する見通しである。		
小売業	今期のDI値は 34.9と、前期に比べて30.8ポイント上昇した。来期見通しでは 29.8と、今期に比べて5.1ポイント上昇する見通しである。		
飲食店・宿泊業	今期のDI値は 50.0と、前期（ 50.9）に比べてほぼ横ばいである。来期見通しでは 44.5と、今期に比べて5.5ポイント上昇する見通しである。		
不動産業	今期のDI値は 50.7と、前期に比べて1.4ポイント下降した。来期見通しでは 35.6と、今期に比べて15.1ポイント上昇する見通しである。		
サービス業 （個人向け）	今期のDI値は 26.1と、前期に比べて3.8ポイント上昇した。来期見通しでは 31.3と、今期に比べて5.2ポイント下降する見通しである。		
サービス業 （法人向け・ほか）	今期のDI値は 42.4と、前期に比べて12.7ポイント上昇した。来期見通しでは 35.6と、今期に比べて6.8ポイント上昇する見通しである。		



上 昇

横 ば い



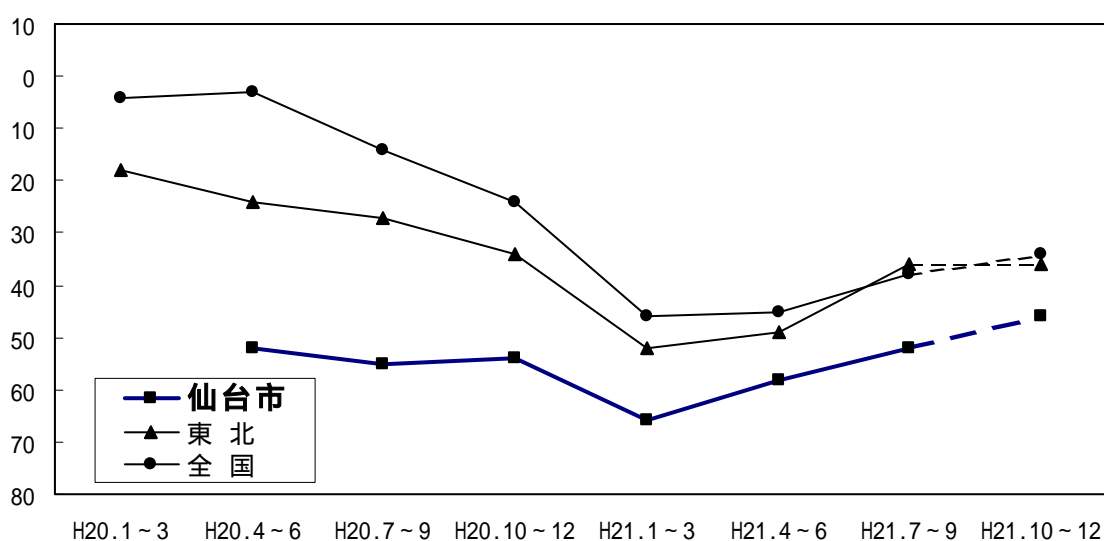
下 降

DI = 「良い」と答えた事業所の割合(%) - 「悪い」と答えた事業所の割合(%)
 表中の前期はH21年4～6月、今期はH21年7～9月、来期はH21年10～12月をあらわす。
 本調査における業況判断（事業所の業況）DIとは、事業所の業況（業況の良し悪し）DIをいう。
調査結果の詳細については資料編のP44参照

仙台市、東北、全国の業況判断DIの比較

今期（平成21年7～9月）における仙台市の業況判断DIは、前期（平成21年4～6月）に比べ、上昇した。来期（平成21年10～12月）の見通しは、仙台市、全国で上昇、東北で横ばいと捉えられている。

仙台市、東北、全国の業況判断DI比較（全業種）



調査票、設問内容を変更したため、仙台市においては、過去のデータと連続しない。H21.10～12については見通し

全国地域別の業況判断DI

		20/3月	20/6月	20/9月	20/12月	21/3月	21/6月	21/9月		21/12月
								21/6月比 ポイント差	予測	
全業種	仙台市		52	55	54	66	58	52	6	46
	東北	18	24	27	34	52	49	36	13	36
	全国	4	7	14	24	46	45	38	7	34

DI = 「良い」と答えた事業所の割合(%) - 「悪い」と答えた事業所の割合(%)

値が小さいほど、業況判断は悪いということになる。 はマイナスを表す。

仙台市については本調査における**事業所の業況（業況の良し悪し）DI値**（ P17参照）

東北については、日銀仙台支店発表の日銀全国企業短観調査（東北地区六県）におけるDI値。

全国については、日銀全国企業短観調査（平成21年9月）におけるDI値。

日銀全国企業短観調査の調査対象は、資本金2千万円以上の民間企業（金融機関を除く）であり、

本調査の対象とは異なる。

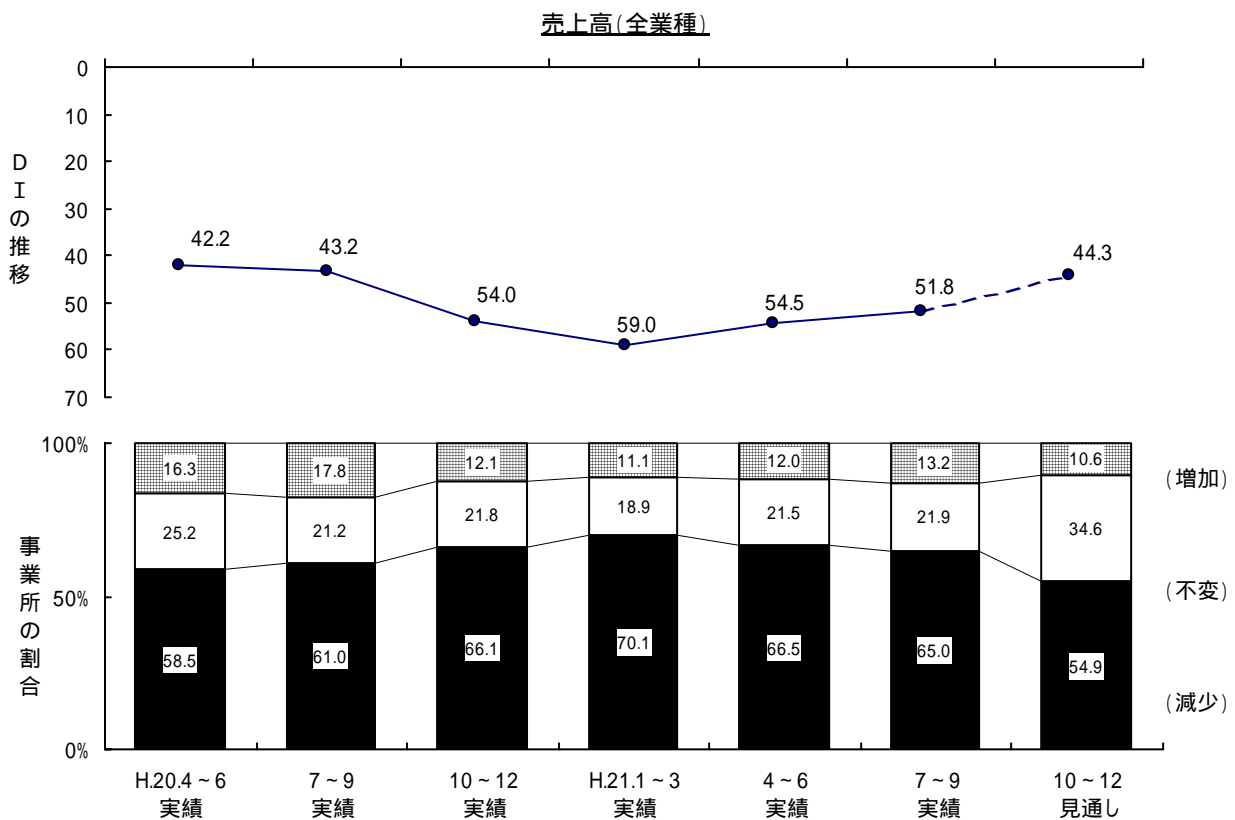
3. 企業経営動向調査結果（D I）の概要

用語の説明については目次裏参照

設問 1 - 1 売上高（前年同期比）

今期の売上高のD Iは 51.8（前期比+2.7）と、やや上昇した。来期の売上高のD Iは、上昇する見通しである。今期の売上高のD Iを業種別で見ると、建設業では下降し、運輸業、サービス業（法人向け・ほか）ではほぼ横ばい、これら以外の業種では上昇した。

規模別、業種別D Iの詳細については、それぞれP27、P32 参照



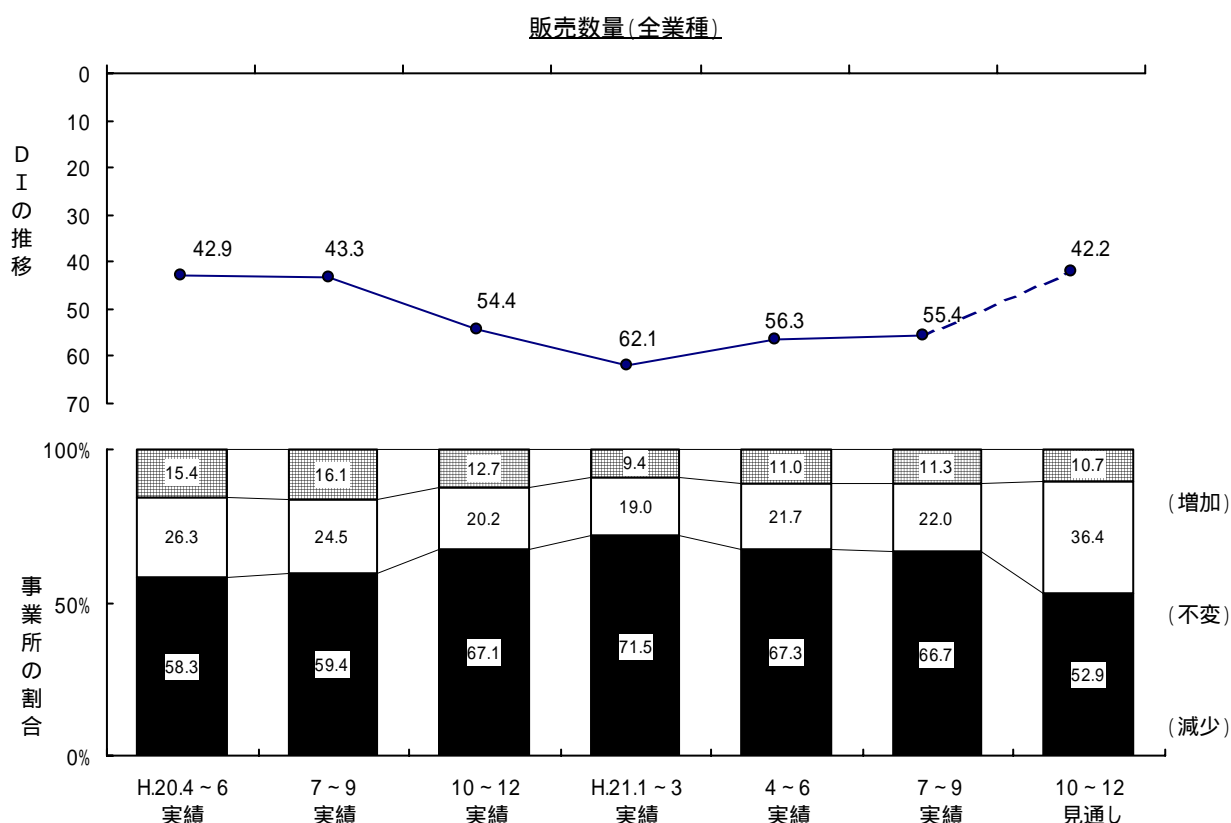
今期の売上高のD I（「増加」と答えた事業所の割合 - 「減少」と答えた事業所の割合）は、今期実績で 51.8 と、平成 21 年 6 月調査（以下、前回調査）時の 4~6 月期（以下、前期実績）D I の 54.5 と比べやや上昇した。前回調査時の平成 21 年 4~6 月期見通し（以下、今期見通し）D I が 51.5 であったことから、売上高のD I は予想通り上昇した。

来期の見通しは、D I が 44.3 と上昇する見通しである。

設問 1 - 2 販売数量（前年同期比）

今期の販売数量のD Iは 55.4(前期比+0.9)と、ほぼ横ばいであった。来期の販売数量のD Iは上昇する見通しである。今期の販売数量のD Iを業種別で見ると、製造業、卸売業、小売業、飲食店・宿泊業では上昇し、不動産業ではほぼ横ばい、これら以外の業種では下降した。

規模別、業種別D Iの詳細については、それぞれP27、P33参照



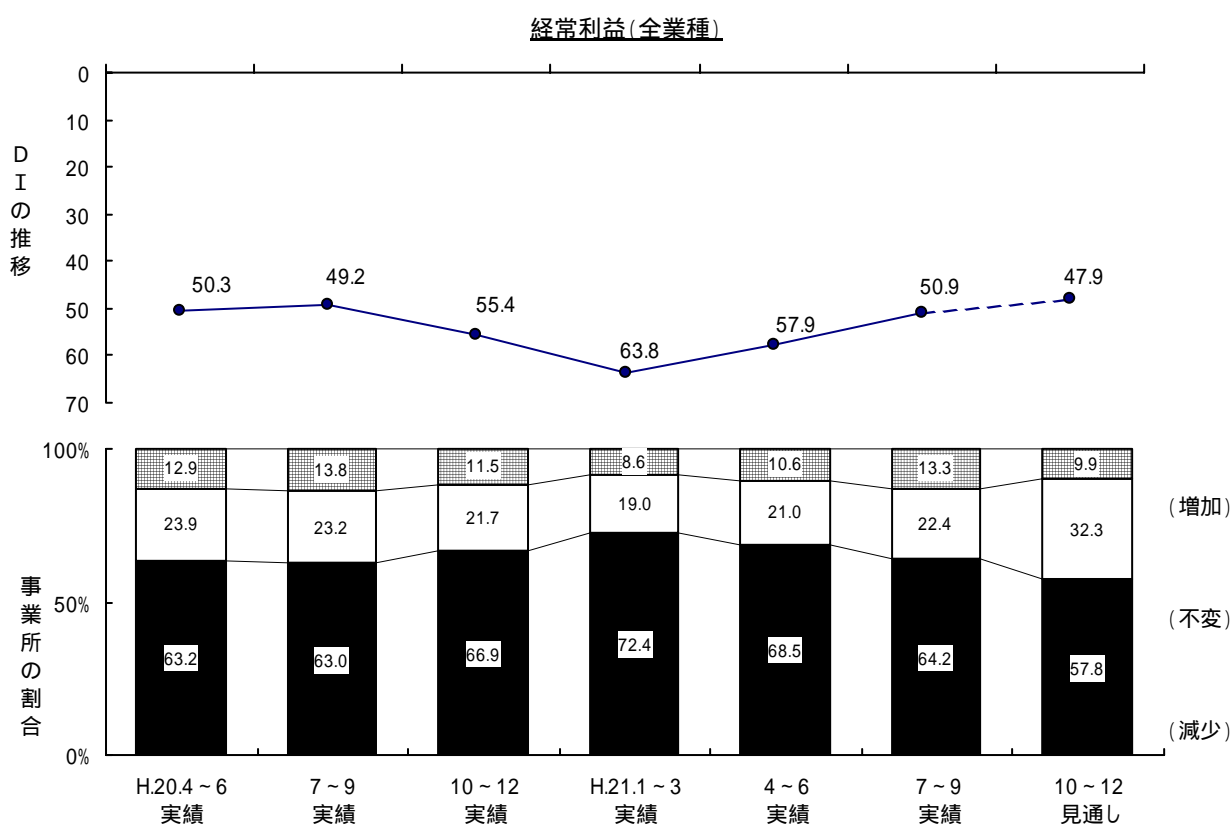
今期の販売数量のD I（「増加」と答えた事業所の割合 - 「減少」と答えた事業所の割合）は、今期実績で 55.4 と、前期実績D Iの 56.3 と比べ、ほぼ横ばいであった。今期見通しD Iが 49.3 であったことから、販売数量のD Iは予想に反しほぼ横ばいであった。

来期の見通しは、D Iが 42.2 と上昇する見通しである。

設問 1 - 3 経常利益（前年同期比）

今期の経常利益のD Iは 50.9（前期比+7.0）と、上昇した。来期の経常利益のD Iはやや上昇する見通しである。今期の経常利益のD Iを業種別で見ると、建設業、運輸業では下降し、これら以外の業種では上昇した。

規模別、業種別D Iの詳細については、それぞれP27、P34 参照



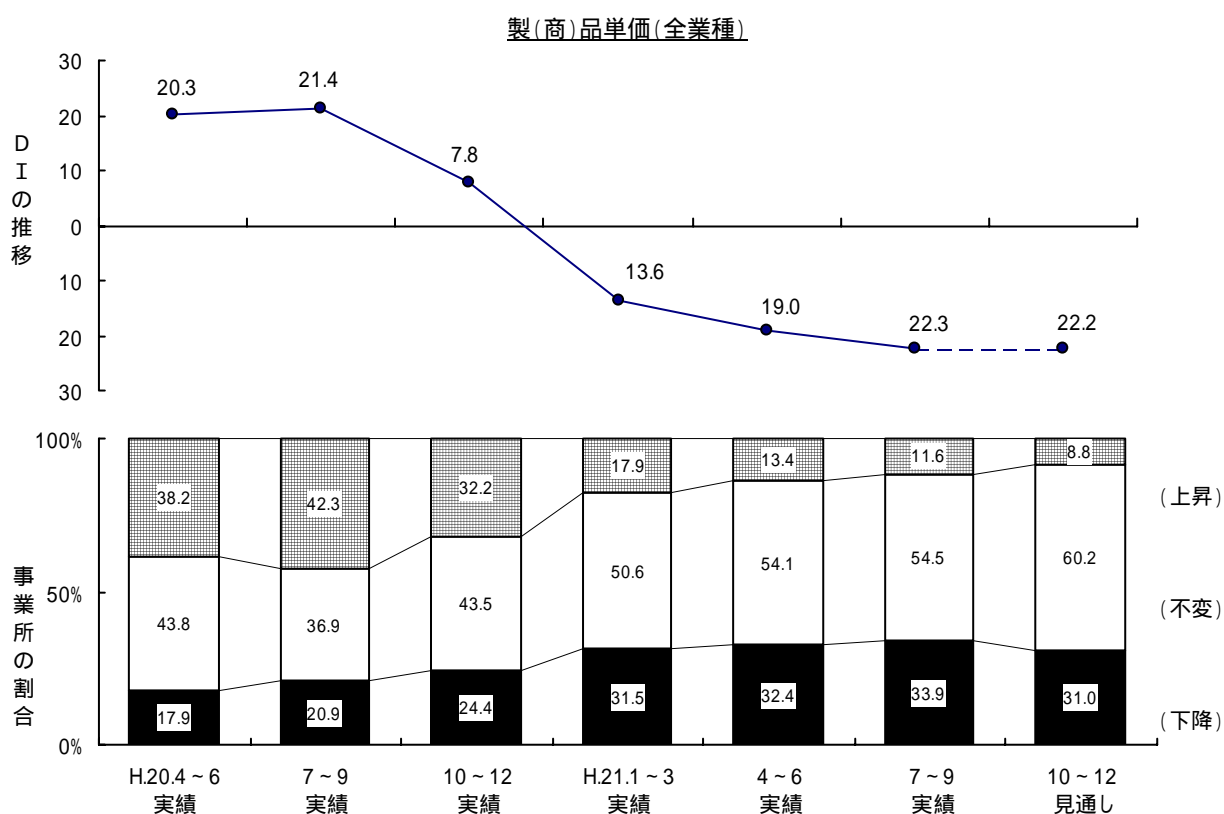
今期の経常利益のD I（「増加」と答えた事業所の割合 - 「減少」と答えた事業所の割合）は、今期実績で 50.9 と、前期実績D Iの 57.9 と比べ、上昇した。今期見通しD Iが 55.4であったことから、経常利益のD Iはほぼ予想通り上昇した。

来期の見通しは、D Iが 47.9 とやや上昇する見通しである。

設問 2 - 1 製(商)品単価(前期比)

今期の製(商)品単価のD Iは 22.3(前期比 3.3)と、やや下降した。来期の製(商)品単価のD Iは、ほぼ横ばいの見通しである。今期の製(商)品単価のD Iを業種別で見ると、建設業、飲食店・宿泊業、サービス業(法人向け・ほか)では上昇し、卸売業ではほぼ横ばい、これら以外の業種では下降した。

規模別、業種別D Iの詳細については、それぞれP28、P35 参照



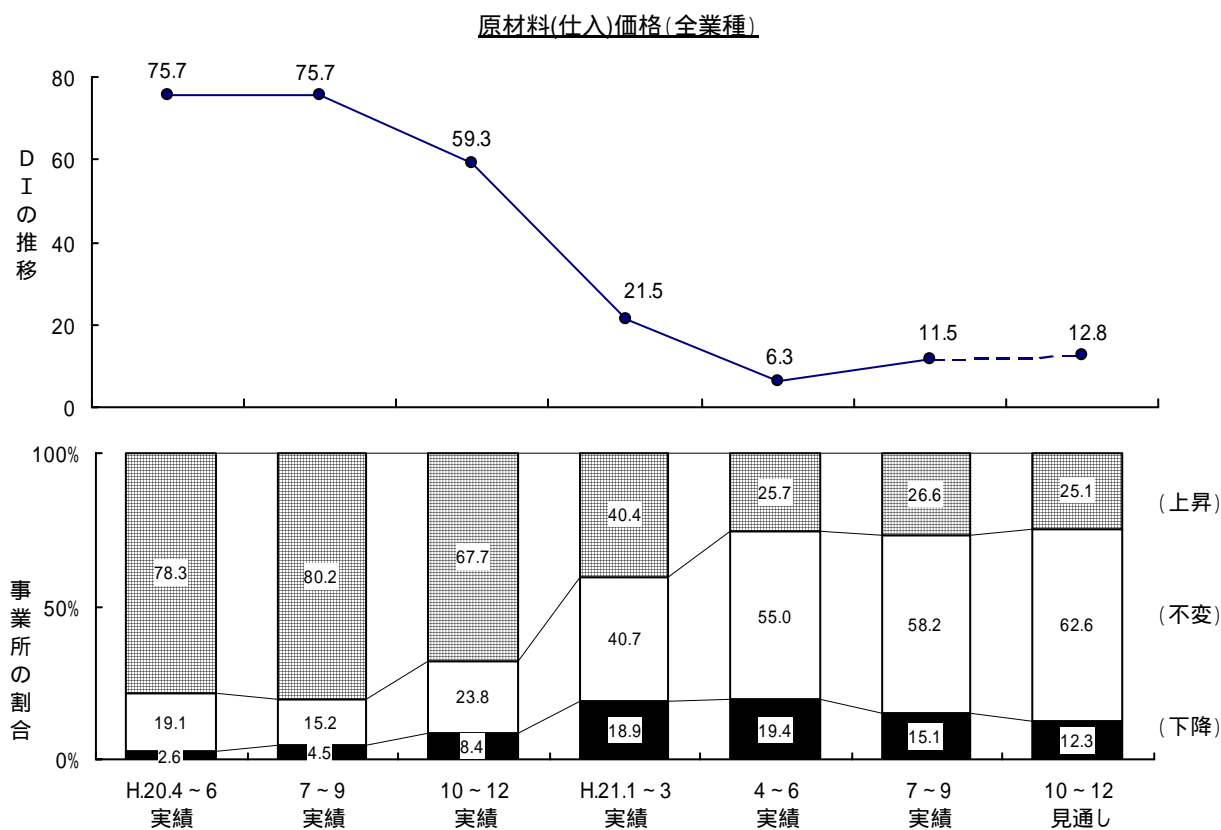
今期の製(商)品単価のD I(「上昇」と答えた事業所の割合 - 「下降」と答えた事業所の割合)は、今期実績で 22.3 と、前期実績D Iの 19.0 と比べ、やや下降した。今期見通しD Iが 21.3 であったことから、製(商)品単価のD Iはほぼ予想通り下降した。

来期の見通しは、D Iが 22.2 とほぼ横ばいの見通しである。

設問 2 - 2 原材料(仕入)価格(前期比)

今期の原材料(仕入)価格のD Iは11.5(前期比+5.2)と、上昇した。来期の原材料(仕入)価格のD Iは、上昇する見通しである。今期の原材料(仕入)価格のD Iを業種別で見ると、不動産業では下降し、サービス業(法人向け・ほか)では横ばい、これら以外の業種では上昇した。

規模別、業種別D Iの詳細については、それぞれP28、P36 参照



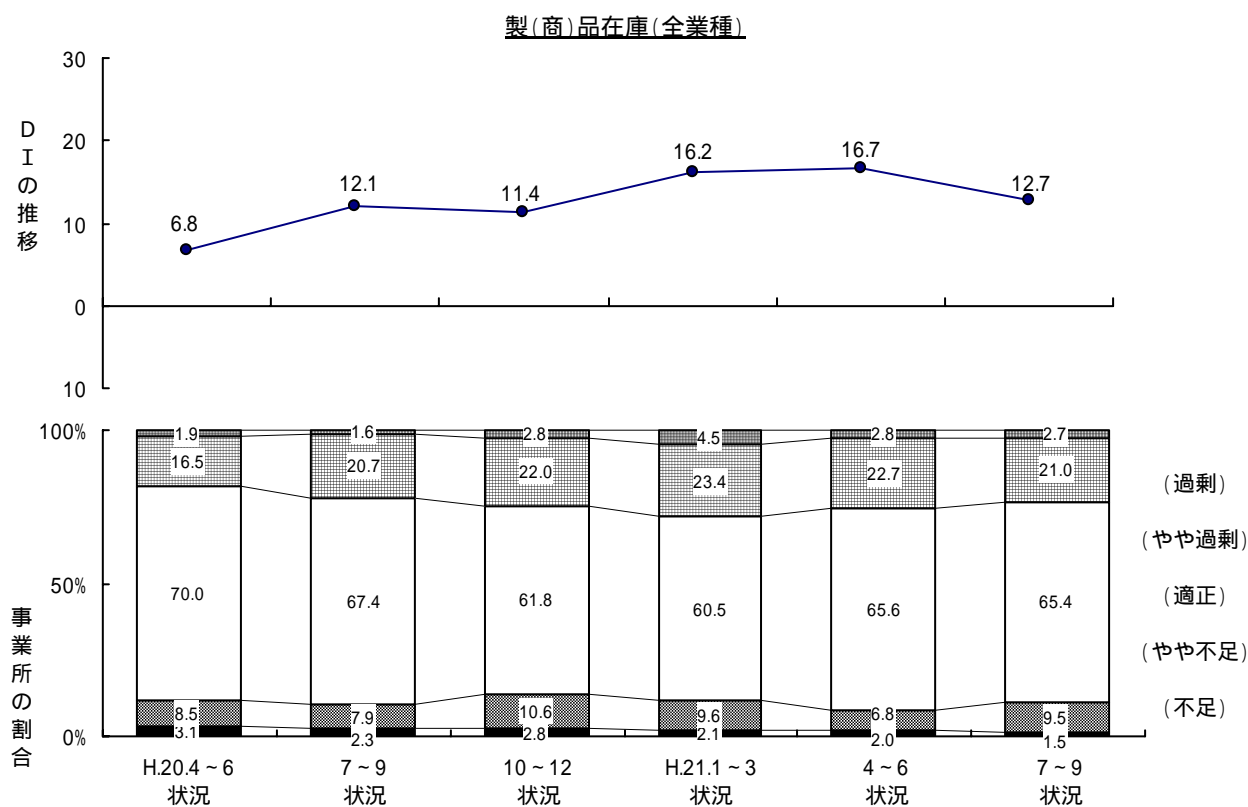
今期の原材料(仕入)価格のD I(「上昇」と答えた事業所の割合 - 「下降」と答えた事業所の割合)は、今期実績で11.5と、前期実績D Iの6.3と比べ上昇した。今期見通しD Iが3.9であったことから、原材料(仕入)価格のD Iは予想に反し上昇した。

来期の見通しは、D Iが12.8と上昇する見通しである。

設問 3 - 1 製(商)品在庫 (今期の状況)

製(商)品在庫のD Iは12.7(前期比 4.0)と、やや下降した。業種別で見ると、運輸業、サービス業(個人向け)、サービス業(法人向け・ほか)では上昇し、建設業、卸売業では横ばい、これら以外の業種では下降した。

規模別、業種別D Iの詳細については、それぞれP28、P37 参照

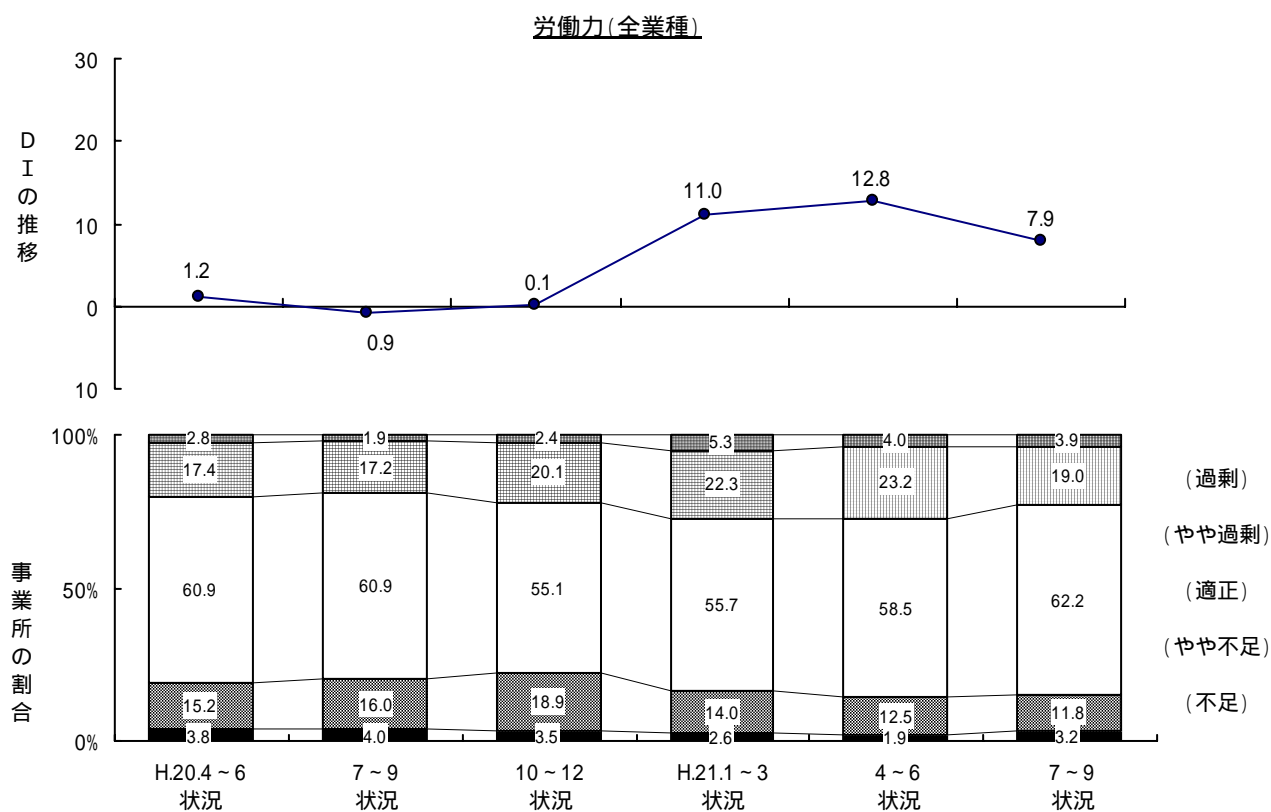


製(商)品在庫のD I(『過剰』(過剰+やや過剰)と答えた事業所の割合 - 『不足』(不足+やや不足)と答えた事業所の割合)は12.7と、前期実績D Iの16.7と比べやや下降した。

設問 3 - 2 労働力（今期の状況）

労働力のD Iは7.9（前期比 4.9）と、やや下降した。業種別で見ると、建設業、小売業では上昇し、これら以外の業種では下降した。

規模別、業種別D Iの詳細については、それぞれP29、P38 参照

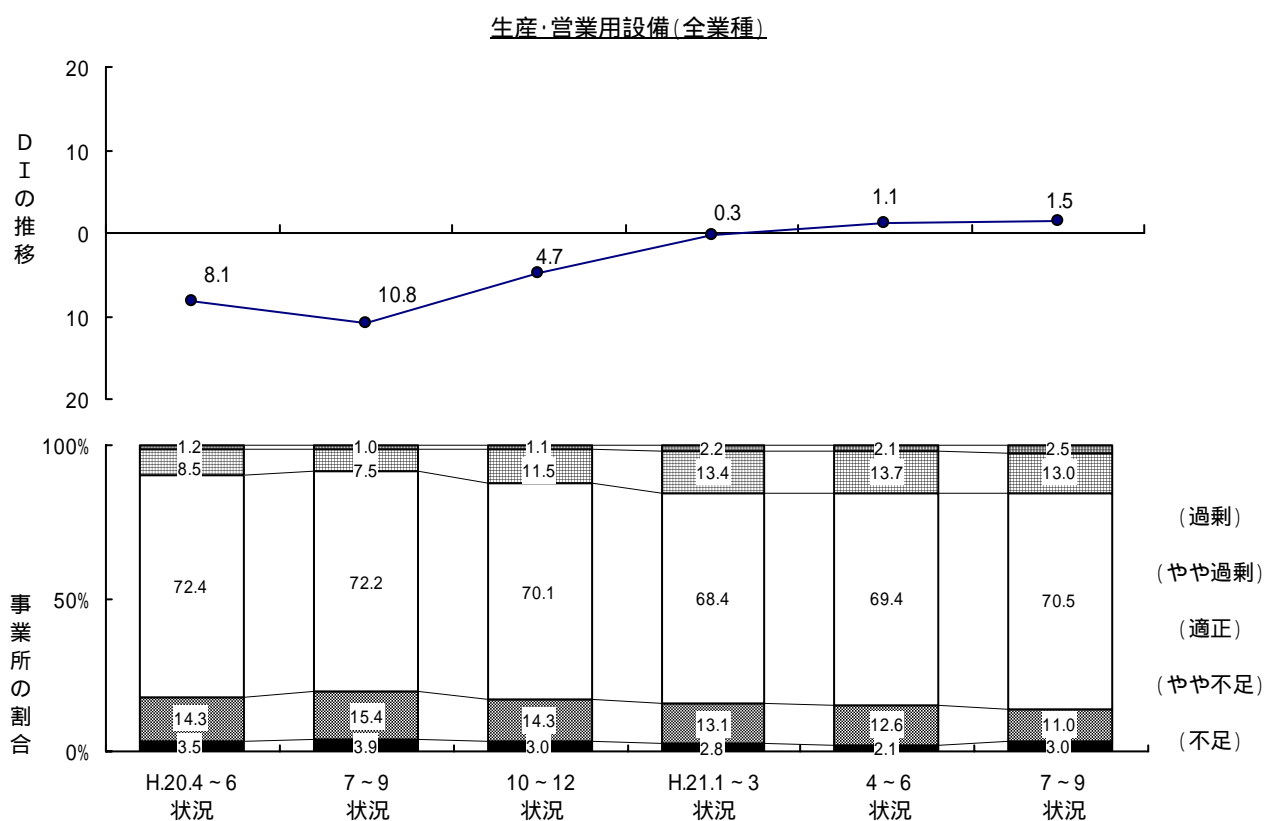


労働力のD I（『過剰』（過剰+やや過剰）と答えた事業所の割合 - 『不足』（不足+やや不足）と答えた事業所の割合）は7.9と、前期実績D Iの12.8と比べやや下降した。

設問 3 - 3 生産・営業用設備（今期の状況）

生産・営業用設備のD Iは1.5（前期比+0.4）と、ほぼ横ばいであった。業種別で見ると、建設業、運輸業、小売業、サービス業（法人向け・ほか）では下降し、これら以外の業種では上昇した。

規模別、業種別D Iの詳細については、それぞれP29、P39 参照



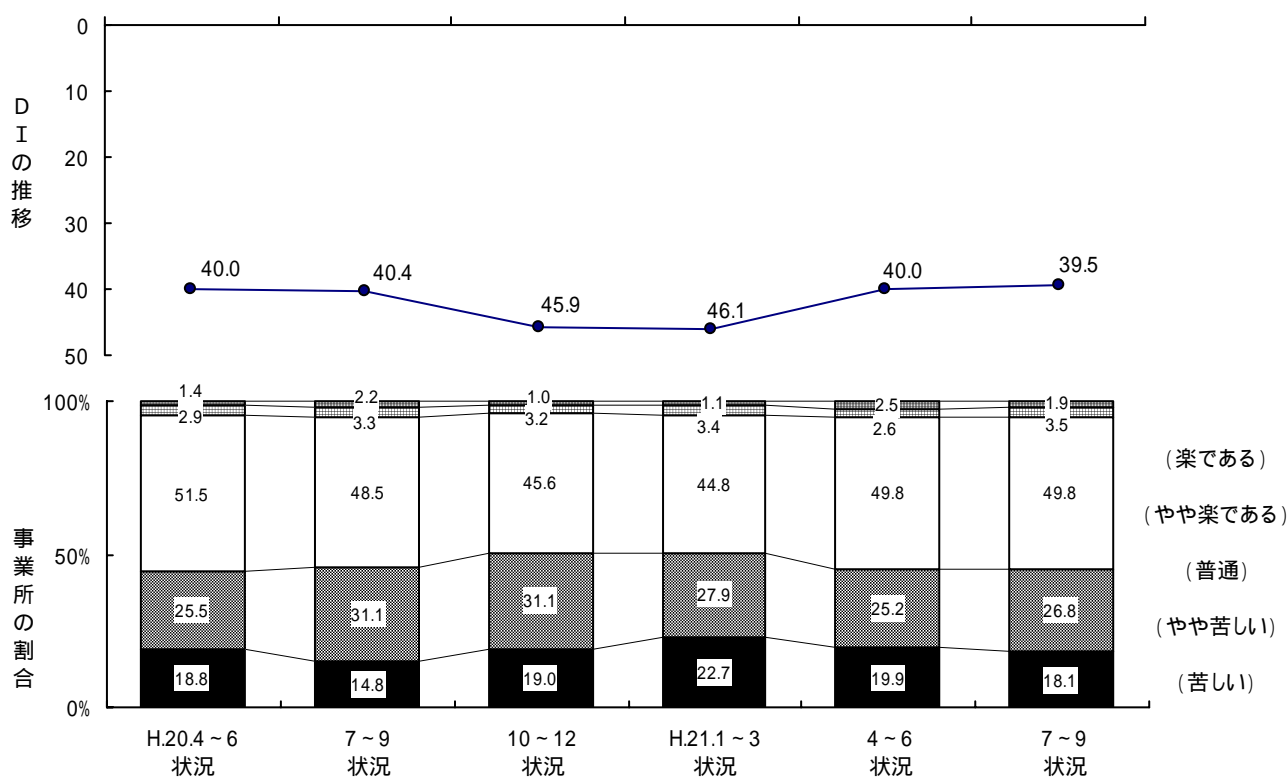
生産・営業用設備のD I（『過剰』(過剰+やや過剰)と答えた事業所の割合 - 『不足』(不足+やや不足)と答えた事業所の割合)は1.5と、前期実績D Iの1.1と比べほぼ横ばいであった。

設問 3 - 4 資金繰り（今期の状況）

資金繰りのD Iは 39.5（前期比+0.5）と、ほぼ横ばいであった。業種別で見ると、建設業、飲食店・宿泊業、サービス業（個人向け）では下降し、運輸業ではほぼ横ばい、これら以外の業種では上昇した。

規模別、業種別D Iの詳細については、それぞれP29、P40 参照

資金繰り(全業種)

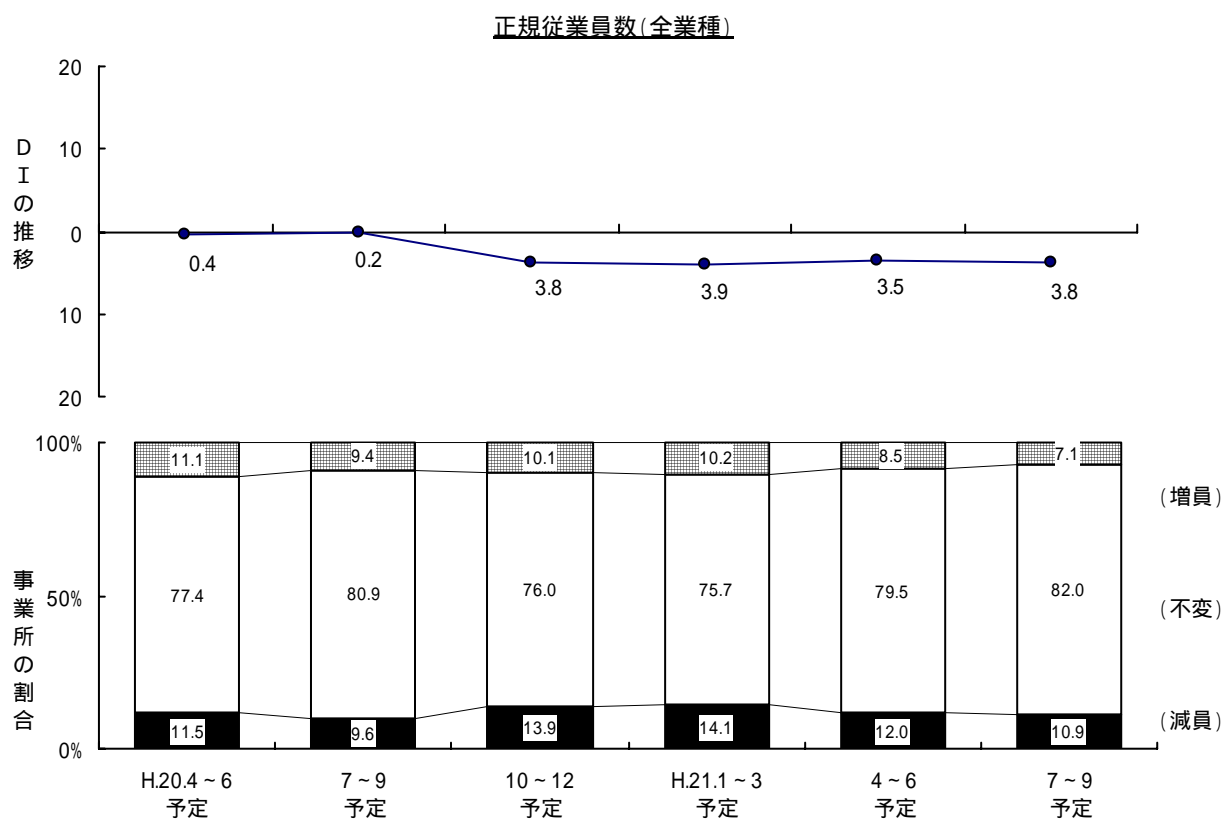


資金繰りのD I（『楽である』（楽である+やや楽である）と答えた事業所の割合 - 『苦しい』（苦しい+やや苦しい）と答えた事業所の割合）は 39.5 と、前期実績D Iの 40.0 と比べほぼ横ばいであった。

設問 4 - 1 正規従業員数（今後の予定）

正規従業員数のD Iは 3.8（前期比 0.3）と、ほぼ横ばいであった。業種別で見ると、製造業、運輸業、飲食店・宿泊業、サービス業（法人向け・ほか）では上昇し、サービス業（個人向け）ではほぼ横ばい、これら以外の業種では下降した。

規模別、業種別D Iの詳細については、それぞれP30、P41 参照

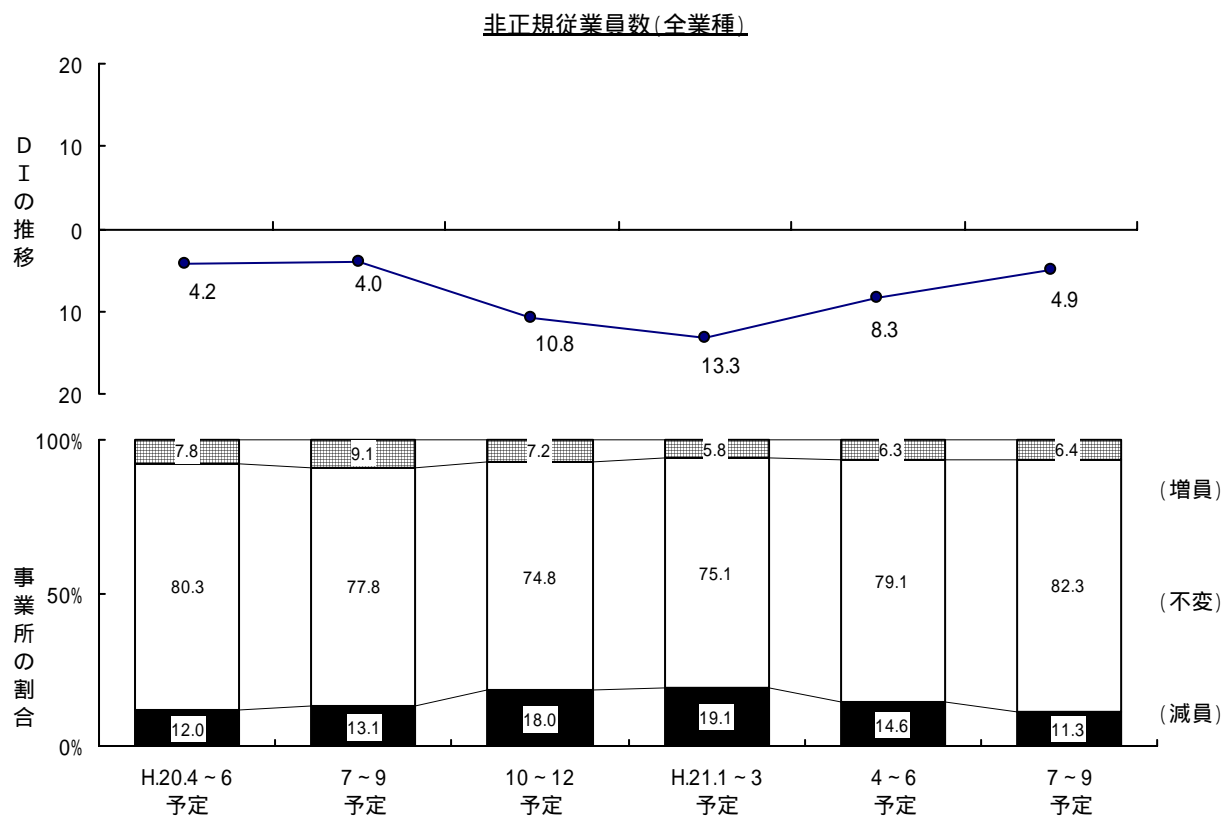


正規従業員数のD I（「増員する」と答えた事業所の割合 - 「減員する」と答えた事業所の割合）は 3.8 と、前期実績D Iの 3.5 と比べほぼ横ばいであった。

設問 4 - 2 非正規従業員数（今後の予定）

非正規従業員数のD Iは 4.9（前期比+3.4）と、やや上昇した。業種別で見ると、飲食店・宿泊業では下降し、これら以外の業種では上昇した。

規模別、業種別D Iの詳細については、それぞれP30、P42 参照

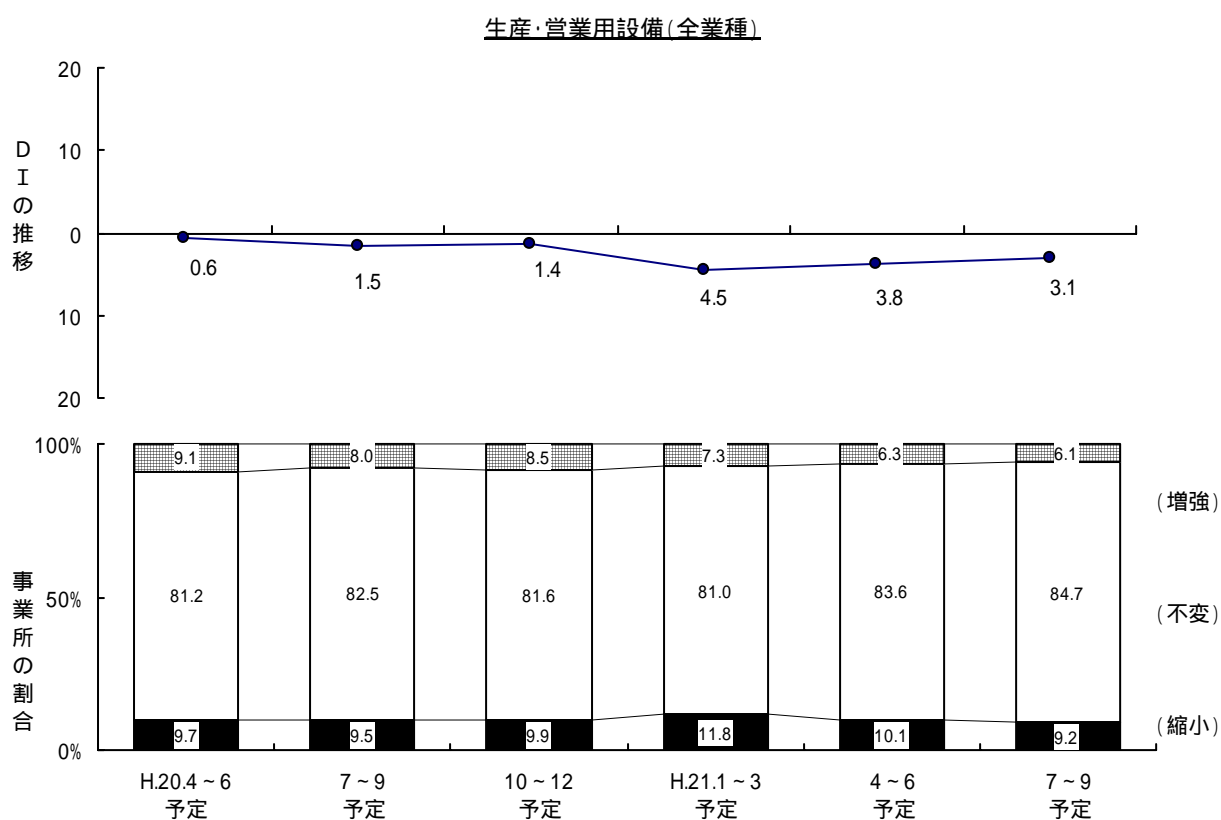


非正規従業員数のD I（「増員する」と答えた事業所の割合 - 「減員する」と答えた事業所の割合）は 4.9 と、前期実績D Iの 8.3 と比べやや上昇した。

設問 4 - 3 生産・営業用設備（今後の予定）

生産・営業用設備（予定）のD Iは 3.1（前期比+0.7）と、ほぼ横ばいであった。業種別で見ると、飲食店・宿泊業、サービス業（個人向け）では下降し、卸売業、小売業ではほぼ横ばい、これら以外の業種では上昇した。

規模別、業種別D Iの詳細については、それぞれP30、P43 参照

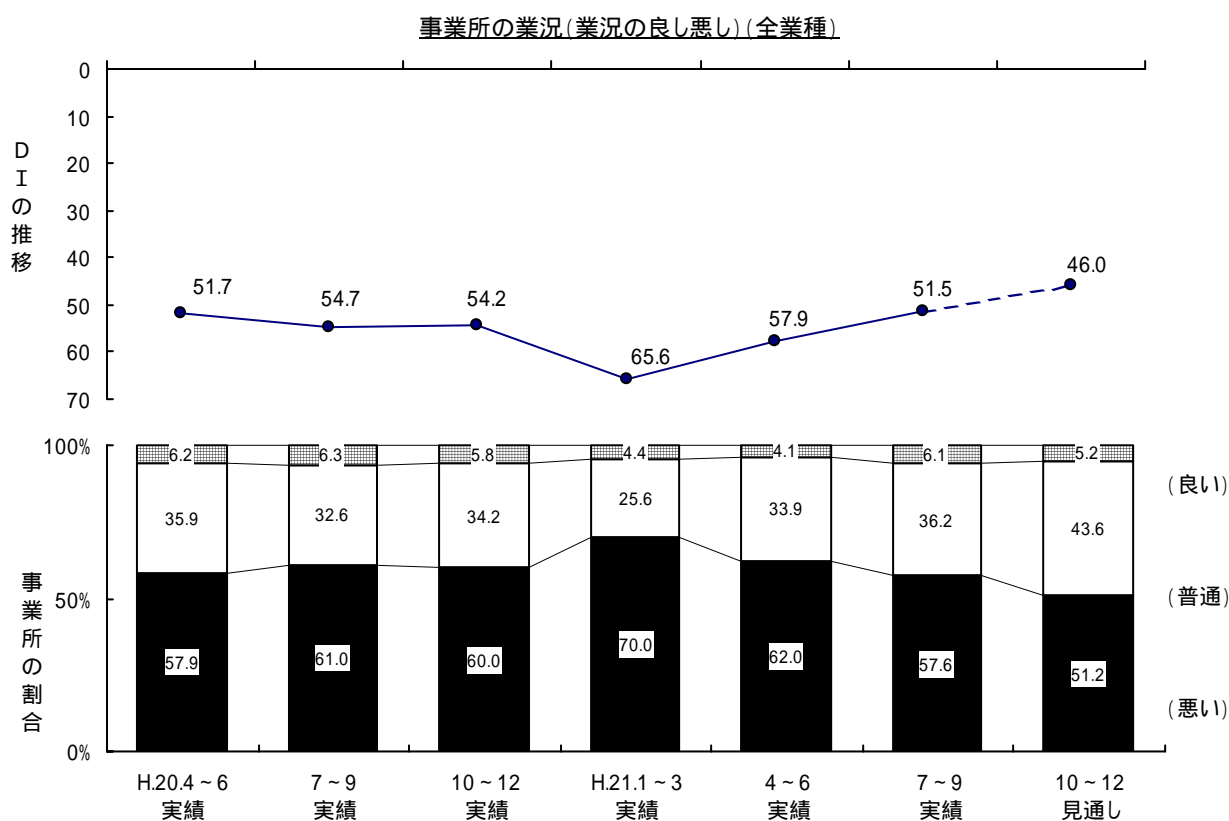


生産・営業用設備（予定）のD I（「増強する」と答えた事業所の割合 - 「縮小する」と答えた事業所の割合）は 3.1 と、前期実績D Iの 3.8 と比べほぼ横ばいであった。

設問 5 - 1 事業所の業況（業況の良し悪し）

今期の事業所の業況（業況の良し悪し）のD Iは 51.5（前期比+6.4）と、上昇した。来期の事業所の業況（業況の良し悪し）のD Iは、上昇する見通しである。今期の事業所の業況（業況の良し悪し）のD Iを業種別で見ると、運輸業、不動産業では下降し、建設業、飲食店・宿泊業ではほぼ横ばい、これら以外の業種では上昇した。

規模別、業種別D Iの詳細については、それぞれP31、P44 参照



今期の事業所の業況（業況の良し悪し）のD I（「良い」と答えた事業所の割合 - 「悪い」と答えた事業所の割合）は、今期実績で 51.5 と、前期実績D Iの 57.9 と比べ上昇した。今期見通しD Iが 51.0 であったことから、事業所の業況（業況の良し悪し）のD Iは、予想通り上昇した。

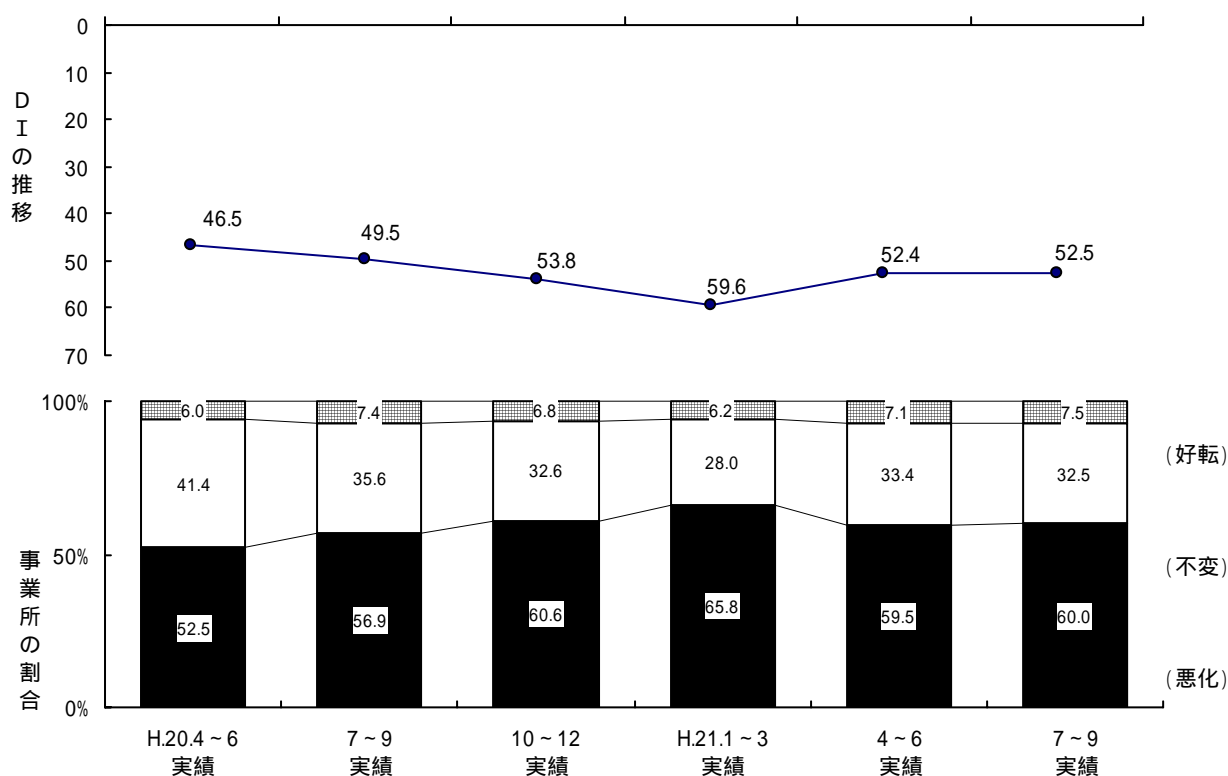
来期の見通しは、D Iが 46.0 と上昇する見通しである。

設問 6 - 1 事業所の業況（業況の変化）（前年同期比）

事業所の業況（業況の変化）のD Iは 52.5（前期比 0.1）と、ほぼ横ばいであった。業種別で見ると、小売業、飲食店・宿泊業、サービス業（個人向け）、サービス業（法人向け・ほか）では上昇し、製造業ではほぼ横ばい、これら以外の業種では下降した。

規模別、業種別D Iの詳細については、それぞれP31、P45 参照

事業所の業況（業況の変化）（全業種）



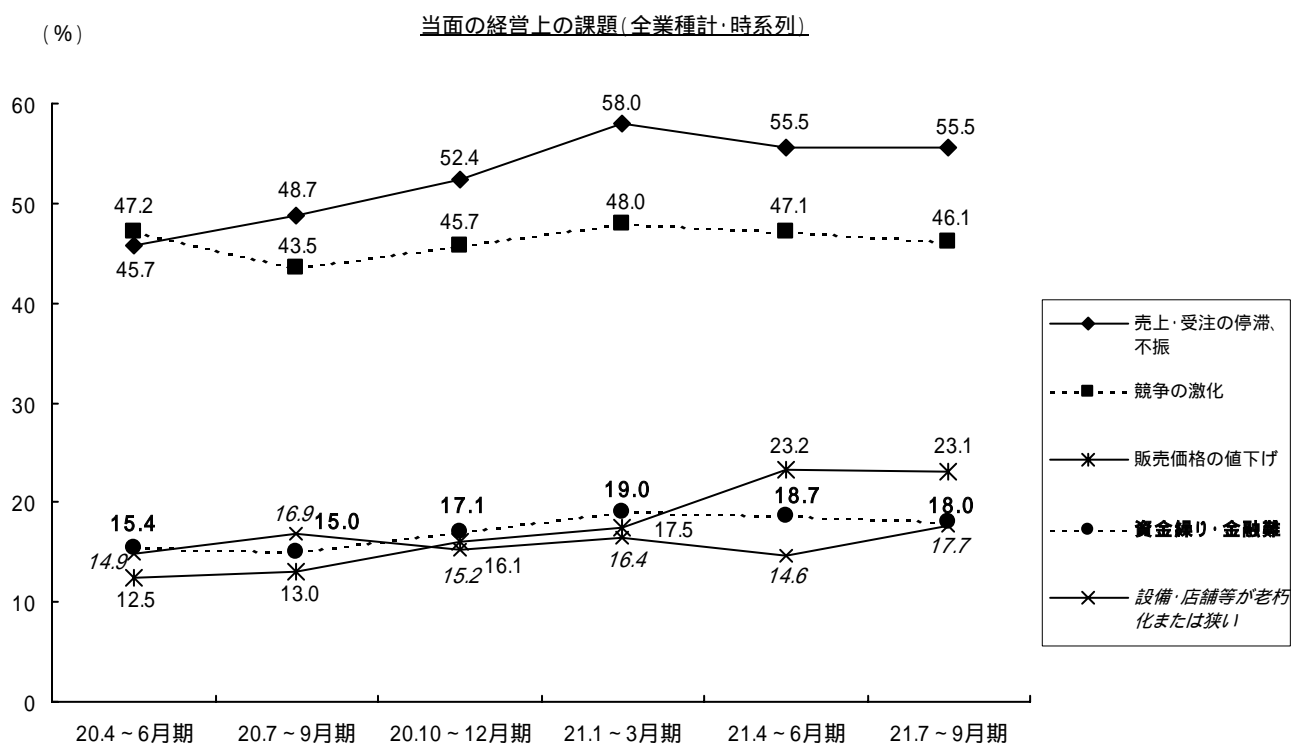
事業所の業況（業況の変化）のD I（「好転した」と答えた事業所の割合 - 「悪化した」と答えた事業所の割合）は 52.5 と、前期実績D Iの 52.4 と比べほぼ横ばいであった。

設問 7 - 1 経営上の課題

経営上の課題としては、前期に引き続き「売上・受注の停滞、不振」、「競争の激化」のこれら上位2位が、他を大きく引き離している。

以下、「販売価格の値下げ」、「資金繰り・金融難」、「設備・店舗等が老朽化または狭い」が2割前後で続いている。

規模別、業種別DIの詳細については、それぞれP46参照



当面の経営上の課題を3つまで選んでもらったところ、前期同様「売上・受注の停滞・不振（55.5%）」、「競争の激化（46.1%）」の上位2つを5割前後の事業所が挙げている。

以下、「販売価格の値下げ（23.1%）」、「資金繰り・金融難（18.0%）」、「設備・店舗等が老朽化または狭い（17.7%）」が2割前後で続いている。

4. 業界ヒアリング調査結果

調査期間：平成 21 年 9 月 24 日～平成 21 年 10 月 19 日
調査対象：仙台市内の主な事業所 30 社
調査方法：仙台市職員及び(財)仙台市産業振興事業団
職員の面接による聞き取り

製造業

印刷業 各種印刷を行っているこの事業所では、業況は普通であると捉えている。受注のほとんどが関連団体から発注されるものであり、団体の業績によって当社売上も左右される状況。現在の売上はピーク時に比べてほぼ半減しており、社員も削減している。昨年の燃料費高騰時に印刷用紙も値上がりしており、現在も高止まりの状態。景気が回復傾向にあるといわれているが、そのような実感はないと考えている。

洋食器・刃物・手道具・金物類製造業 各種工業用刃物の製造を行うこの事業所では、業況は悪いと捉えている。昨年秋口より生産量が減少しており、以降赤字が続いている。今年 6 月以降やや持ち直しているが依然厳しい状況である。労働力に過剰感があるものの、技術伝承や若年層の確保の面から正社員の解雇は行わず、ワークシェアリングや非正規従業員の調整により対応している。昨今の景気底打ち感を感じられるものの、今後の見通しは予想がつかないと考えている。

骨材・石工品等製造業 生コンクリート、アスファルト骨材等の製造を行うこの事業所では、業況は普通であると捉えている。北部工業団地への自動車工場進出や東北自動車道関連工事の受注により、売上は増加している。人件費等の抑制や重機等機械設備のメンテナンスの徹底をはかる等費用削減に取り組み、経常利益確保に努めている。今後は公共事業削減政策の影響や市内ビル建設ラッシュの収束等、受注確保において厳しい状況になるのではと予想している。

金属素形材製品製造業 半導体関連の部品及び部品製造機器の製造・販売等を行うこの事業所では、業況は普通であると捉えている。研究開発型ベンチャー企業であり、部品製造機器について、当初数台程度販売予定があったものの、今般の不況によりほとんどが保留となっている。売上とは関係なく研究は継続しなければならぬため、緊急保証制度融資を受ける等資金繰り対策を講じている。新ビジネス開拓にも熱心に取り組むとともに、今後の半導体需要の回復に期待している。

紙製容器製造業 食品、工業用品等の商品パッケージ製造を行うこの事業所では、業況は悪いと捉えている。売上は前年比で1割程度減少しており、発注元の在庫見直し等の影響と考えている。在庫量、労働力ともに過剰感を感じている。新 OS 対応のパソコン輸出市場が活発化しており、関連企業から急遽注文が入ることもある等、やや復調の兆しも見えていると感じている。

その他の食料品製造業 海産物加工品等の製造・卸売等を行うこの事業所では、業況は普通であると捉えている。売上は若干上向きだが、卸売価格の引下げ要求等があり、相対的には変わっていない。卸売価格の引下げ分は、仕入価格の引下げにより対応しており、この状況は来期も続くのではないかと予想している。業況は悪化傾向にあり、今後好転の兆しは今のところ見つかると感じていない。

建設業

管工事業(さく井工事業を除く) ガス設備工事を行うこの事業所では、業況は普通であると捉えている。オール電化住宅の普及等により一般ガス工事が増加していない中、都市ガス経年管の切り替え工事業務を受託しており、確実な売上に結びついている。今期は特に市内マンション建設ラッシュによる物件の工事がピークにあり、業況は持ち直しているものの、来期以降悪くなっていくのではないかと予想している。今後、特に工事に関連する国からの補助金について、見直しが行われるのか懸念している。

電気工事業 各種電気工事を行うこの事業所では、業況は悪いと捉えている。関連企業からの受注が5割を占める状況のなか、昨年の同企業の赤字決算等の影響を受け、受注量にもマイナスの影響があった。先般の政府の景気対策により公共投資は増加しているものの、民間企業の設備投資の回復が未だ実感できない状況であり、CO2削減等の環境対策重視による新たな産業空洞化の発生等、懸念材料もあることから、なお本格回復まで時間がかかるのではないかと予想している。

運輸業

一般貨物自動車運送業 穀物等食品輸送を行うこの事業所では、業況は悪いと捉えている。穀物輸送をメインとしているため、受注に季節変動がある。そのためトラックや運転手等は受注ピーク期に合わせて常に確保しておかなければならず、高齢者の運転手雇用による奨励金の受給や、閑散期の賃金を歩合制にする等人件費低減化に取り組んでいる。しかしここ数年物流量の減少が続き、トラックの稼働率が昨年の半分にとどまる等、収益においても厳しい状況となっている。さらに今後、高速道路無料化が進めば、顧客からの運賃値下げ交渉が予想される等、事業への影響を懸念している。

一般貸切旅客自動車運送業 観光バス、高速バス事業を行うこの事業所では、業況は普通であると捉えている。売上についてはここ数年増加しており、特に市内アウトレットモールをコースに入れたツアーが好調な売れ行きとなっている。また高速バス事業は、仙台と県北や岩手の各都市とを結ぶ路線で順調な業績を上げる等、安定した業況となっている。高速道路無料化の動きについては渋滞による時間ロスの発生等むしろマイナスの影響があるのではないかと受け止めている。

倉庫業(冷蔵倉庫業を除く) 業務用電気機器やOA部品の輸送及び管理等の総合物流業を行うこの事業所では、業況は悪いと捉えている。グループ企業からの受注が7割を超えているなか、各種機器部品配置の適正化や見直しが進み、輸送需要が減少している。また当社の様な物流拠点を通さずに、工場から直接現地へ輸送するケースが増える等、仙台から他の東北地方への物流量が減少している。今期については市内大型ビル関連の受注があるものの一時的な特需であり、来期以降の好転の要素は見当たらないと考えている。

卸売業

自動車卸売業 トラック、バス等商用車の販売を行うこの事業所では、業況は普通であると捉えている。業種の特質上、取引先の景気状況の影響が大きく、ここ2年間は新車売上、修理・備品売上とも減少しているものの、業界全体で見ると当社のシェアは上昇している。今後は自動車減税政策や農業関係の業績上昇によって売上につながればと期待している。高速道路無料化策については、輸送コストの削減につながる

等のメリットも考えられるが、渋滞増加によるドライバーの残業発生や輸送時間の増加が懸念される等デメリットの可能性もあると予想している。

自動車卸売業 各種自動車部品の販売・修理業を行うこの事業所では、業況は悪いと捉えている。ディーゼルエンジン関連部品の修理を主としており、特にトラック業界の不振が直接売上に影響している。また自動車部品の寿命が長くなり、修理の需要が少なくなっていることもあり、今年の売上目標はバブル期の半分にまで落ち込んでいる。顧客からは手形払いのため、割引料はかかるものの現金化して支払に回す等、資金繰りに苦労している。近年の環境意識の高まりの中、ディーゼル車等主力製品の需要低下が懸念されており、電気自動車等の新技術に対応できるように、知識習得にも積極的に取り組んでいる。

食料・飲料卸売業 食料品の加工用原料の輸入販売を行うこの事業所では、業況は普通であると捉えている。業務の性質上、輸入食品相場によって利益が変動するが、今期は相場の下落が続き売上減となったものの、下げ止まり感があり、来期以降は上昇に転ずると予想している。贈答用商品の場合、不況下では食品関係の実用品を選ぶ人が増える傾向にあると考えており、これからの年末の歳暮時期に向け、売上増を予想している。

小売業

機械器具小売業 家電製品販売、屋内電気工事等を行うこの事業所では、業況は普通であると捉えている。以前との比較で業務量は変わらないものの、全体的に家電製品価格が下がっており、売上、利益とも減少している。価格競争では量販店に対抗できないため、顧客へのアフターサービスを充実させることで利益を確保している。固定客、特に高齢者の顧客が多いことから、蛍光灯の交換等軽作業の依頼等にも対応している。好況感は感じられず、景気が回復しているとは思えないと考えている。

各種食料品小売業 食料品、日用雑貨等の小売を行うこの事業所では、業況は普通であると捉えている。近くに競合店が少なく、特に今年になって近隣のスーパーが閉店したため、客数自体は増加している。昨年来の不況による売上への影響は比較的少なく、前年同期並を維持しているが、買物客の来店頻度が減少する一方、1回の購入単価が上がるといった動向の変化が見られた。各社スーパーでは低価格競争が激化しており、当店においても商品単価の下落が続いている。今後もこの傾向が続くと見ており、これからの年末時期の売上増に期待している。

自動車小売業 自動車販売等を行っているこの事業所では、業況は悪いと捉えている。昨今の景気低迷の影響から販売数が伸び悩んでいる。エコカー減税は一定の効果はあるものの、販売増にまでは至っていない。また高速道路の割引制度により、ETC 搭載車の販売は好調だが、自動車本体の購入動機にはつながっておらず、あまりメリットは感じていない。自動車関連政策、特にエコカー減税制度の継続如何によって、今後の売上が左右されるものと予想している。

他に分類されない飲食料品小売業 製茶、菓子等の製造・販売を行うこの事業所では、業況は良いと捉えている。昨年原高騰時期には原材料費の値上がり傾向が見られたものの、現在は落ち着いている。商品価格は今期上昇しており、来期も引き続き上昇すると予想している。ギフト商品の占める割合が大きく、その売れ行きが好調である。売上、販売数量、経常利益とも今期増加するなど、業況は好転しており、来期の見通しも明るいとは予想している。

他に分類されないその他の小売業 印鑑の製造・販売及び印刷等を行うこの事業所では、業況は普通であると捉えている。印鑑については法人、個人を問わず、単価の安い素材のものが良く売れている。売上はバブル期に比べると大幅に減少しており、特に年間を通じて売上の多くを占める年賀状印刷や干支スタンプ販売について、自宅パソコンで作成する人の増加等により、売上が低水準で推移している状況が続いている。また、景気の底打ち感はまったく感じられないと考えている。

飲食店・宿泊業

旅館・ホテル 宿泊施設の提供を行うこの事業所では、業況は普通であると捉えている。昨年は地震の影響で宿泊客が落ち込んだこともあり、比較すると今期業績は伸びているものの、前々年同期までには回復していない。団体旅行から個人旅行志向への影響で、稼働率に対して宿泊客数は減少している。インターネット予約が好調ではあるが、各種特典プランのなかでも低価格のものしか売れないことから、未だ各家庭ではレジャー費に回すほど家計に余裕が出てきているとは思えないと考えている。

西洋料理店 フランス料理等の提供を行うこの事業所では、業況は悪いと捉えている。昨今の不況からか、年度末やクリスマスといった従来来店客数の多い時期での減少が売上に大きく影響している。また開店当初からの顧客が高齢化してきていることや、インスタント食品の多様化等、嗜好の変化による影響もあると感じている。そのため店舗内容に即した情報誌やインターネットでのみ広告を行う等、客数の維持に努めている。昨今の景況悪化については、外でゆっくり食事をする機会が減る傾向にある等飲食業への影響は大きいのではないかと感じている。

旅館・ホテル 宿泊施設の提供を行うこの事業所では、業況は悪いと捉えている。ETC 割引や秋の大型連休等もあり宿泊数の確保はできたものの売上は減少している。しかし光熱費等コスト削減に取り組むことで利益を確保している。楽天効果もあり仙台駅東口に立地しているところはある程度宿泊客を確保しているようだが、ビジネス客数の落ち込みが回復に至らず、業界全体では宿泊客数の減少が進んでいる。さらに最近の仙台駅周辺でのホテル建設ラッシュにより、市内では供給過剰となっている感がある。今後は旅行客数の増加等個人消費の回復に期待している。

不動産業

不動産賃貸業（貸家業，貸間業を除く）住宅・事務所賃貸業を営むこの事業所では、業況は悪いと捉えている。物件入居率は85%以上と業界では良い状況にあるが、需給バランスの崩れから家賃相場が下がっており、また退去時のリフォーム費用について仲介業者の負担割合が増える傾向にある等、収益減少につながっている。今後の景気回復時期の予測は難しいものの、建設・製造業で回復傾向にあるといわれており、不動産業界にも徐々に影響が出ることを期待している。

不動産代理業・仲介業 オフィスビル仲介業を行うこの事業所では、業況は普通であると捉えている。事務所移転等の入居企業の動きがやや減っており、売上、利益とも前年比減少している。新築ビルの建設が続く、市内オフィスビルの空室率が過去最悪の状況ではあるが、過去の同様の事例から鑑みても、いずれ改善の傾向で動いていくと予想している。プロ野球の楽天や自動車工場の立地等により仙台は全国的にも注目を集めるエリアであると認識しており、市内では「職・住・遊」の複合開発が始まる等、今後街の賑わいに好影響を与えるのではと予想している。

不動産賃貸業（貸家業，貸間業を除く） オフィスビル、マンションの賃貸及び管理業を行うこの事業所では、業況は悪いと感じている。ここ数年の市内におけるビル新築ラッシュにより、市内のオフィス・テナント物件は供給過剰になっている。また昨年来の不況の影響により、営業所の人員減や規模縮小、事業見直しの影響から、より面積の小さい、安いオフィスへの移転が続いており、空室率の上昇に拍車をかけている。またマンションについても、特に 30 階建て規模の大型物件の建設が相次いでおり、供給量に需要が追いついていないのではないかと懸念している。

サービス業（個人向け）

麻雀クラブ 麻雀場経営を行うこの事業所では、業況は悪いと捉えている。麻雀人口の減少に伴い、ここ 10 年ほど売上が急減しており、付近の同業者も閉店に追い込まれている状況。客層はサラリーマンや高齢者であり、昔のように学生等若い世代の利用者はほとんど無くなっている。本来、遊戯業は景気に左右されない強みがあったが、低調な業況は今後も続く予想しており、新たな設備投資は行わずに営業を続けていきたいと考えている

旅行業 旅行商品販売を行うこの事業所では、業況は悪いと捉えている。旅券と宿泊のパッケージ商品の販売による売上増が好ましいと考えているが、逆に減少している状況である。今後はよりお得感のある商品をそろえることが必要であると考えている。

サービス業（法人向け・ほか）

新聞業 フリーペーパー、情報誌の発行等を行うこの事業所では、業況は悪いと感じている。広告収入がメインであるが、景気が本格的に冷え込んでおり、売上の減少等非常に厳しい状況である。人件費削減や発行部数の削減、紙質の変更等の経費節減に取り組んでいる。広告料単価の値下げによる増加策を実施する他、ウェブサイト事業等様々な方策を講じていく必要があると考えている。

民営職業紹介業 人材派遣業を行うこの事業所では、業況は悪いと捉えている。民間企業からの受注減の影響が大きく、長期継続してきた契約を昨年度打ち切られる等の事例もあった。業務の請負状況から景気の回復は実感できないと考えている。

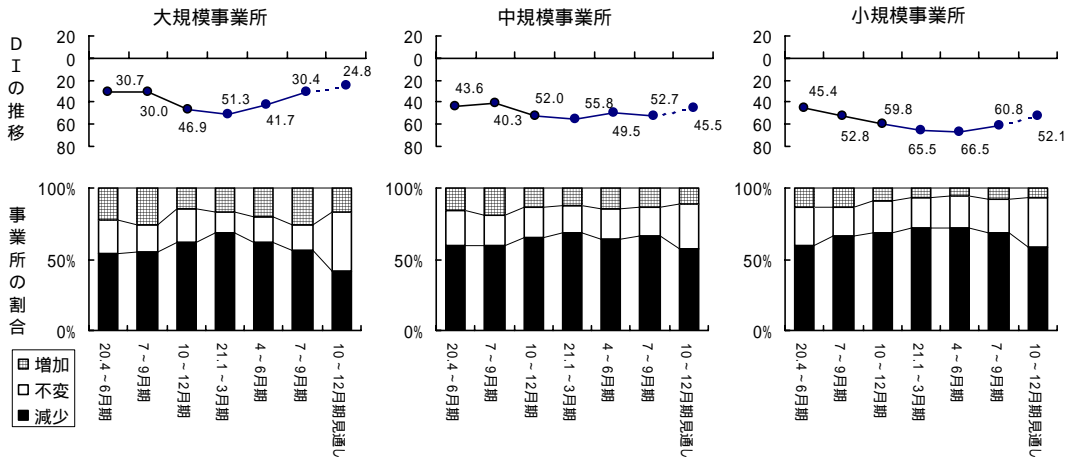
リネンサプライ業 清掃用具等リネンサプライ業を行うこの事業所では、業況は普通であると捉えている。売上は法人向けを中心にここ 2 年間減少している状況。業界全体として厳しい状況であると認識しており、需要が戻るまでさらに時間を要するのではないかと予想している。コスト削減に取り組むものの、薬剤の制限が厳しくなっており、むしろコスト増となっている部分もある。先日、正社員 1 名の募集を行ったが、3 日間で 100 名近い応募があり、雇用情勢の悪化をあらためて実感している。

資料編

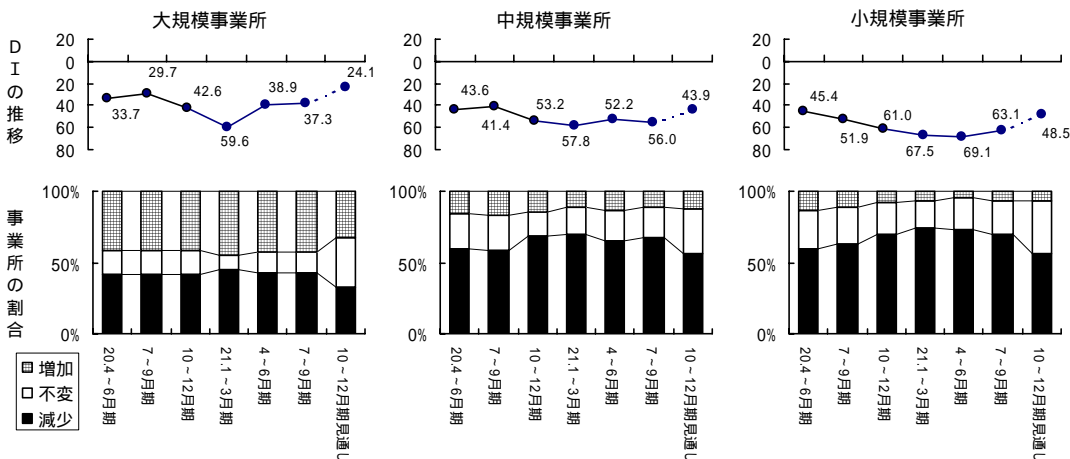
(1) 企業経営動向調査結果(DI)の詳細
規模別DI

用語の説明については目次裏参照

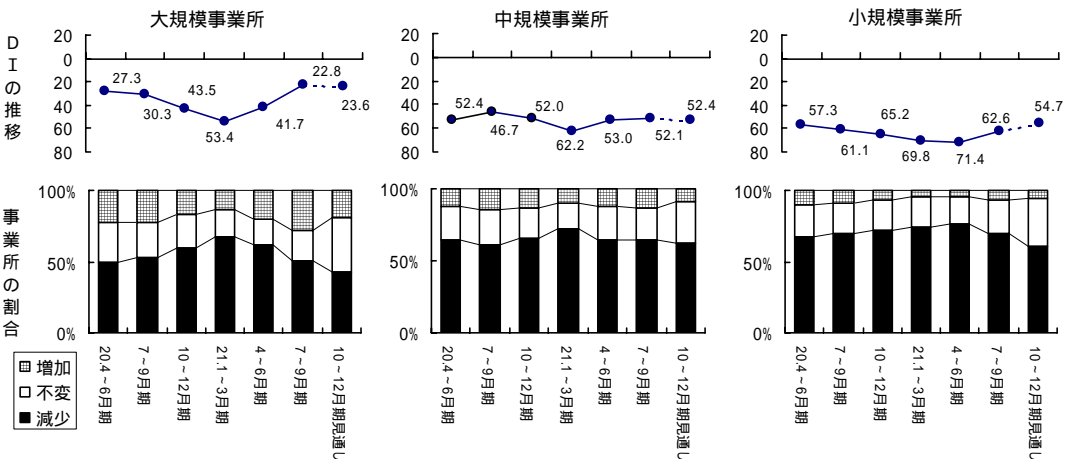
設問1-1 売上高



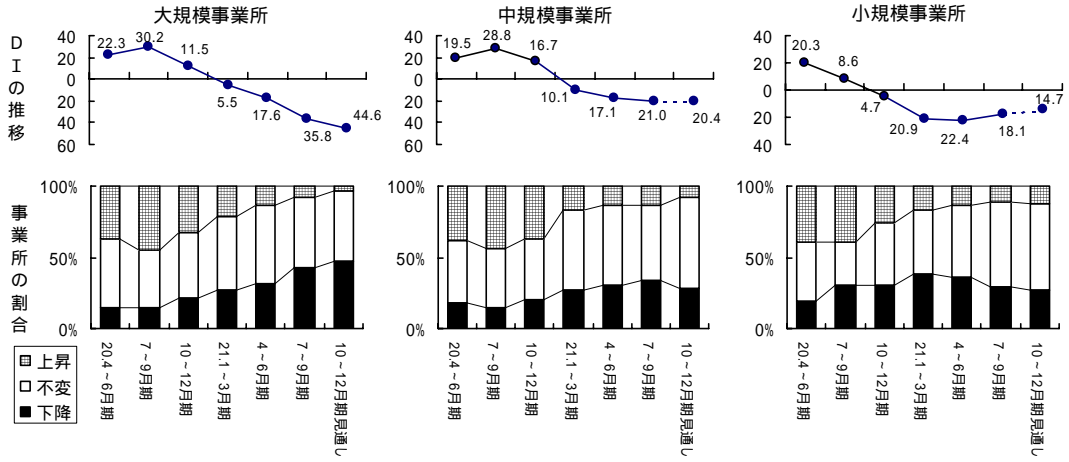
設問1-2 販売数量



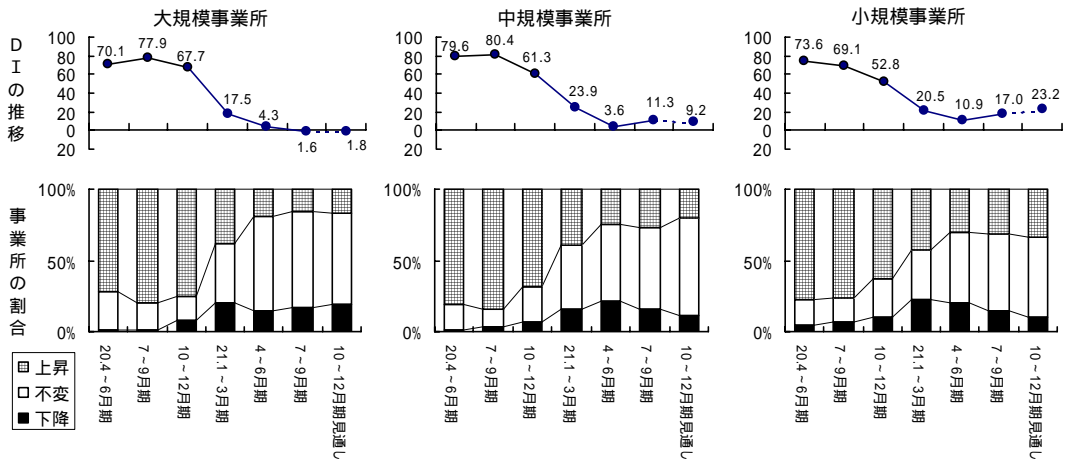
設問1-3 経常利益



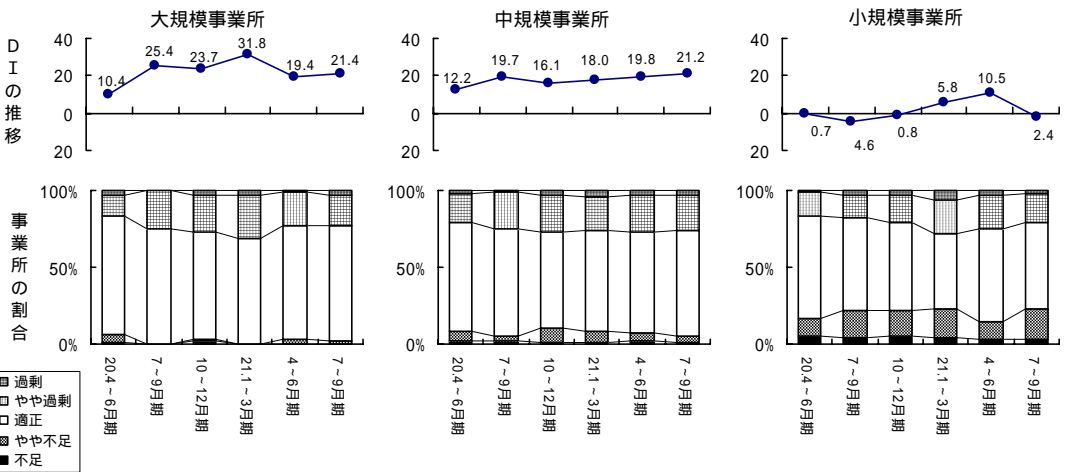
設問2-1 製(商)品単価



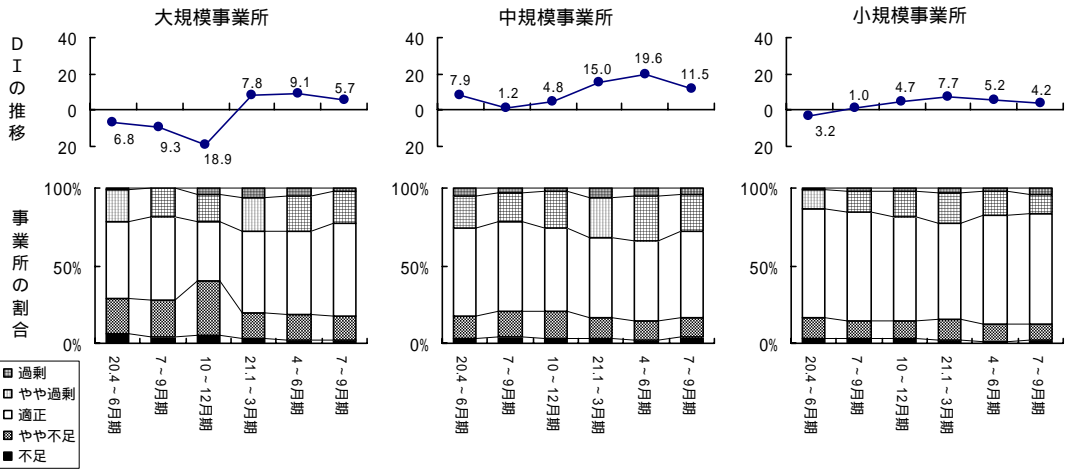
設問2-2 原材料(仕入)価格



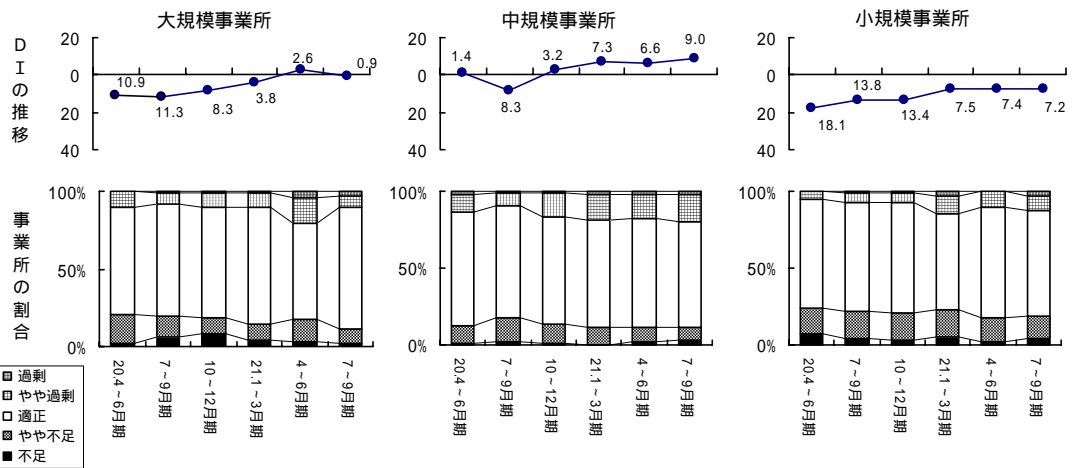
設問3-1 製(商)品在庫



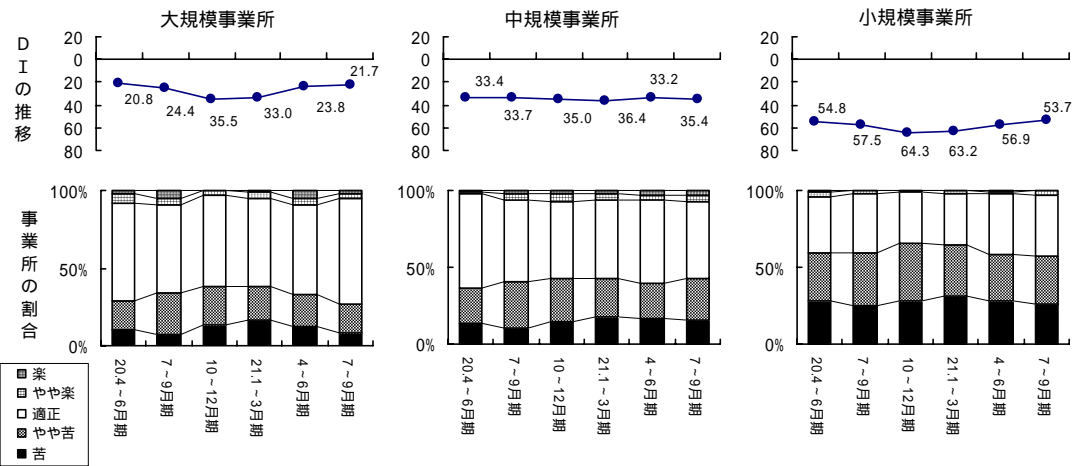
設問3-2 労働力



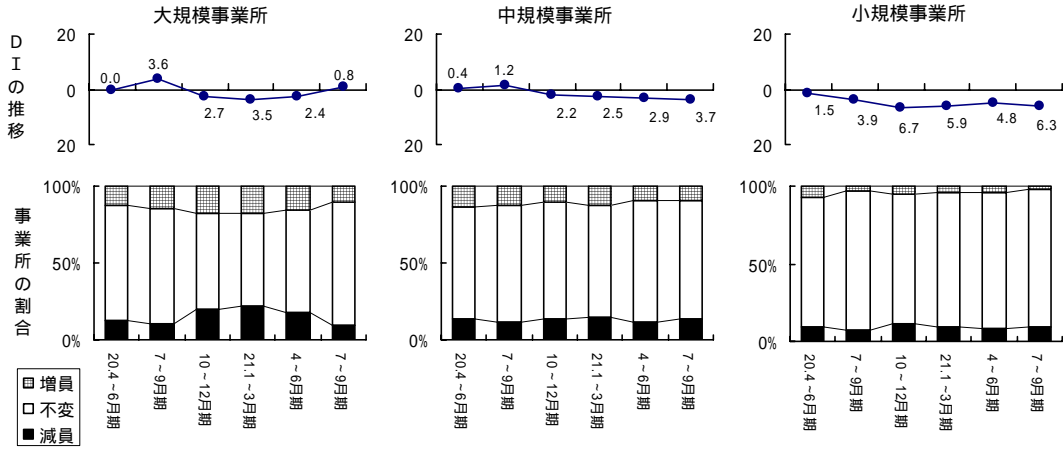
設問3-3 生産・営業用設備



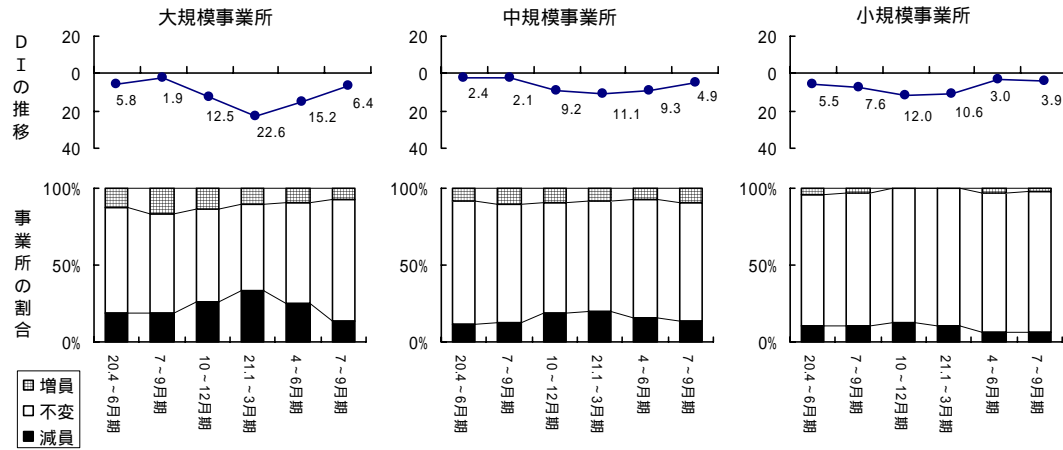
設問3-4 資金繰り



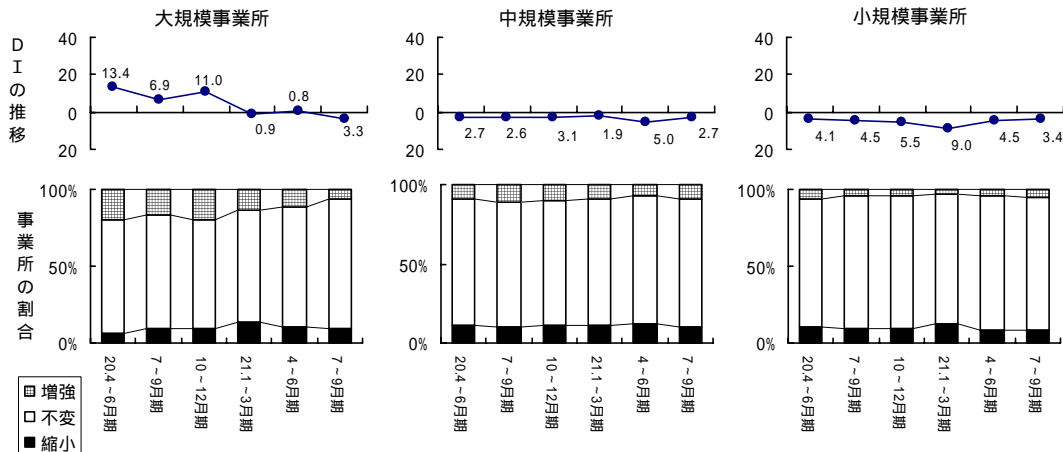
設問4-1 正規従業員数



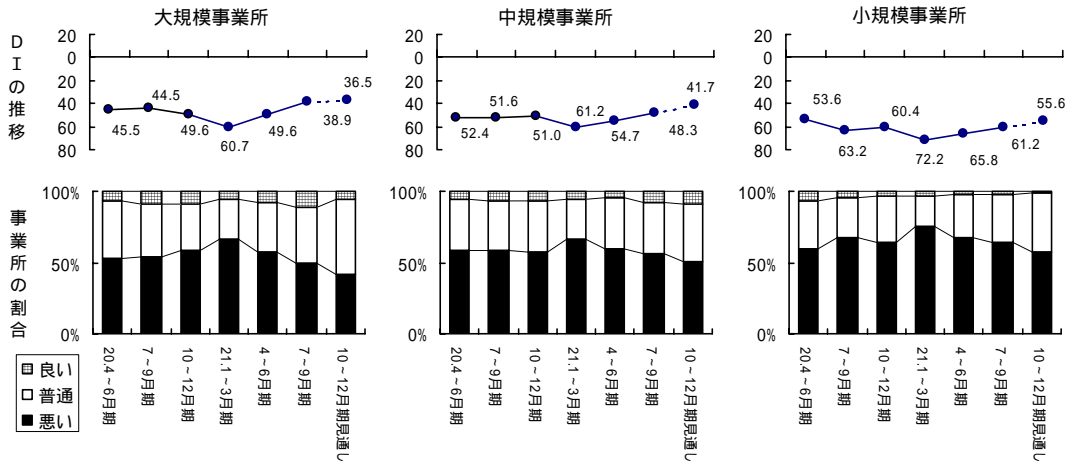
設問4-2 非正規従業員数



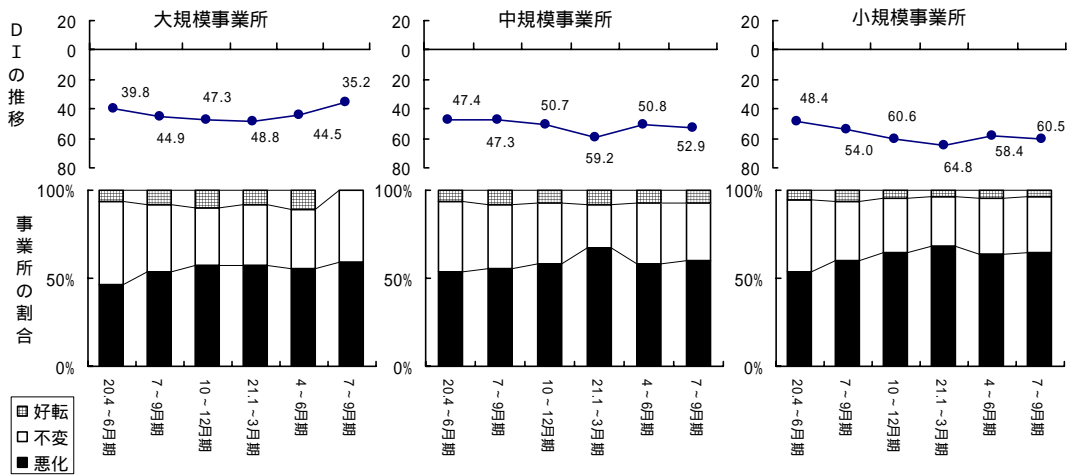
設問4-3 生産・営業用設備(予定)



設問5 - 1 事業所の業況(業況の良し悪し)

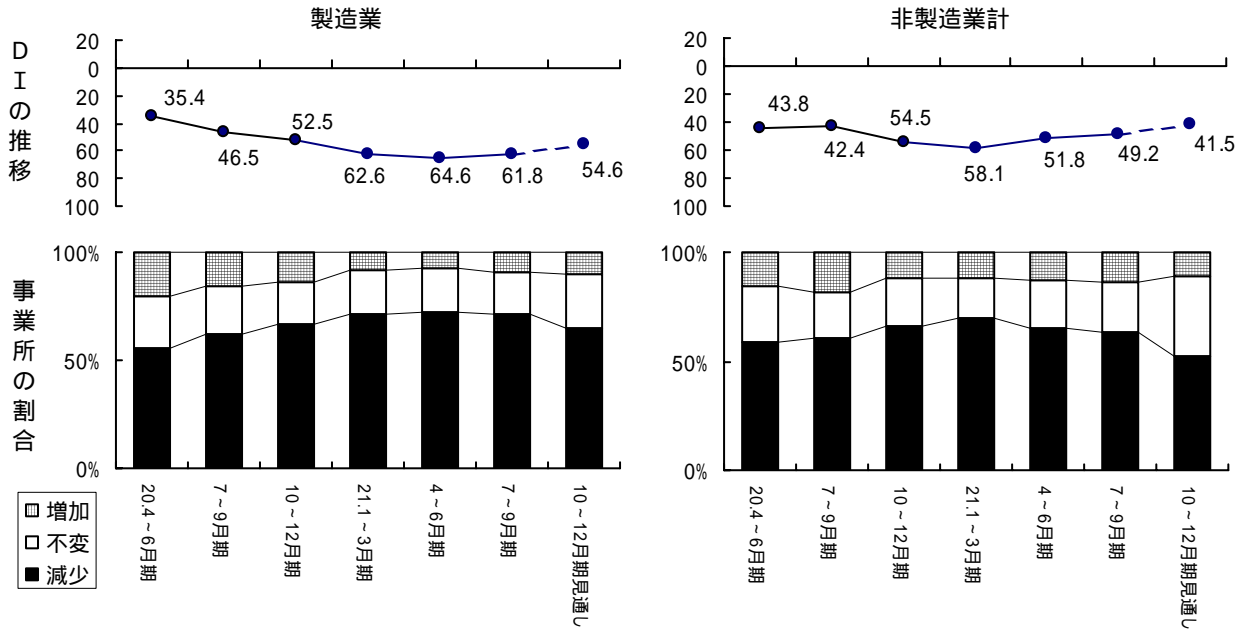


設問6 - 1 事業所の業況(業況の変化)

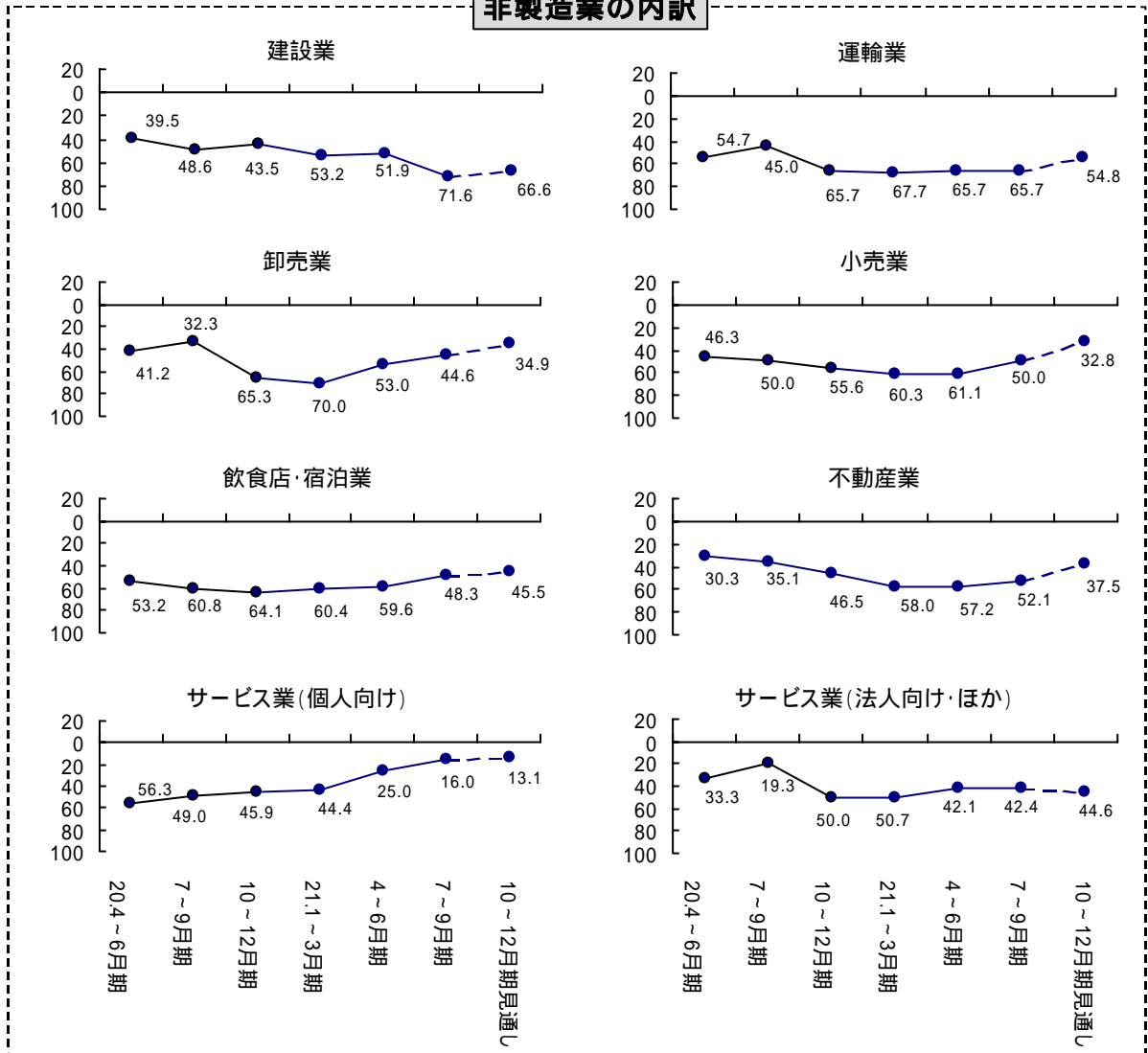


業種別 D I

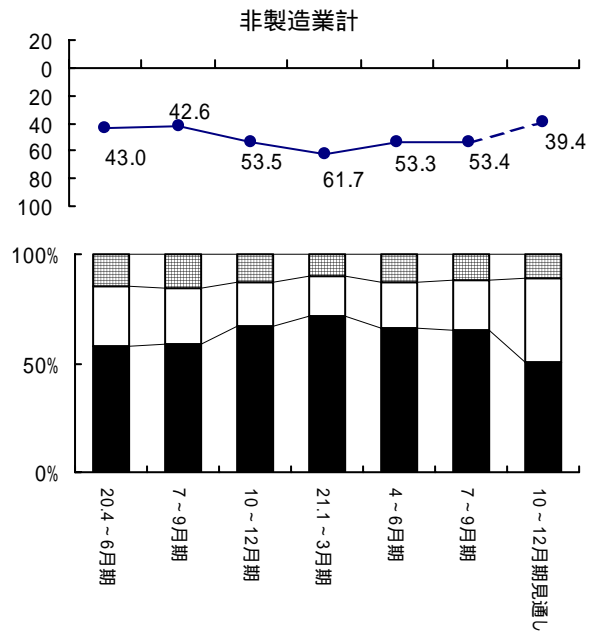
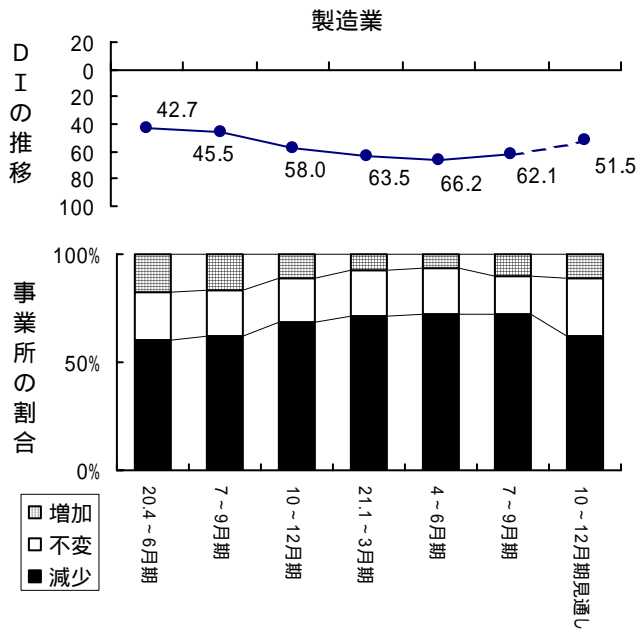
設問 1 - 1 売上高



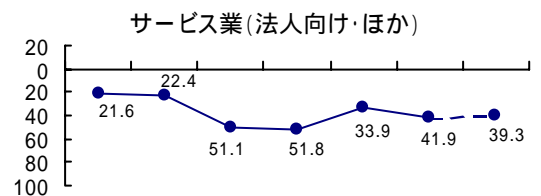
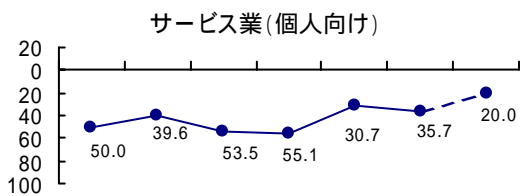
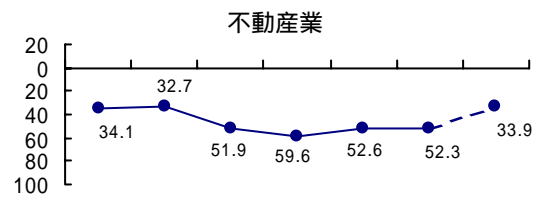
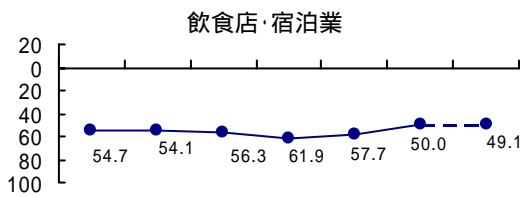
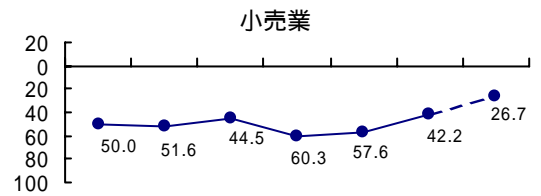
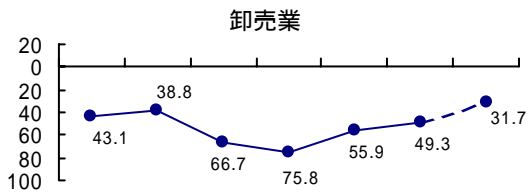
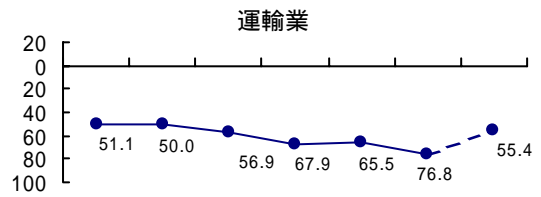
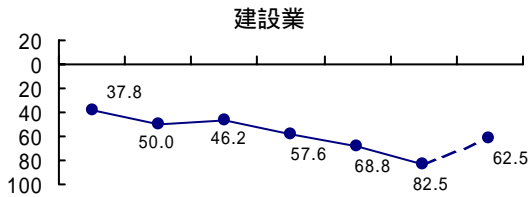
非製造業の内訳



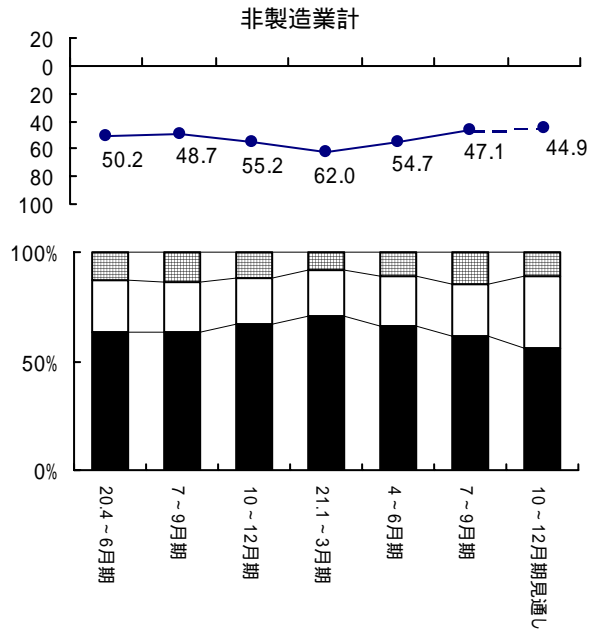
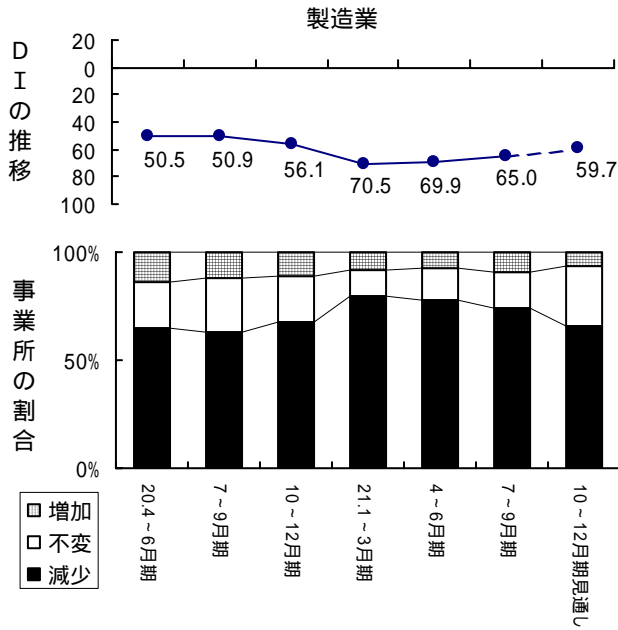
設問1-2 販売数量



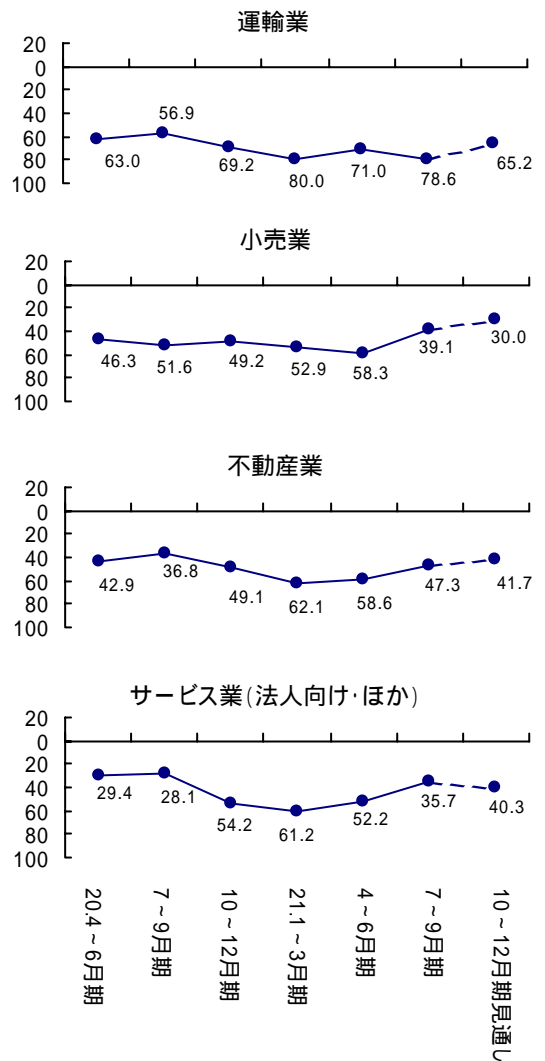
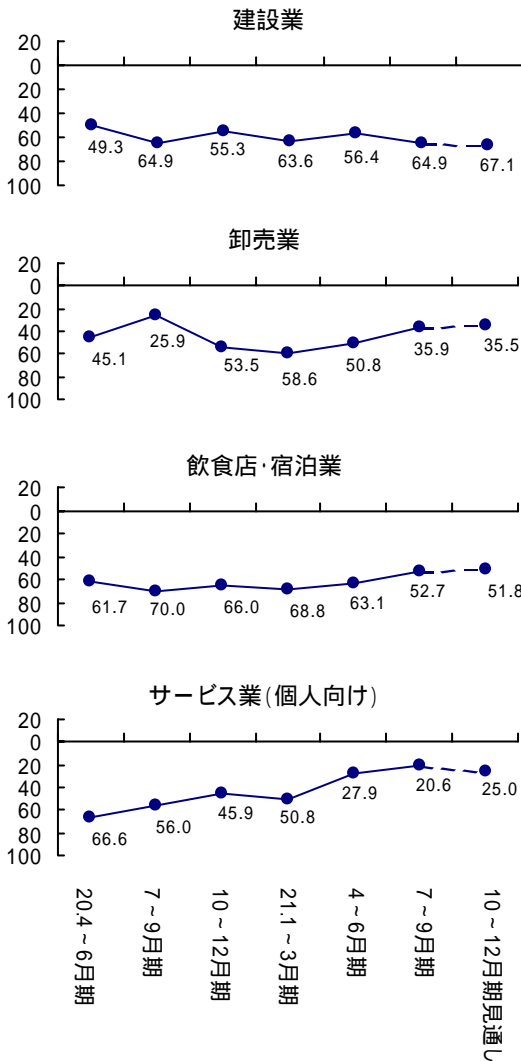
非製造業の内訳



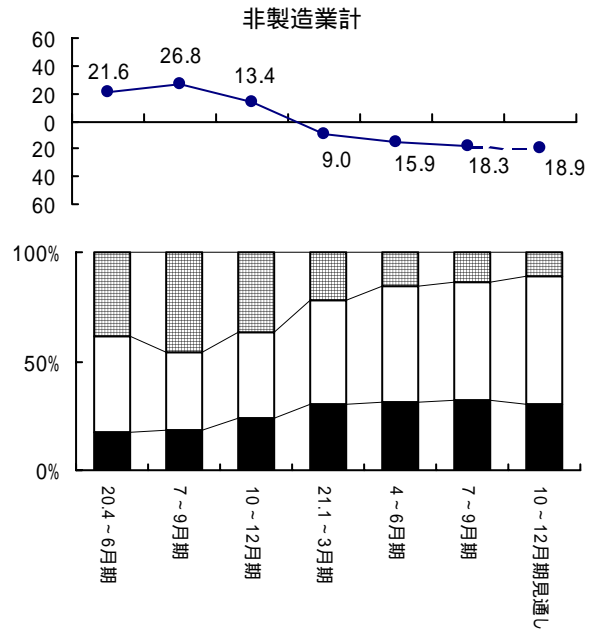
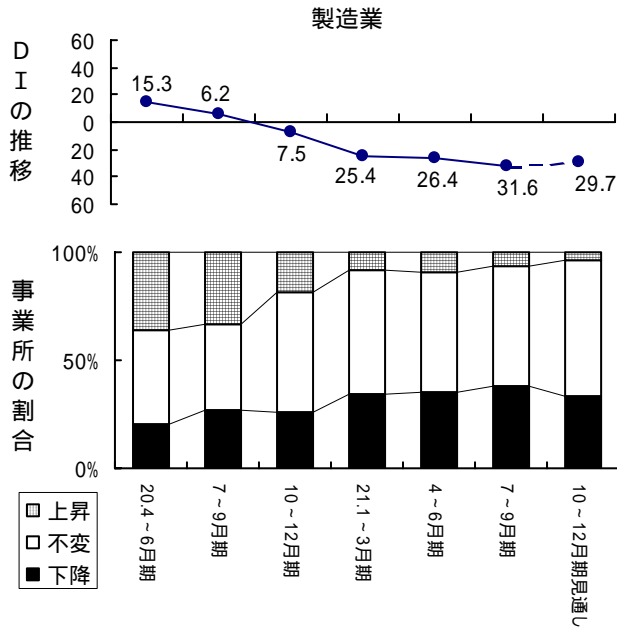
設問1-3 経常利益



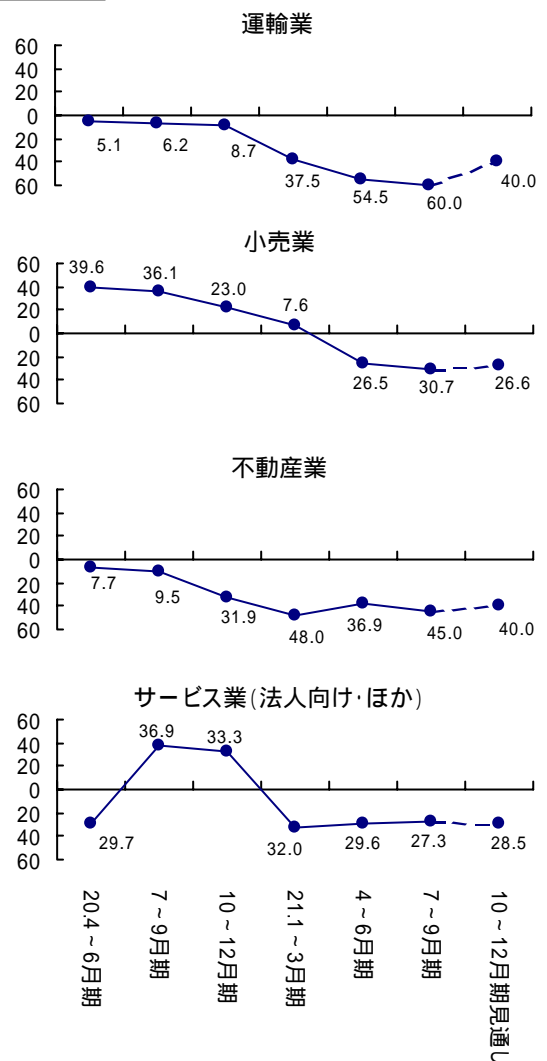
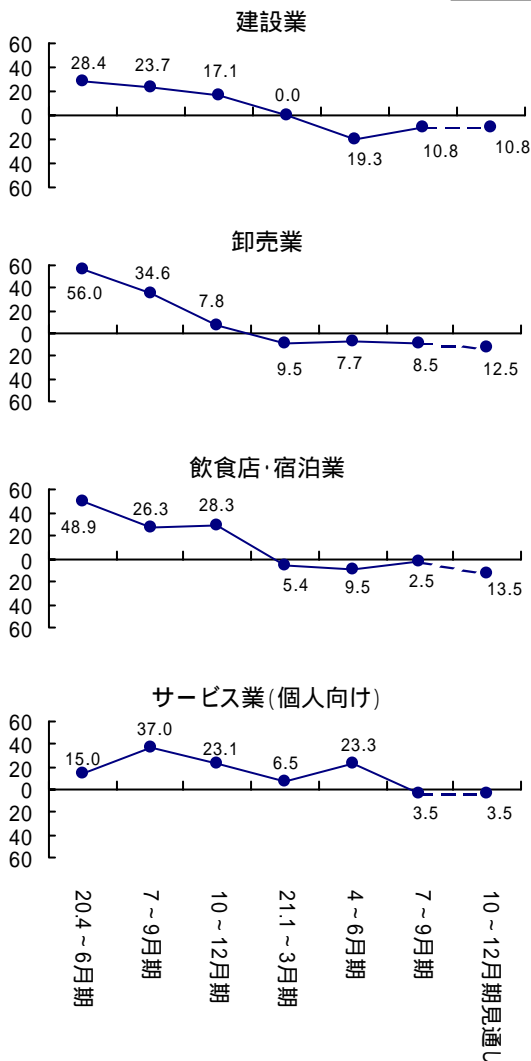
非製造業の内訳



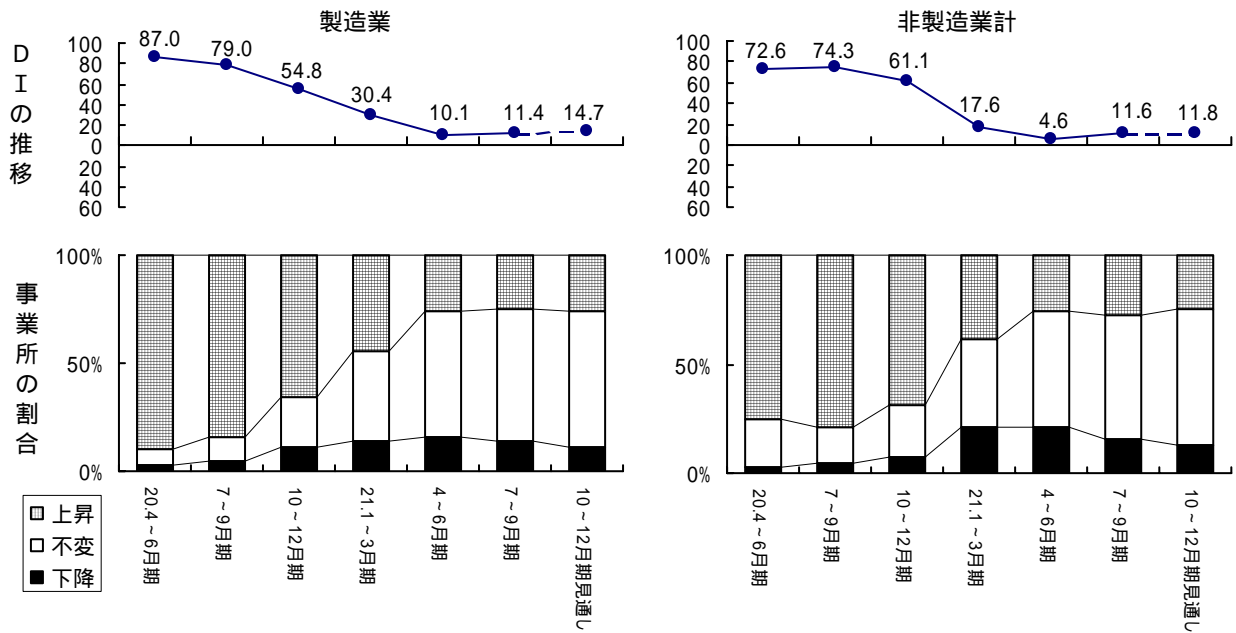
設問2 - 1 製(商)品単価



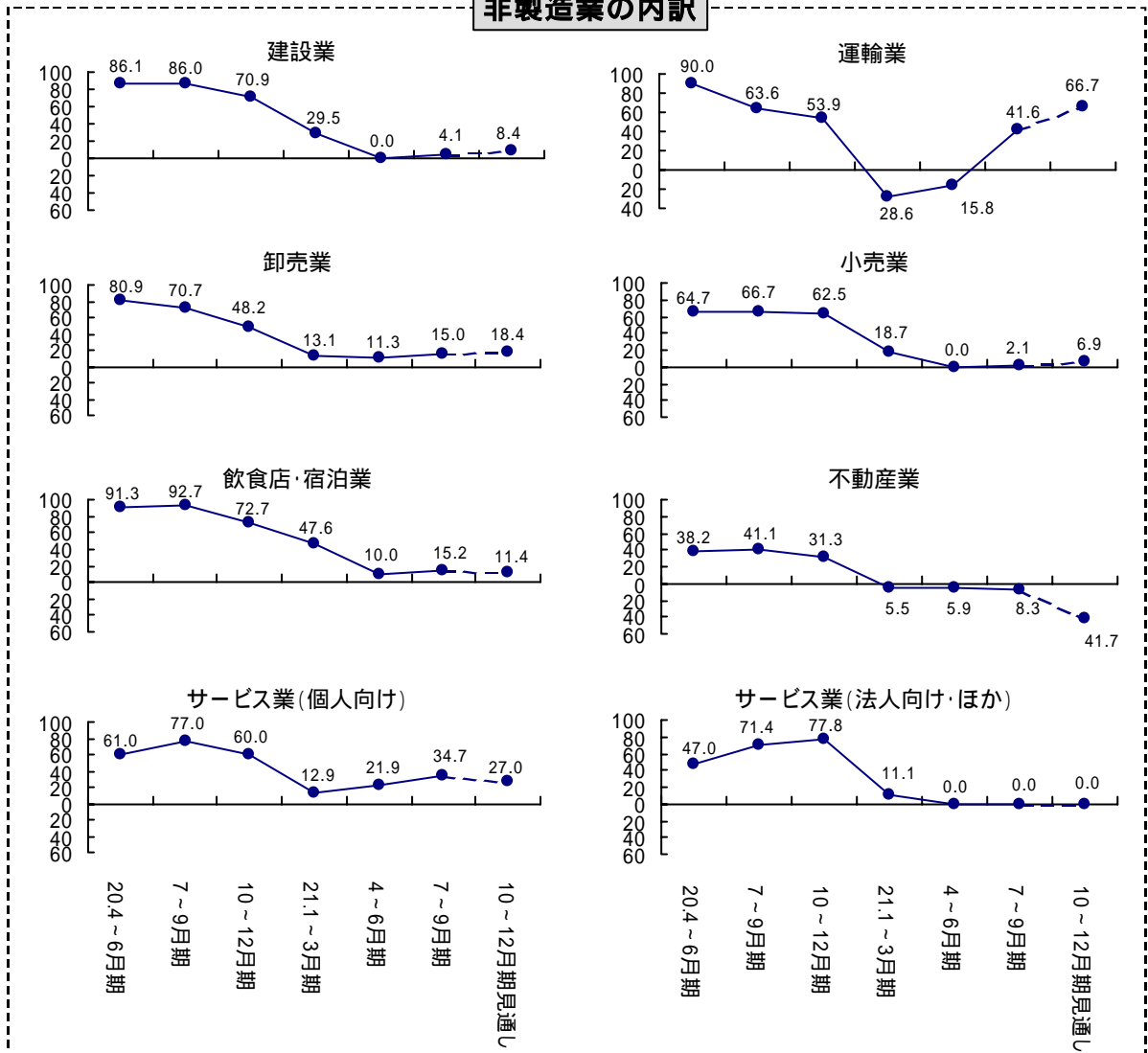
非製造業の内訳



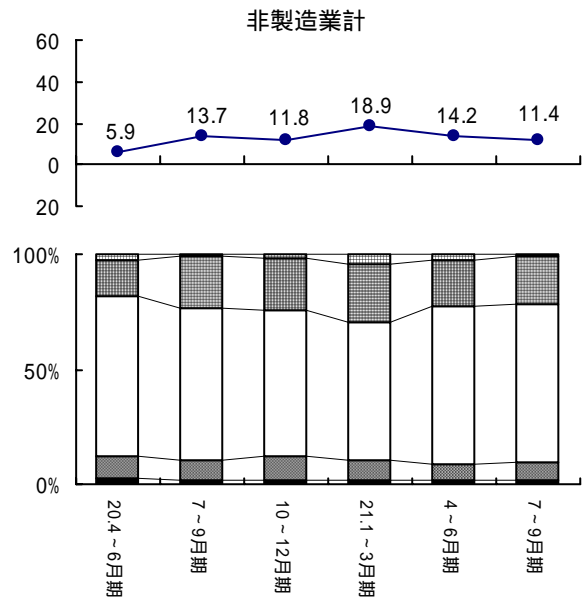
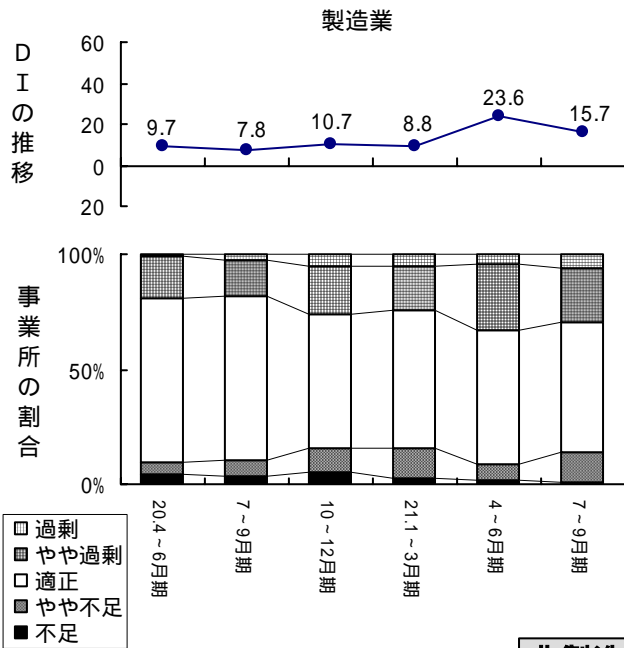
設問2-2 原材料(仕入)価格



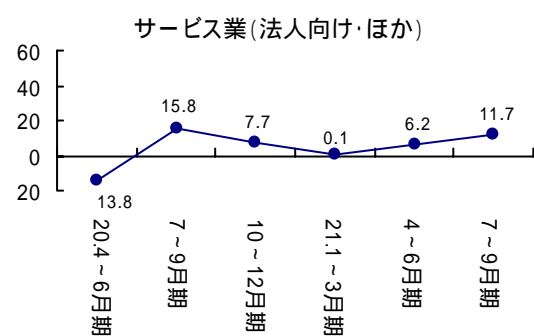
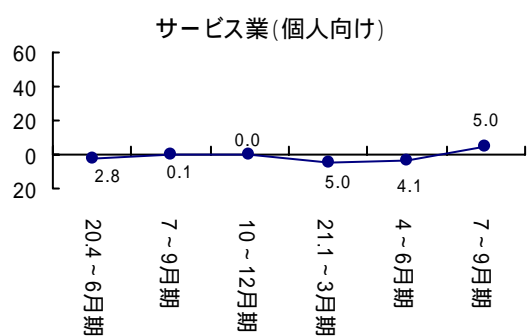
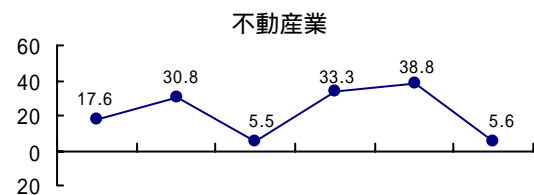
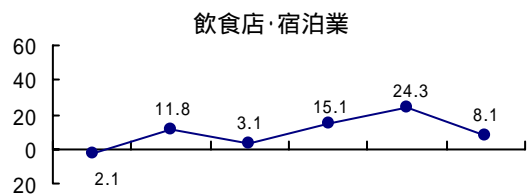
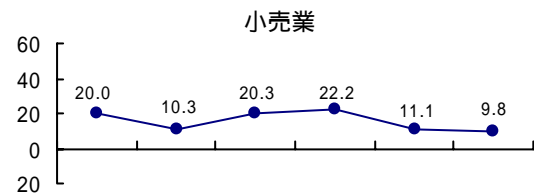
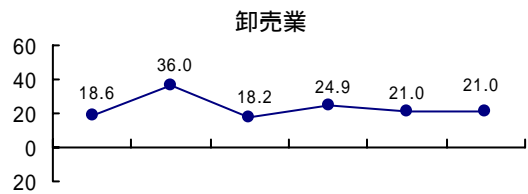
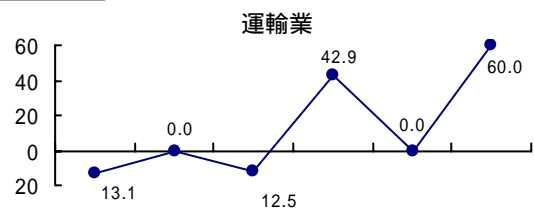
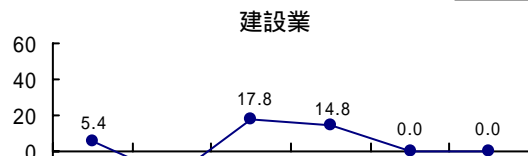
非製造業の内訳



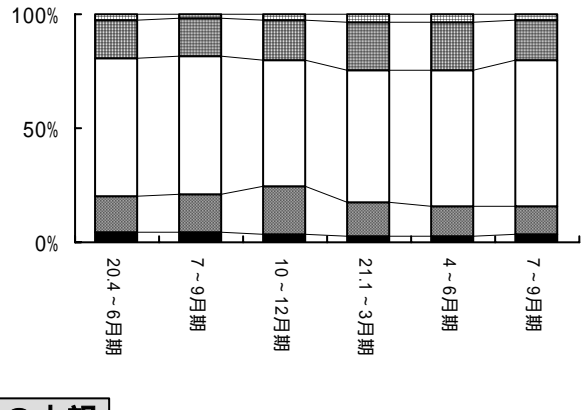
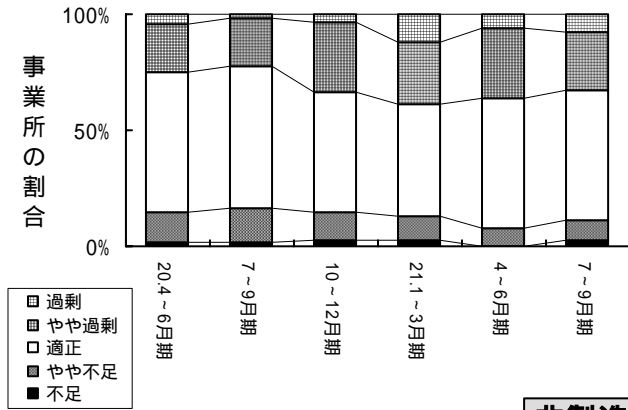
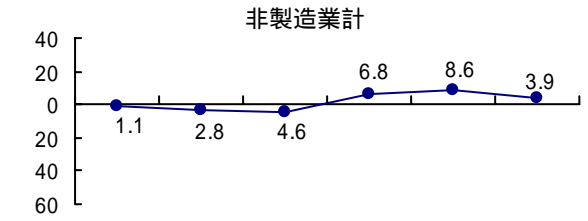
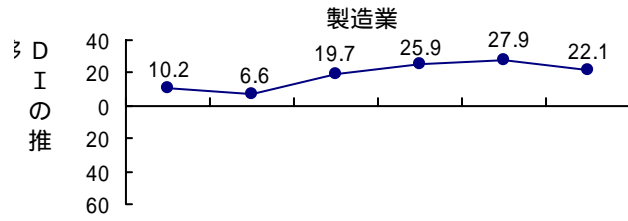
設問3 - 1 製(商)品在庫



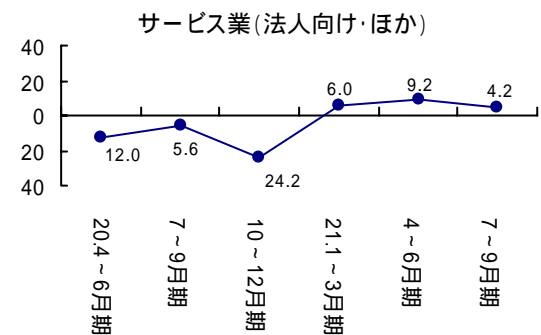
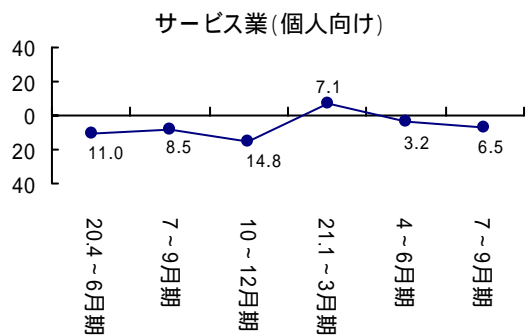
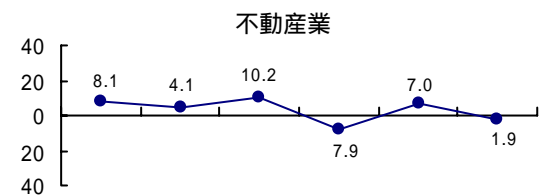
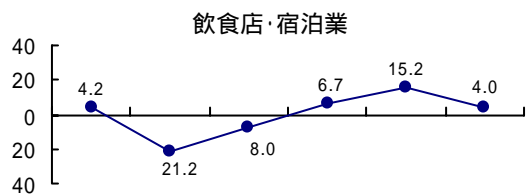
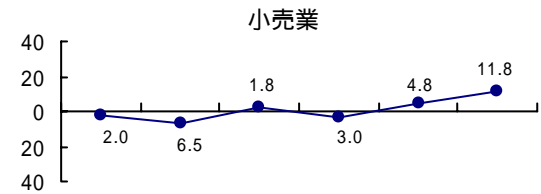
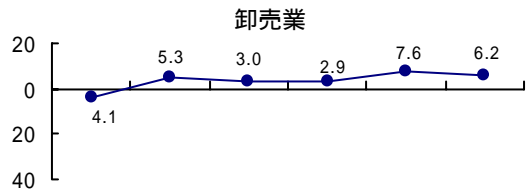
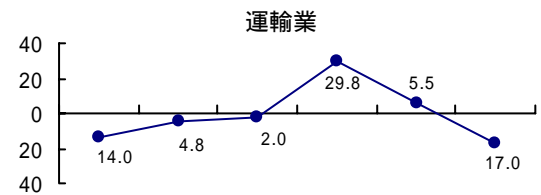
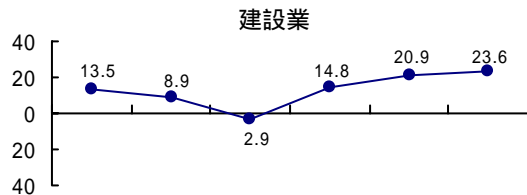
非製造業の内訳



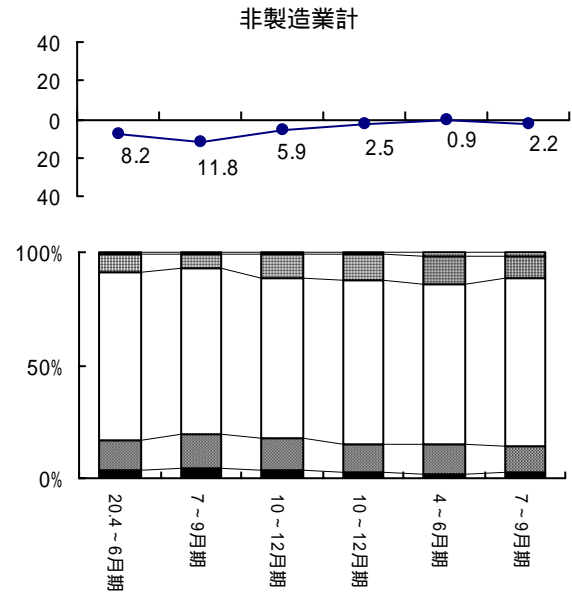
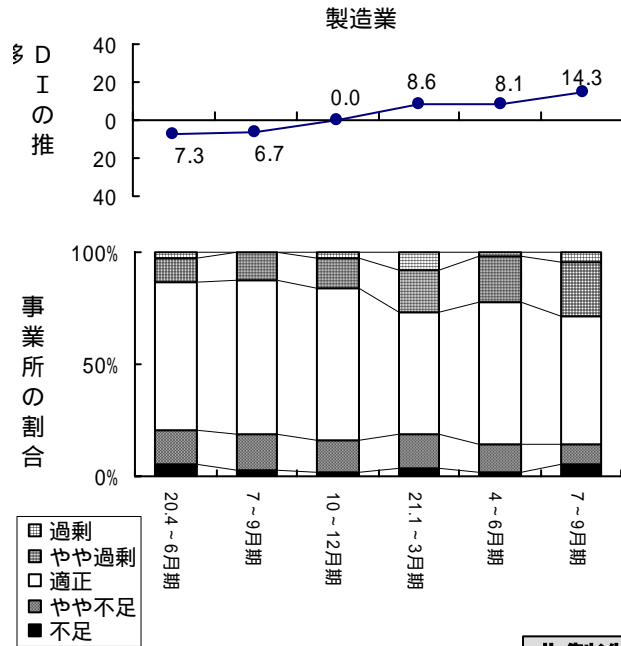
設問3 - 2 労働力



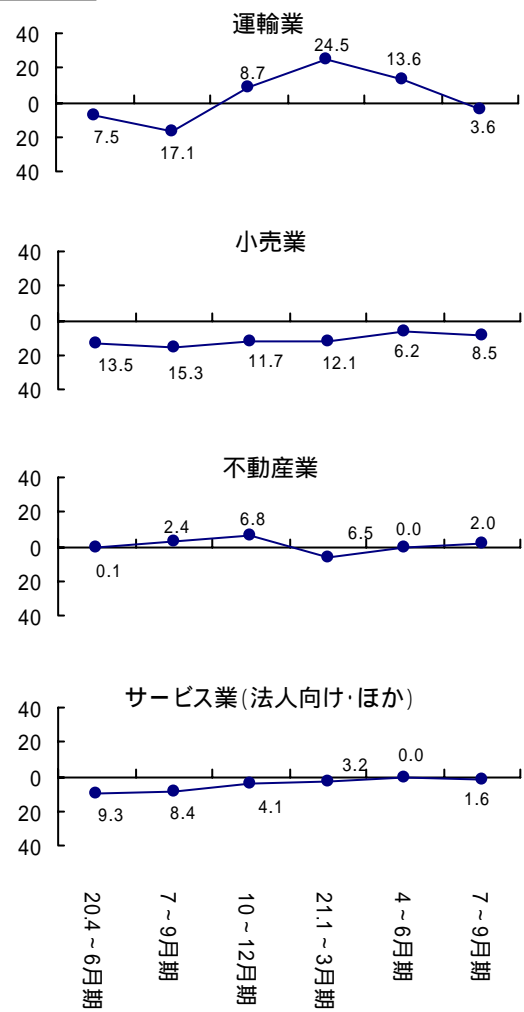
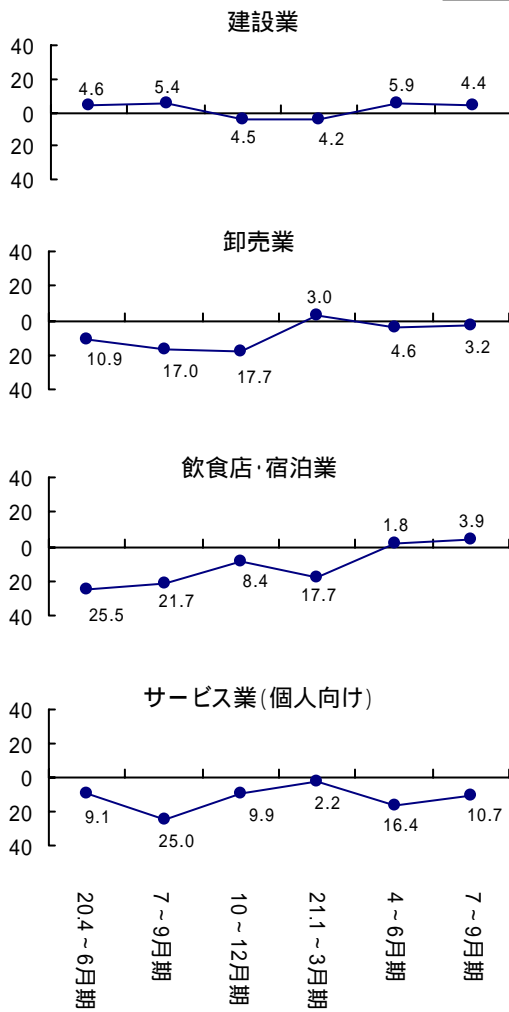
非製造業の内訳



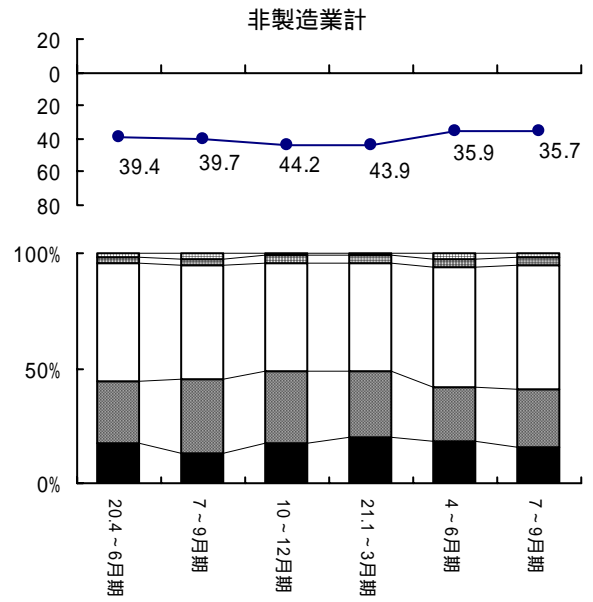
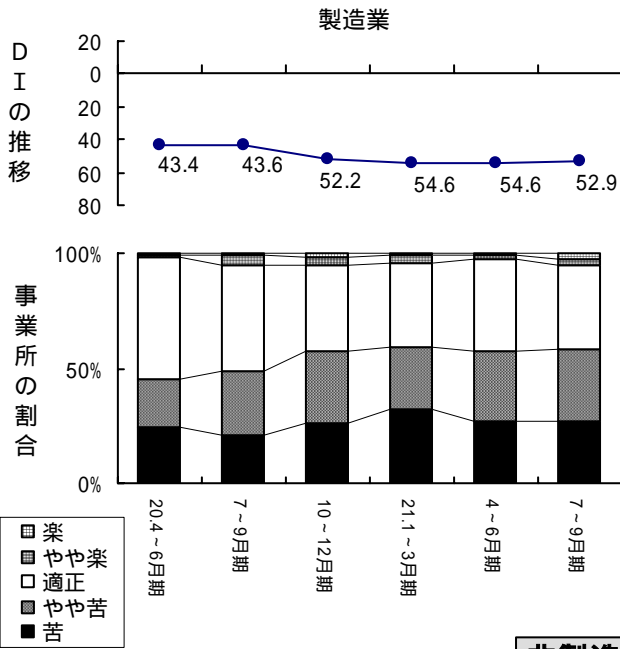
設問3-3 生産・営業用設備



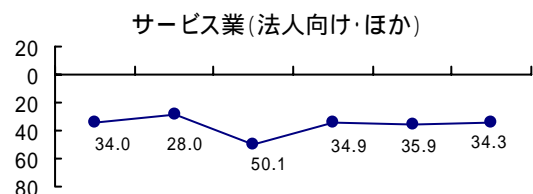
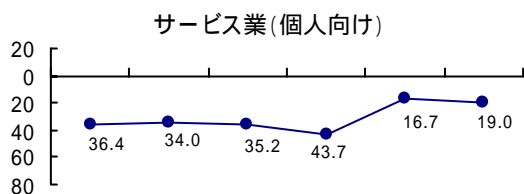
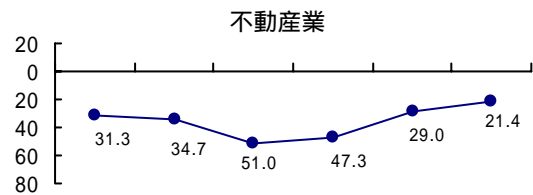
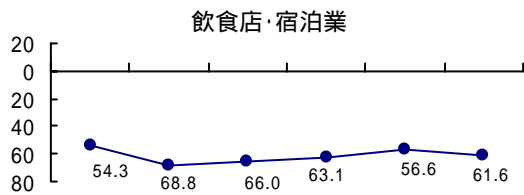
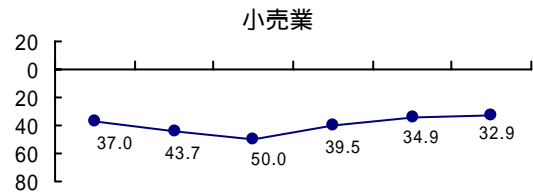
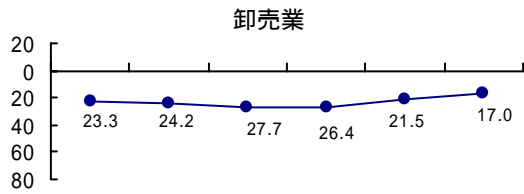
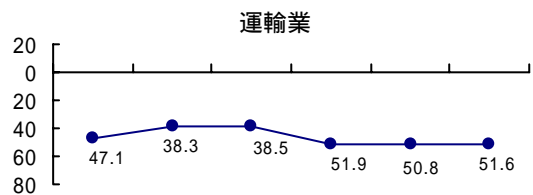
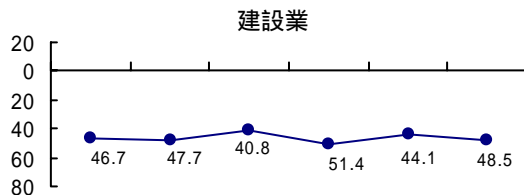
非製造業の内訳



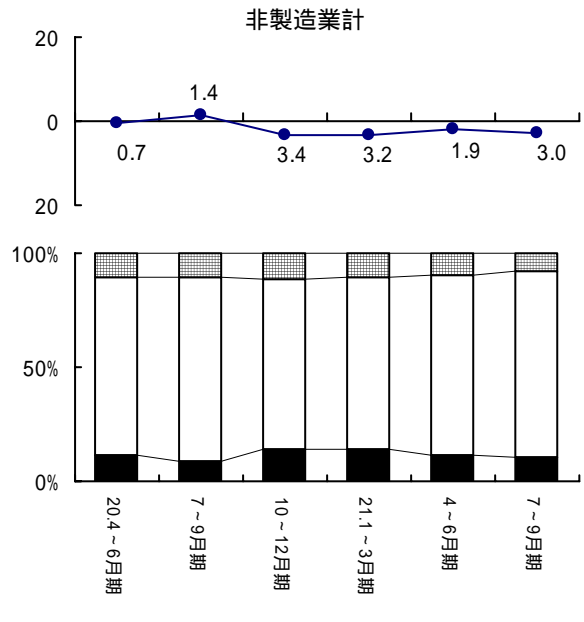
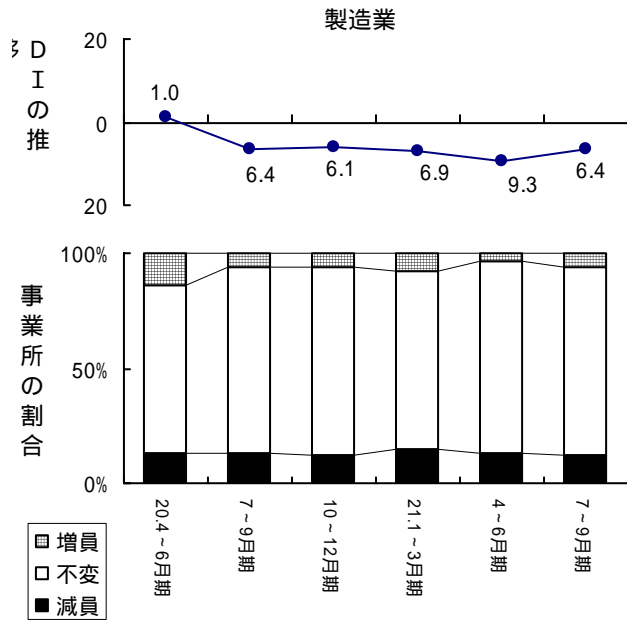
設問3 - 4 資金繰り



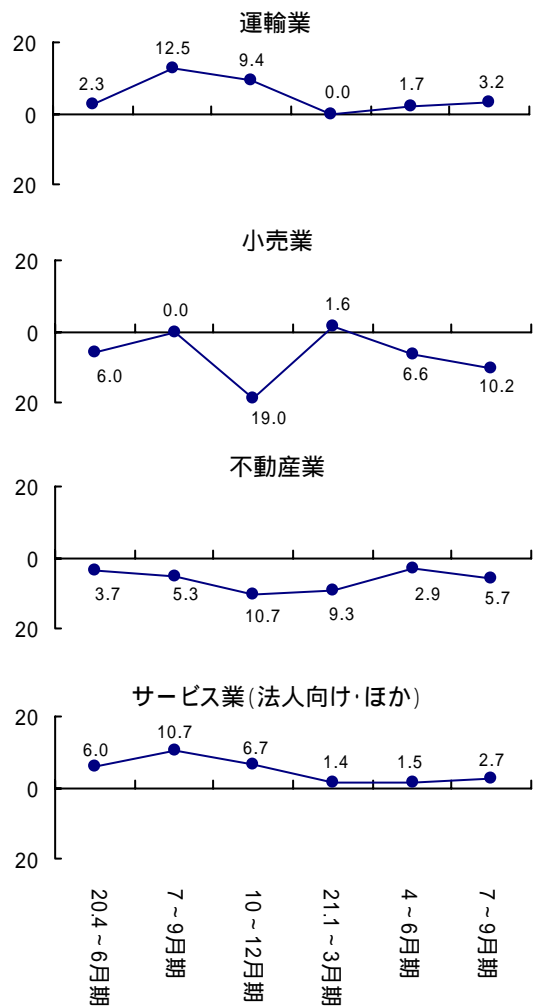
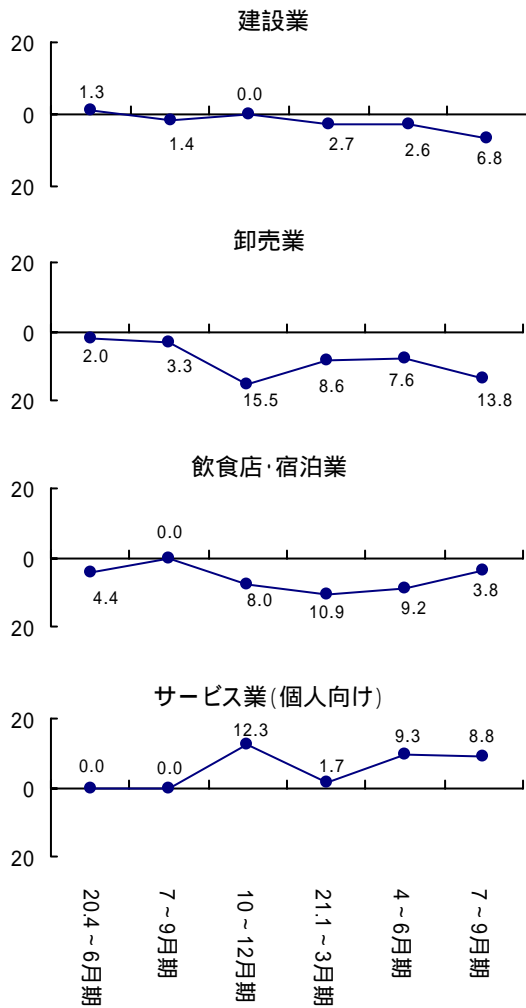
非製造業の内訳



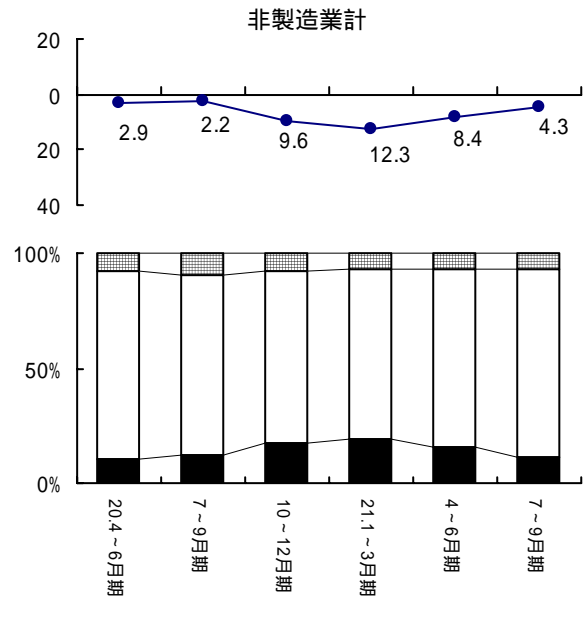
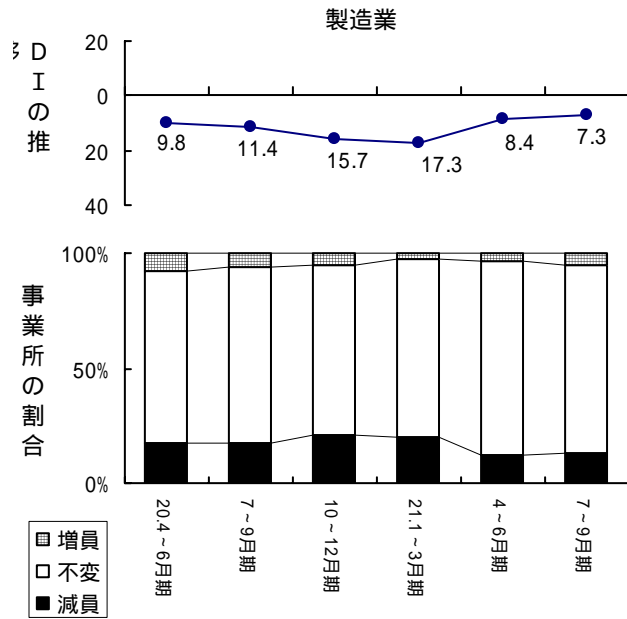
設問4 - 1 正規従業員数



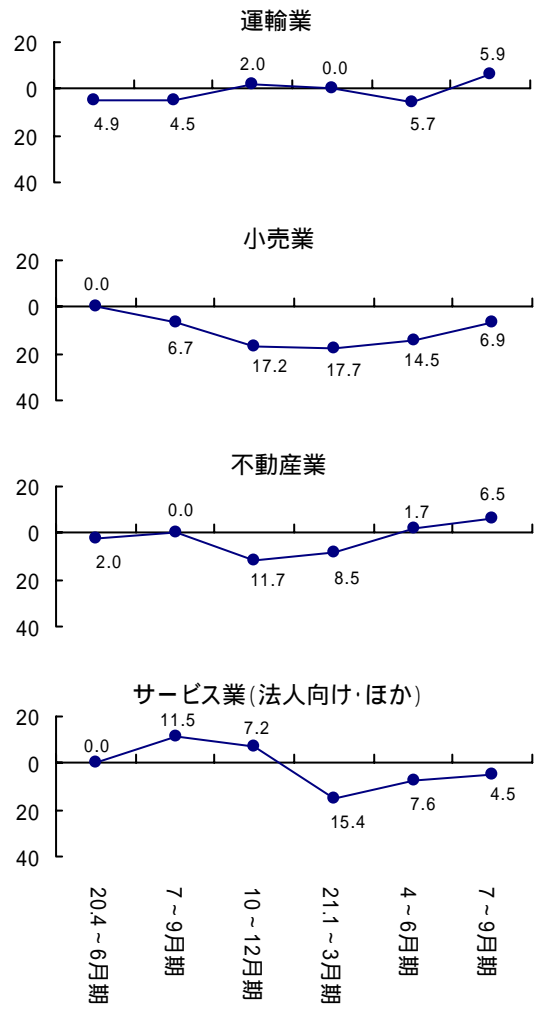
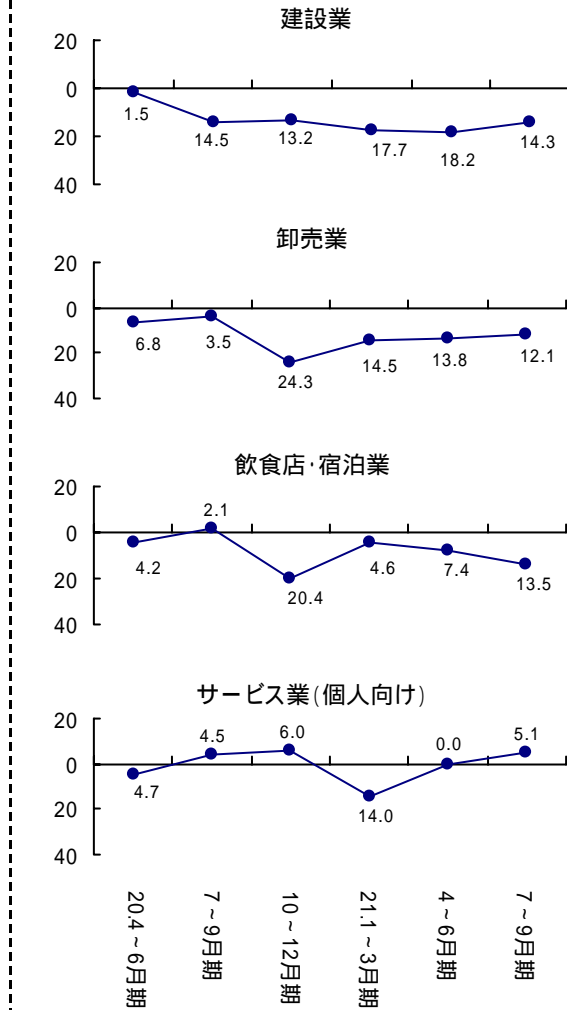
非製造業の内訳



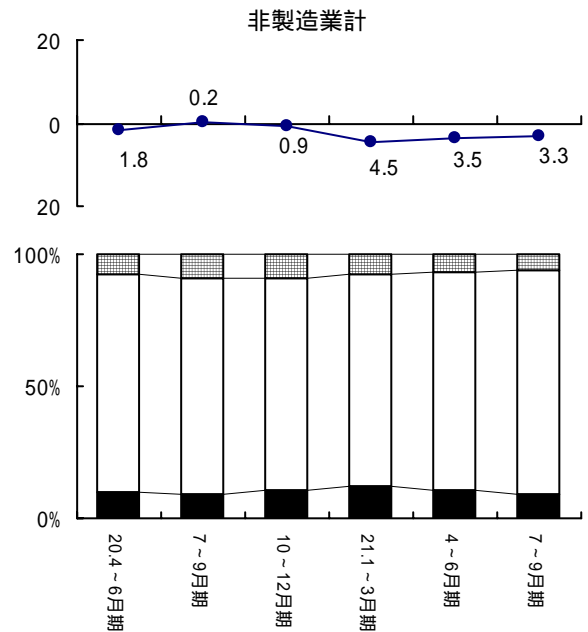
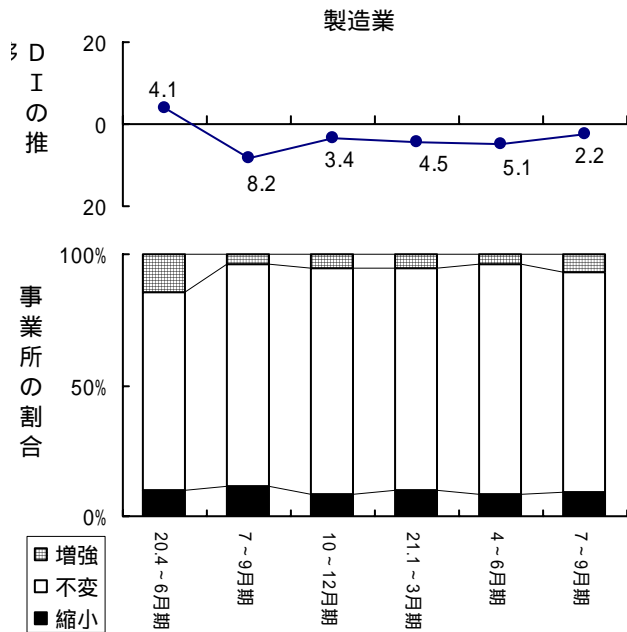
設問4 - 2 非正規従業員



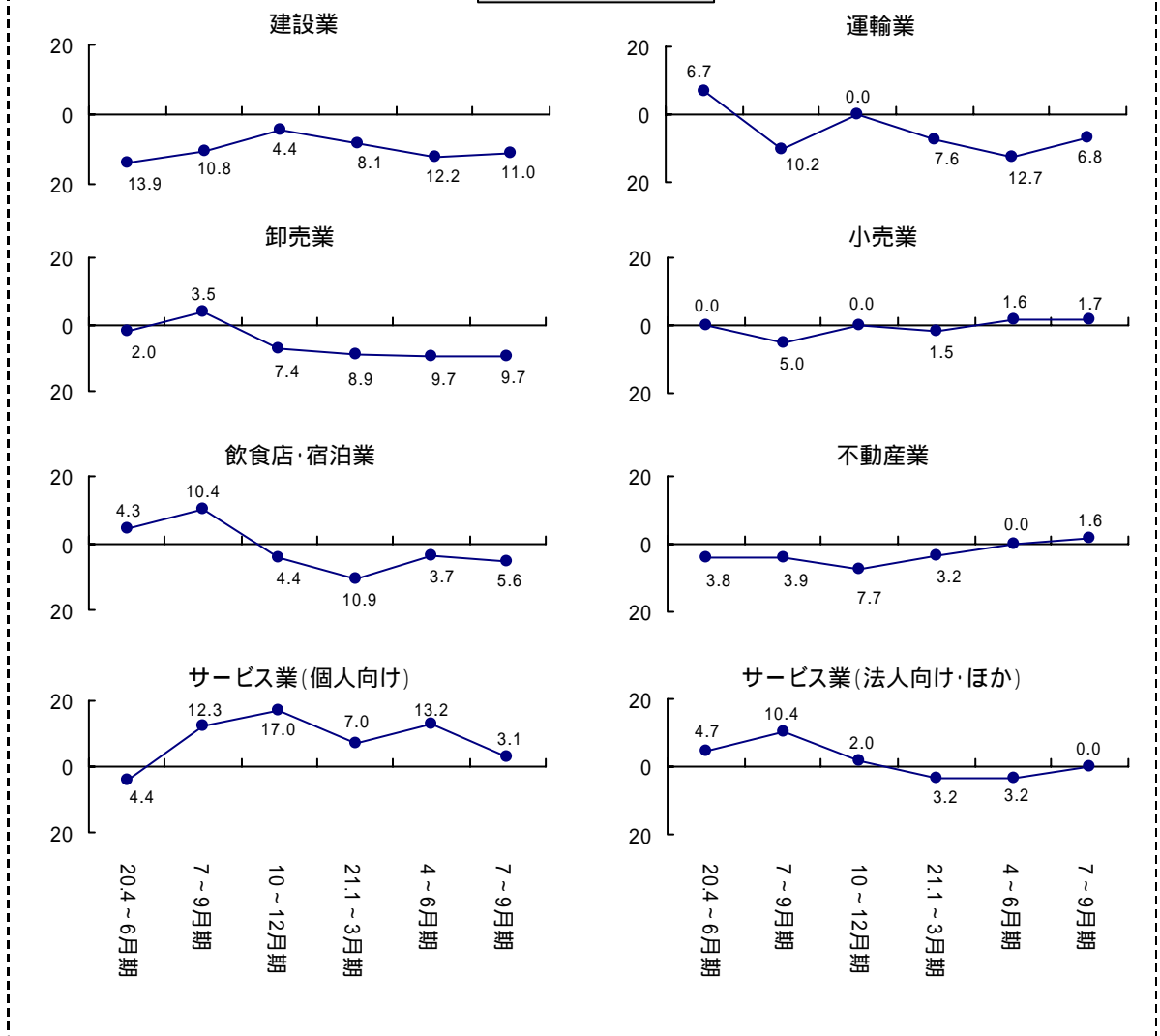
非製造業の内訳



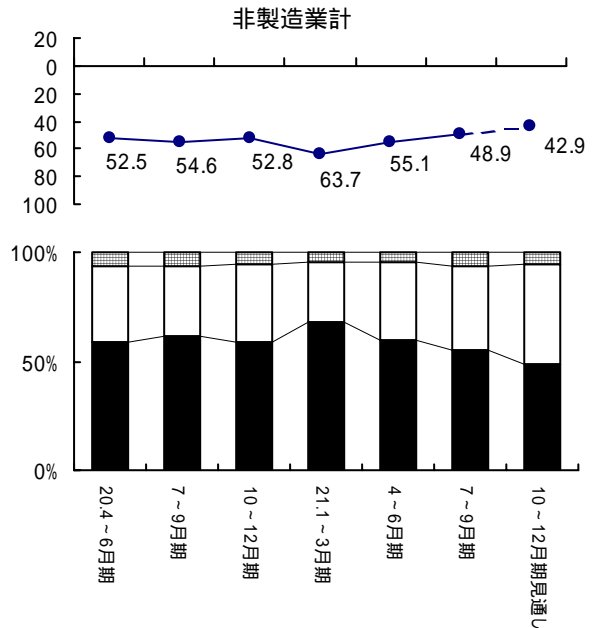
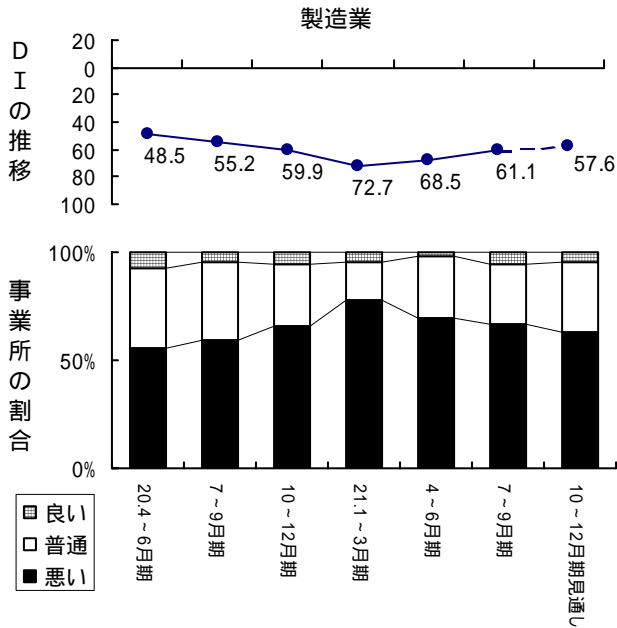
設問4 - 3 生産・営業用設備(予定)



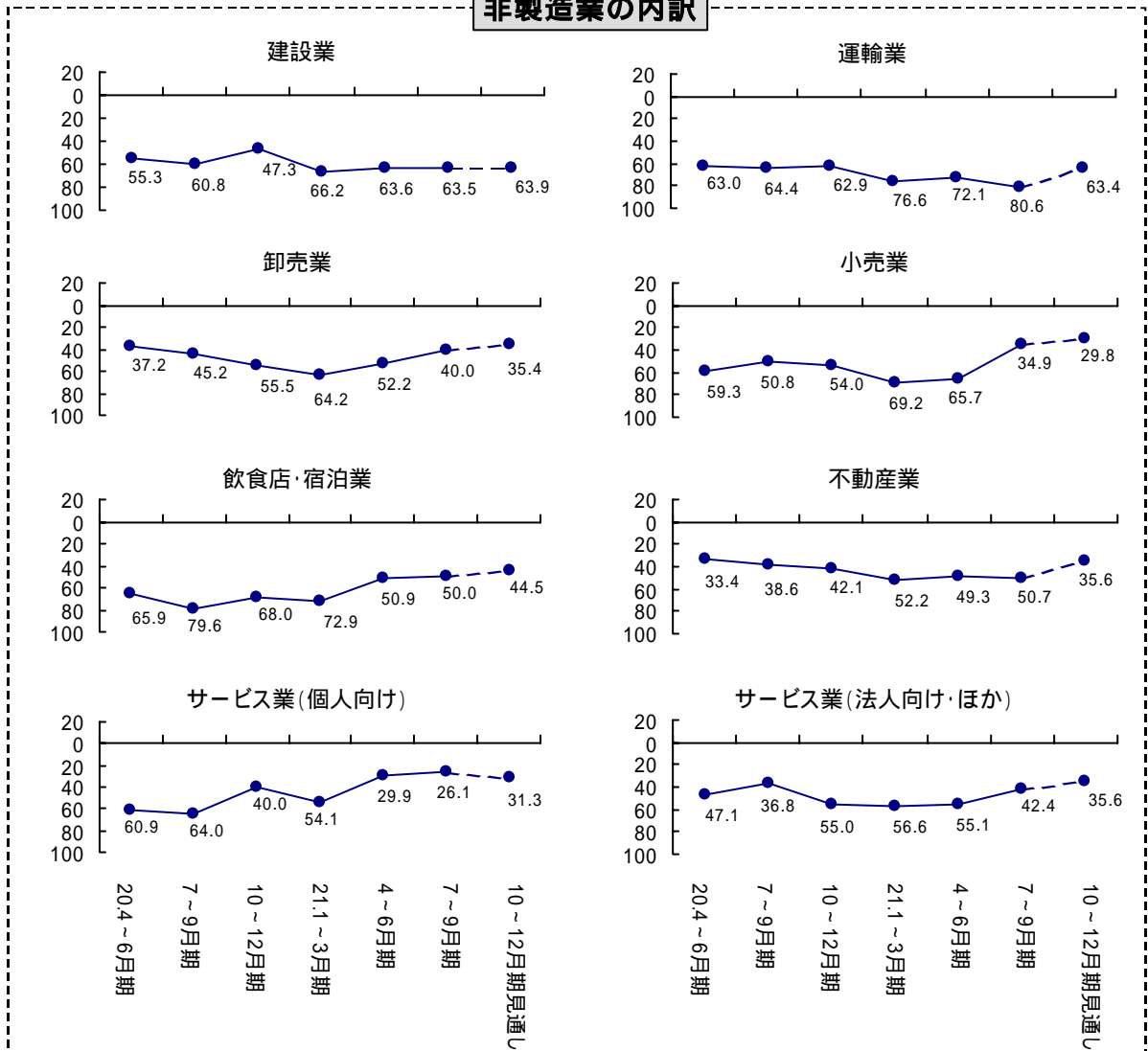
非製造業の内訳



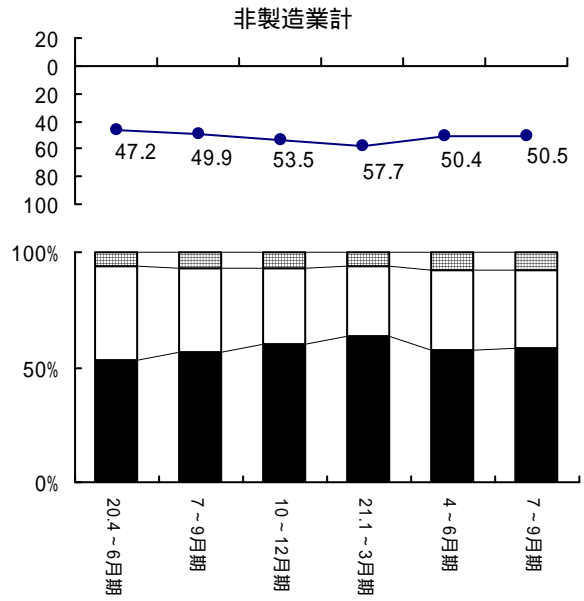
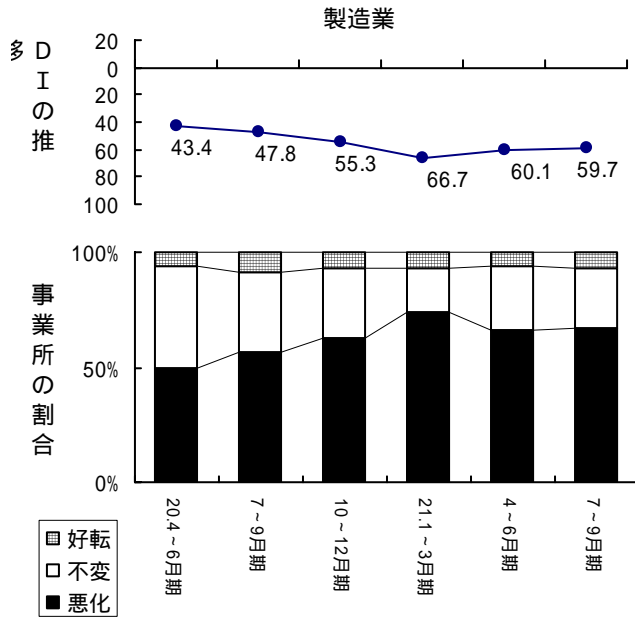
設問5 - 1 事業所の業況(業況の良し悪し)



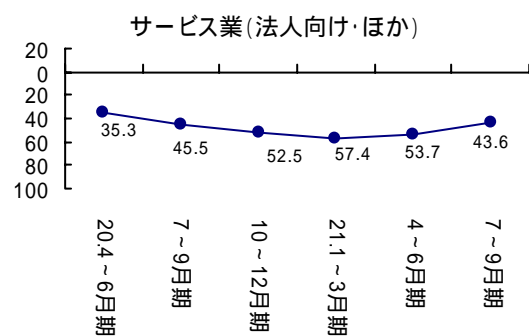
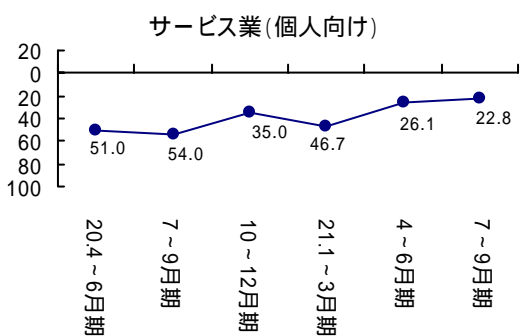
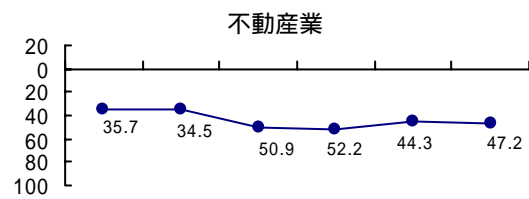
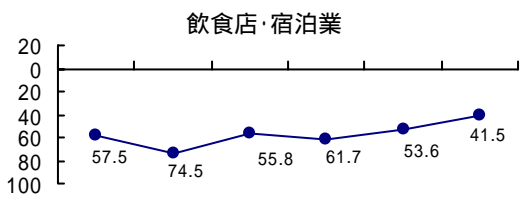
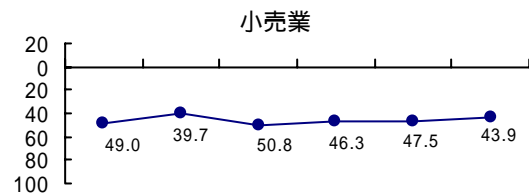
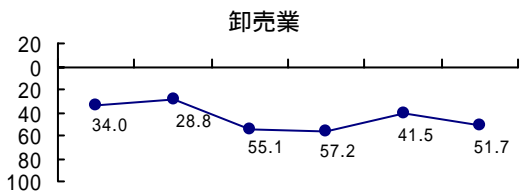
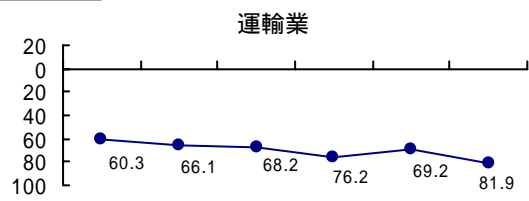
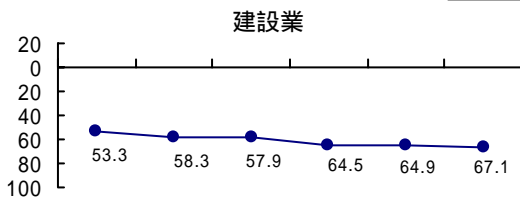
非製造業の内訳



設問6-1 事業所の業況(業況の変化)

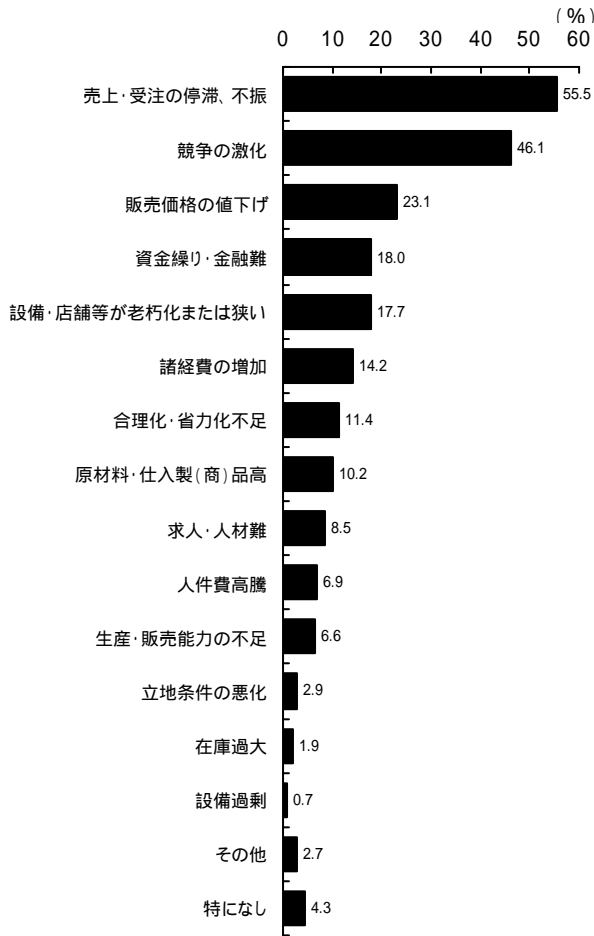


非製造業の内訳

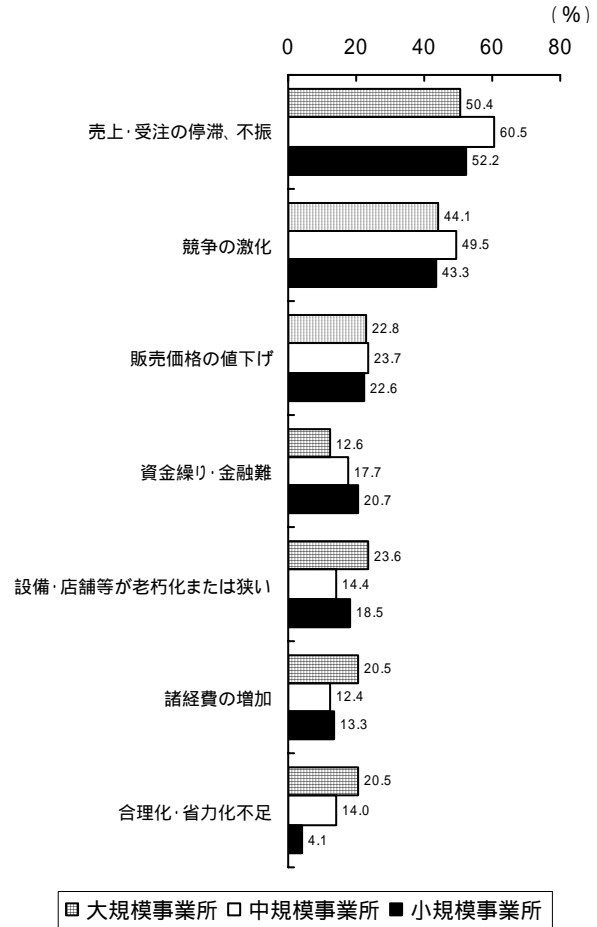


経営上の課題

当面の経営上の課題(全業種計)



当面の経営上の課題(規模別・抜粋)



■ 大規模事業所 □ 中規模事業所 ■ 小規模事業所

当面の経営上の課題(業種別・抜粋)

製造業	非製造業
1 売上・受注の停滞、不振 (73.1%)	1 売上・受注の停滞、不振 (50.8%)
2 競争の激化 (38.6%)	2 競争の激化 (48.1%)
3 資金繰り・金融難 (29.7%)	3 販売価格の値下げ (21.4%)

建設業	運輸業	卸売業
1 売上・受注の停滞、不振 (86.5%)	1 競争の激化 (63.0%)	1 売上・受注の停滞、不振 (56.9%)
2 競争の激化 (73.0%)	2 売上・受注の停滞、不振 (47.9%)	2 競争の激化 (49.2%)
3 販売価格の値下げ (28.4%)	3 諸経費の増加 (28.8%)	3 販売価格の値下げ (26.2%)

小売業	飲食店・宿泊業	不動産業
1 競争の激化 (45.3%)	1 売上・受注の停滞、不振 (57.1%)	1 競争の激化 (38.7%)
2 売上・受注の停滞、不振 (42.2%)	2 競争の激化 (35.7%)	2 売上・受注の停滞、不振 (34.7%)
3 販売価格の値下げ (26.6%)	3 設備・店舗等が老朽化または狭い (33.9%)	3 設備・店舗等が老朽化または狭い (32.0%)

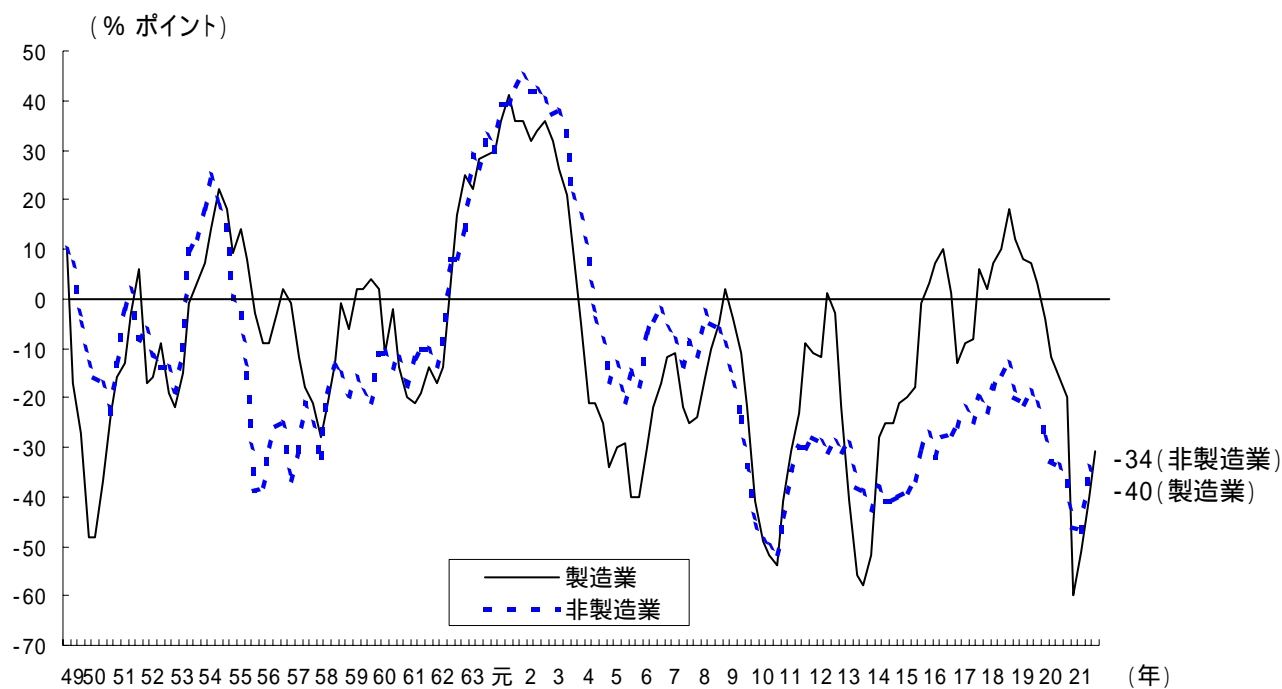
サービス業(個人向け)	サービス業(法人向け・ほか)
1 設備・店舗等が老朽化または狭い (31.4%)	1 売上・受注の停滞、不振 (54.1%)
1 競争の激化 (31.4%)	2 競争の激化 (44.6%)
3 売上・受注の停滞、不振 (27.1%)	3 販売価格の値下げ (17.6%)
	3 諸経費の増加 (17.6%)

(2) 東北、全国の調査結果

東北

日本銀行仙台支店「全国企業短期経済観測調査結果 - 東北6県 - 」(平成21年10月1日)

東北地区の業況判断D Iの推移(日銀仙台支店「全国企業短期経済観測調査結果 - 東北6県 - 」)



業況判断D I (東北)

		前回 (H21.6) 調査		今回 (H21.9) 調査	
		最近	先行き	最近	先行き
製造業	大企業	47	37	34 (13) 1	30 (4) 2
	中堅・中小企業	52	36	40 (12)	32 (8)
	製造業計	51	36	40 (11)	31 (9)
非製造業	大企業	38	19	19 (19)	24 (5)
	中堅・中小企業	47	45	35 (12)	39 (4)
	非製造業計	47	43	34 (13)	38 (4)
全産業・全規模合計		49	40	36 (13)	36 (0)

D I値は、「良い」回答者構成比(%)から「悪い」回答者構成比(%)を差し引いた値。

値が小さいほど、業況判断は悪いということになる。 はマイナスを表す。

()内は変化幅(差)を表す。 1は前回の「最近」と今回の「最近」との変化幅。
2は今回の「最近」と今回の「先行き」との変化幅。

日本銀行仙台支店「経済の動き」(平成21年9月11日)

東北地区6県(青森、岩手、秋田、宮城、山形、福島)

概況

東北地域の景気は、厳しい状況が続いているが、下げ止まっている。

最終需要の動向をみると、公共投資が前年を上回っている一方、設備投資は、企業収益の悪化などから、大幅に減少している。個人消費は、一部に政策効果がみられるものの、全体では弱い状況が続いている。また、住宅投資は、低調に推移している。この間、生産は、内外における在庫調整の進展や海外需要の増加等を受けて、持ち直している。こうした中、雇用情勢をみると、厳しい状況が続いている。消費者物価(除く生鮮食品)は、前年における石油製品価格高騰の反動などから、前年比マイナス幅が拡大している。

(1) 個人消費

個人消費は、一部に政策効果がみられるものの、全体では弱い状況が続いている。

(2) 住宅投資

低調に推移している。新設住宅着工戸数をみると、減少が続いている。

(3) 公共投資

公共投資は、前年を上回っている。

(4) 生産

生産(鉱工業生産)は、内外における在庫調整の進展や海外需要の増加等を受けて、持ち直している。

(5) 雇用・所得

雇用情勢をみると、厳しい状況が続いている。

(6) 金融情勢

預金動向は、全体として前年を上回って推移しているものの、厳しい雇用・所得環境のもとで伸び率が若干縮小している。

貸出動向は、地方公共団体向けが増加していることから前年を上回って推移している。

日本銀行仙台支店「経済の動き」「全国企業短期経済観測調査結果 - 東北地区6県 - 」

についての詳しい情報は、日本銀行仙台支店のHP

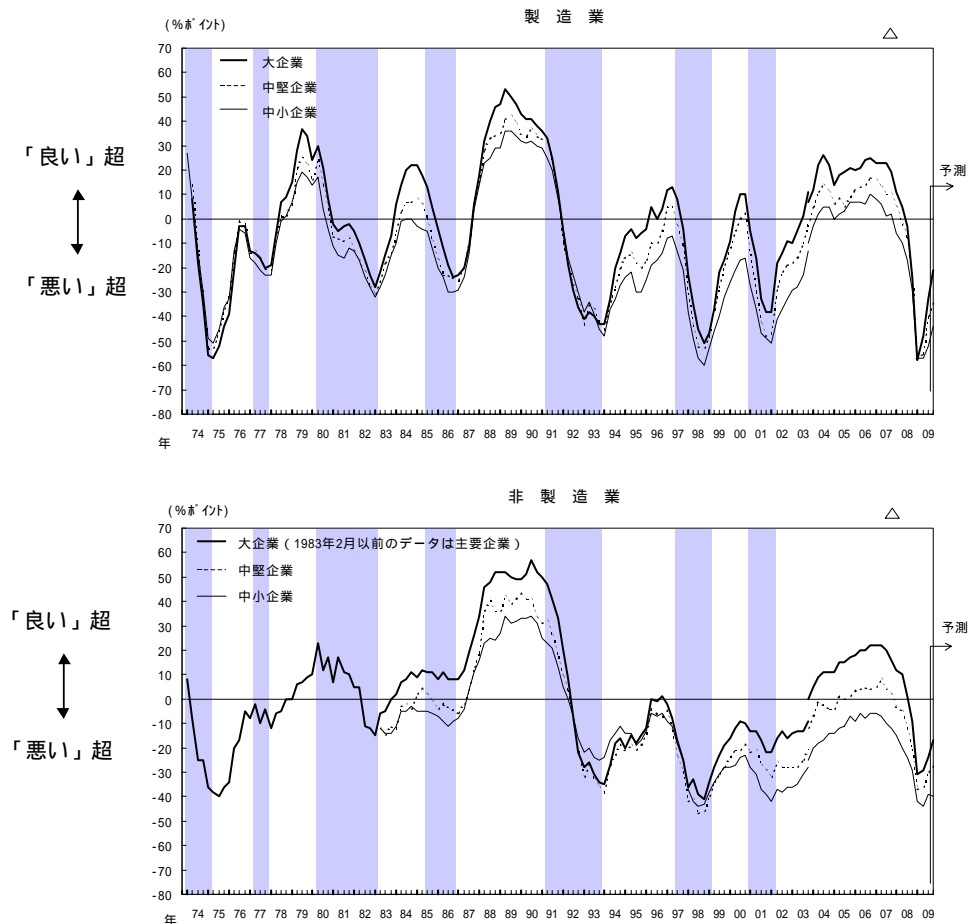
<http://www3.boj.or.jp/sendai/>

を参照してください。

全国

日本銀行「企業短期経済観測調査」(平成 21 年 10 月 1 日)

業況判断の推移(日銀短観 上:製造業 下:非製造業)



(注) グラフ中の網掛けは、景気後退期(内閣府調べ)。 は直近(2007年10月)の景気の山。

業況判断D I (日銀短観:全国)

		前回(H21.6)調査		今回(H21.9)調査	
		最近	先行き	最近	先行き
製造業	大企業	48	30	33 (15) 1	21 (12) 2
	中堅企業	55	46	40 (15)	35 (5)
	中小企業	57	53	52 (5)	44 (8)
	製造業計	55	44	43 (12)	35 (8)
非製造業	大企業	29	21	24 (5)	17 (7)
	中堅企業	36	32	30 (6)	28 (2)
	中小企業	44	45	39 (5)	40 (1)
	非製造業計	39	37	33 (6)	33 (0)
全産業・全規模合計		45	41	38 (7)	34 (4)

D I 値は、「良い」回答者構成比(%)から「悪い」回答者構成比(%)を差し引いた値
 値が小さいほど、業況判断は悪いということになる。 はマイナスを表す。

()内は変化幅(差)を表す。 1は前回の「最近」と今回の「最近」との変化幅。
 2は今回の「最近」と今回の「先行き」との変化幅。

日本銀行「企業短期経済観測調査」についての詳しい情報は、日本銀行の HP
http://www.boj.or.jp/type/stat/boj_stat/tk/
 を参照してください。

(3) 主要経済指標

主要経済指標グラフ

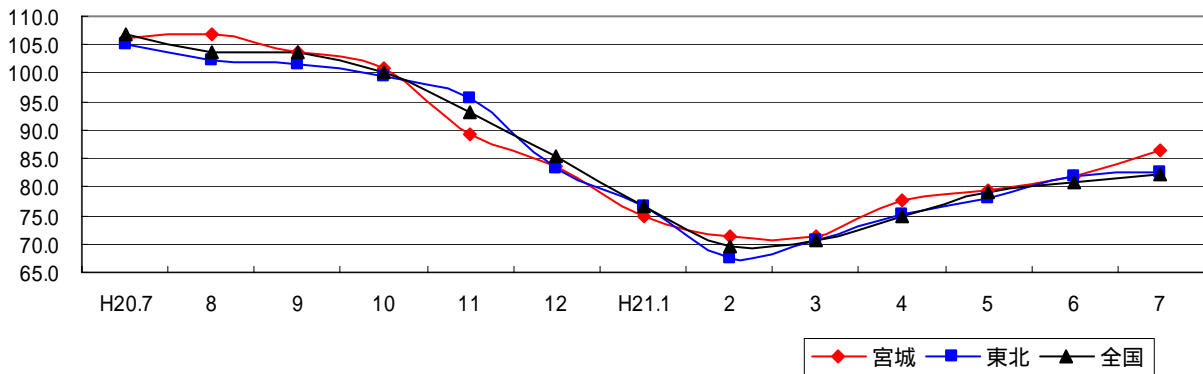
鉱工業生産指数（宮城）（資料：宮城県統計課）

宮城県における7月の鉱工業生産指数は平成17年を100として86.3となり、前月比で5.5%と4ヶ月連続の上昇となった。前年同月比では18.6%と、10ヶ月連続の低下となった。

業種別にみると、前月と比べて上昇した主な業種は「一般機械工業（上昇率39.0%）」、「鉄鋼業（同9.6%）」、「電子部品・デバイス工業（同5.8%）」、低下した主な業種は「化学、石油・石炭製品工業（低下率18.0%）」、「印刷業（同3.4%）」となっている。

(平成17年 = 100.0)

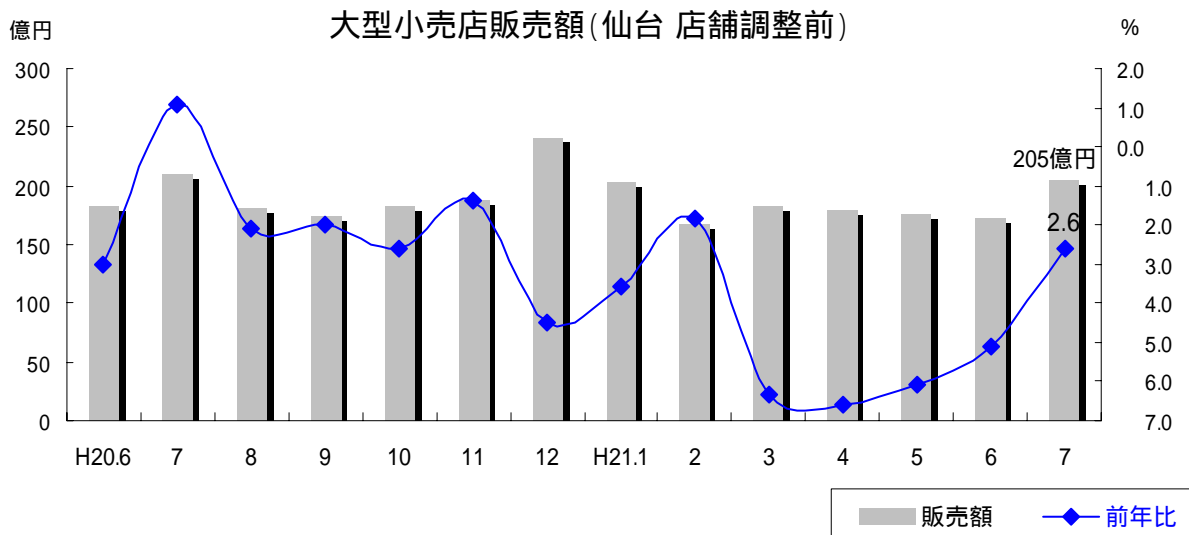
鉱工業生産指数(平成17年 = 100)季節調整値



指数 区分	季節調整済指数			原指数		
	21年6月	21年7月	前月比(%)	20年7月	21年7月	前年同月比(%)
宮城県	81.8	86.3	5.5	108.4	88.2	18.6
東北	81.9	82.7	1.0	110.3	86.7	21.4
全国	80.9	82.4	1.9	110.6	85.3	22.9

大型小売店販売額（仙台）（資料：経済産業省）

百貨店+スーパー 7月の、百貨店とスーパーの販売額の合計金額は205億円で、前年同月比で2.6%の減少となった。

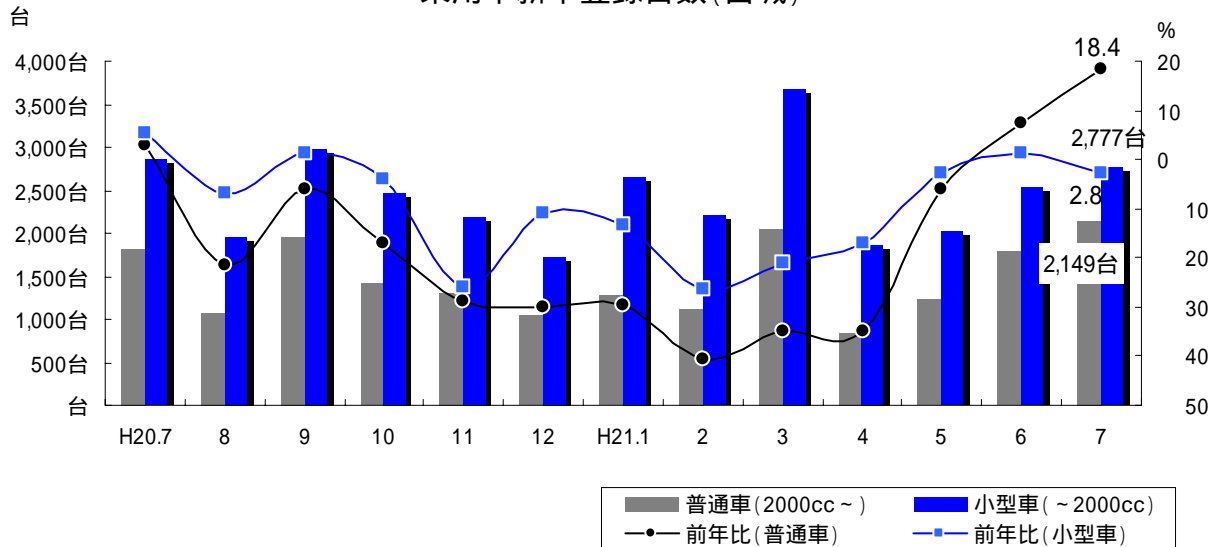


乗用車新車登録台数（宮城）

（資料：自動車販売協会連合会宮城県支部）

7月の乗用車新車登録台数は4,926台で、前年同月比で5.4%の増加となった。排気量2,000ccを超える普通車は2,149台で前年同月比18.4%の増加、2,000cc以下の小型車は2,777台で前年同月比2.8%の減少となっている。

乗用車新車登録台数(宮城)

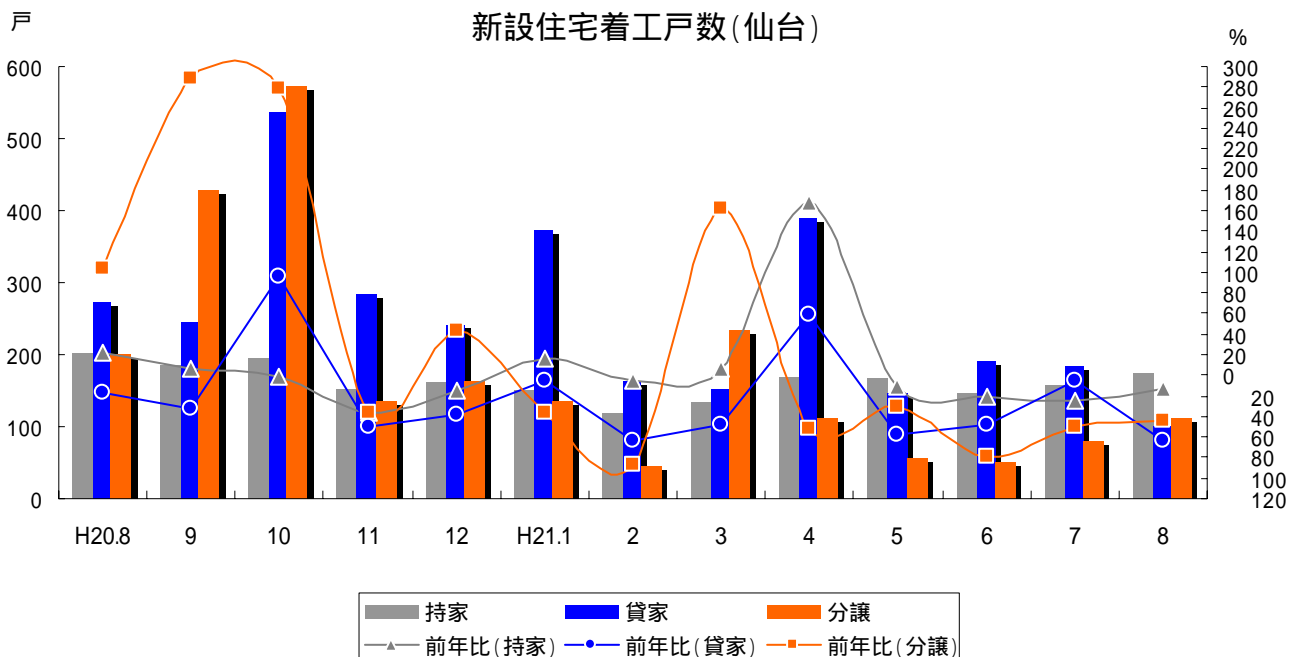


新設住宅着工戸数（仙台）

（資料：(財)建設物価調査会）

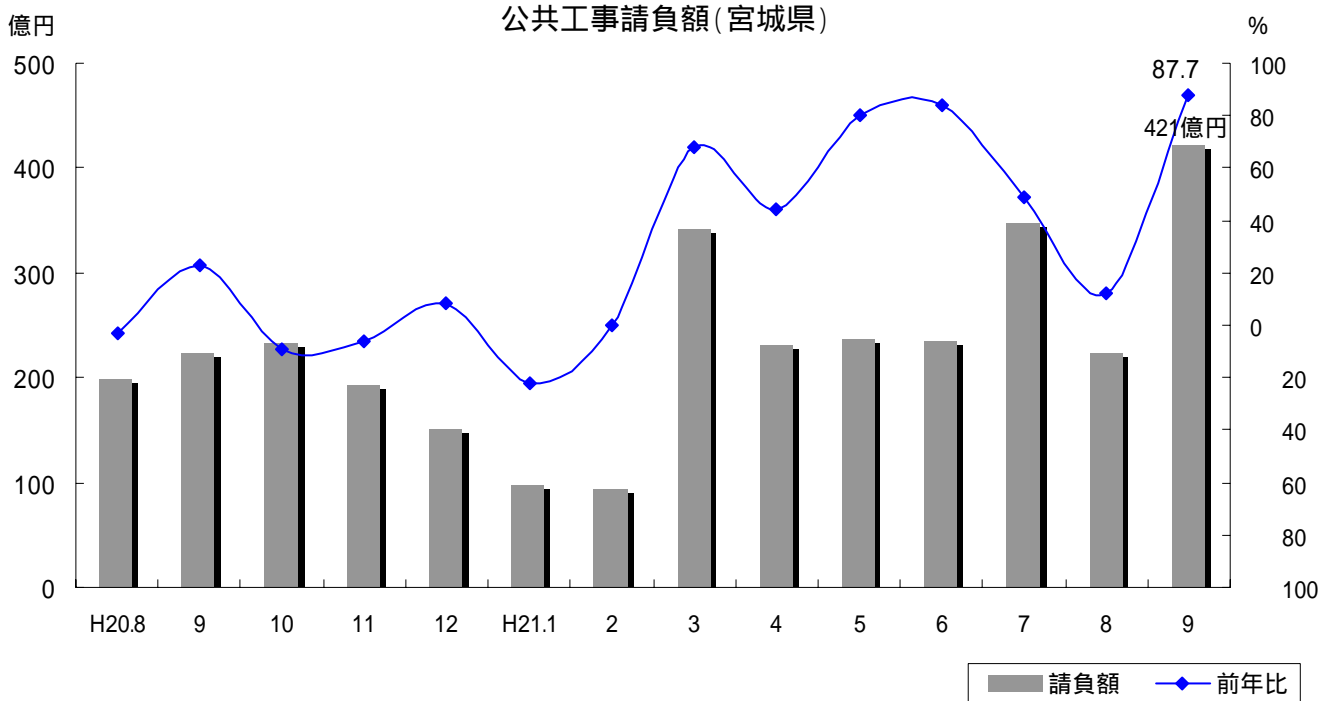
8月の新設住宅着工戸数は386戸で、前年同月比で44.5%の減少となった。主な利用関係別についてみると、「持家」が175戸で前年比13.4%の減少、「貸家」は101戸で前年比62.9%の減少、「分譲」は110戸で前年比45.0%の減少となった。

新設住宅着工戸数(仙台)



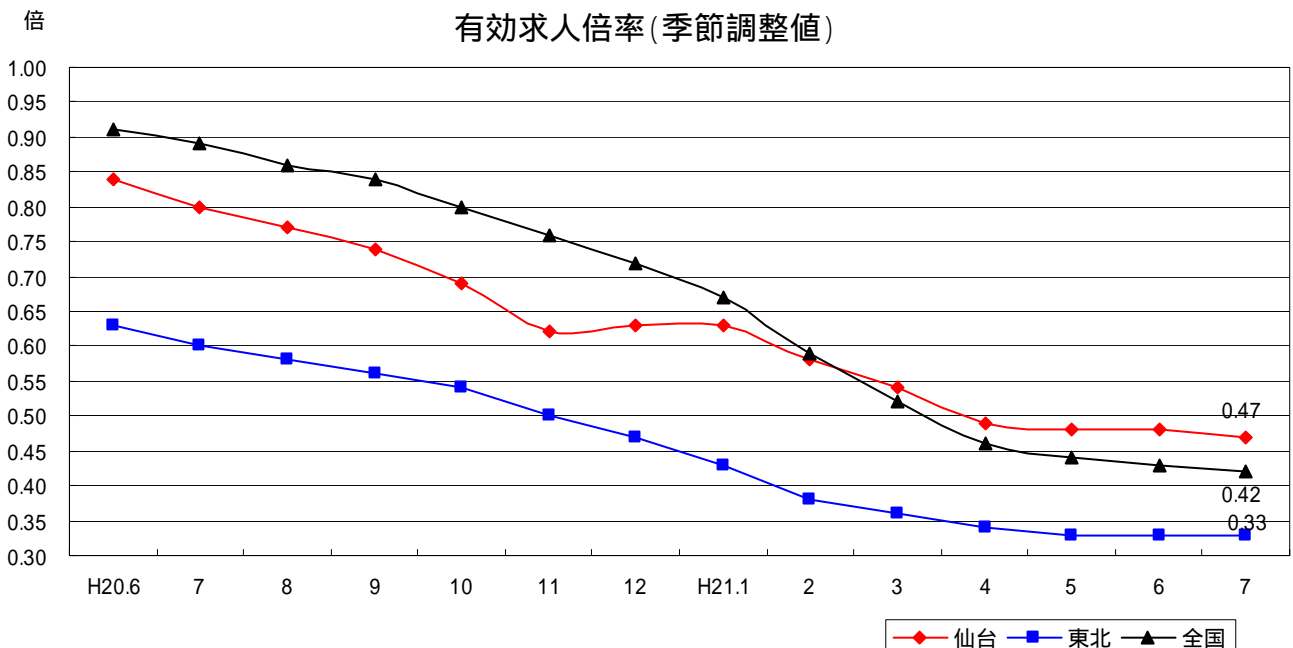
公共工事請負額（宮城）（資料：東日本建設業保証（株））

9月の公共工事請負額（宮城県内）は421億円で、前年同月比で87.7%の増加となった。



有効求人倍率（仙台及び周辺市町村）（資料：仙台公共職業安定所）

7月の仙台(ハローワークプラザ青葉および仙台学生職業センター取り扱い分)の有効求人倍率(当課の推計 パートを含む 季節調整値)は0.47倍で、前月比で0.01ポイントの減少となった。
 有効求人倍率の仙台については、平成20年3月分より、ハローワークプラザ青葉取り扱い分と仙台学生職業センター取り扱い分を含めています。

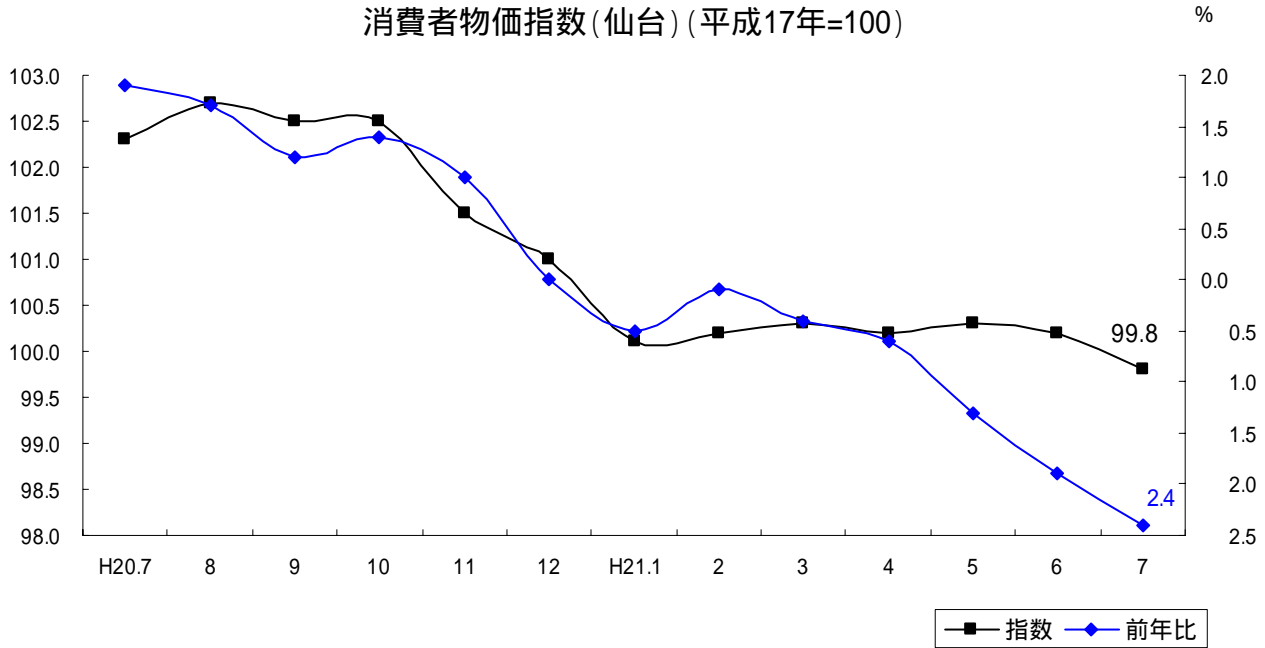


消費者物価指数（仙台）（資料：宮城県統計課）

7月の消費者物価総合指数は、平成17年を100として99.8となり、前月と比べ0.4%の下降となった。また、前年同月比では2.4%の下降となった。

10大費目別に前年同月比をみると、教育、諸雑費などが上昇し、光熱・水道、交通・通信などが下落した。

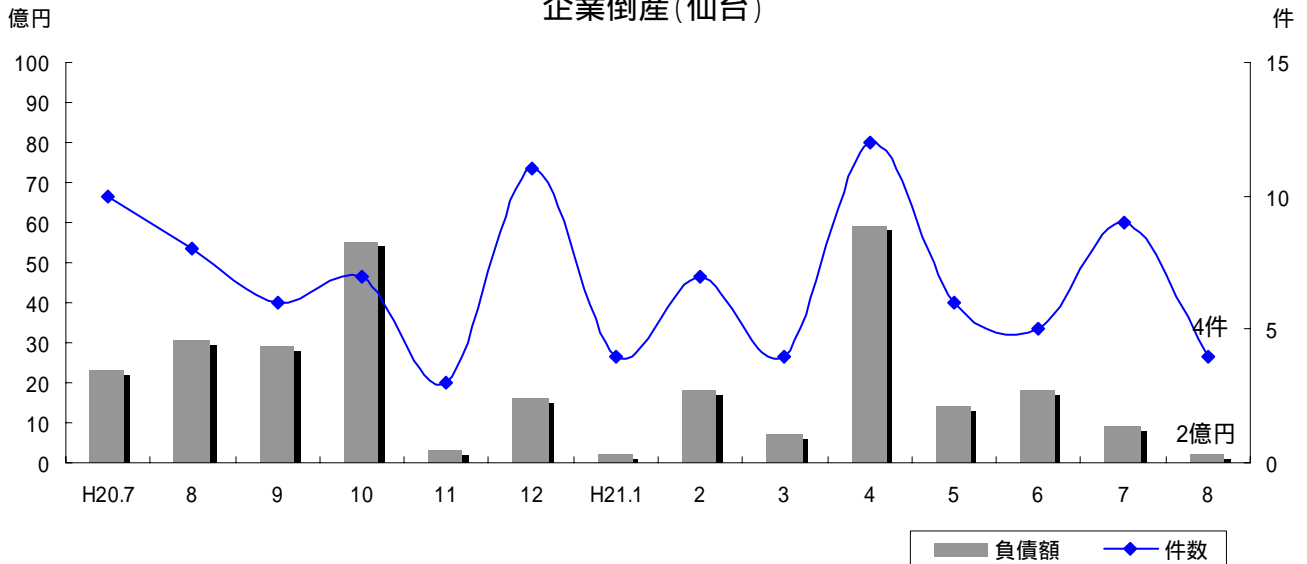
消費者物価指数（仙台）（平成17年=100）



企業倒産（仙台）（資料：(株)東京商工リサーチ）

8月の負債額1,000万円以上の倒産件数は4件、負債総額は約2億円となった。これは前年同月比で、件数では4件の減少、負債総額は約29億円の減少となっている。

企業倒産（仙台）



主要経済指標一覧表

	生産									個人消費					
	鉱工業生産指数(平成17年=100) (季節調整済,前年比は原指数)									大型小売店販売額(前年比は店舗調整前) (百貨店)					
	全国			東北			宮城			全国		東北		仙台	
	指数	前月比 (%)	前年比 (%)	指数	前月比 (%)	前年比 (%)	指数	前月比 (%)	前年比 (%)	販売額 (億円)	前年比 (%)	販売額 (百万円)	前年比 (%)	販売額 (百万円)	前年比 (%)
平成16年	98.7	-	4.9	101.3	-	3.6	102.0	-	10.2	88,536	2.8	329,872	3.9	122,894	1.7
平成17年	100.0	-	1.3	100.0	-	1.3	100.0	-	2.0	87,629	1.0	320,221	2.9	120,432	2.0
平成18年	104.5	-	4.5	103.8	-	3.8	105.8	-	5.8	86,440	1.4	304,892	4.8	110,282	8.4
平成19年	107.4	-	2.8	108.6	-	4.6	106.3	-	0.5	84,652	2.1	281,266	7.7		
平成20年	103.8	-	3.4	103.0	-	5.2	102.2	-	3.9	80,789	4.6	266,526	5.2		
20年1月～3月	109.5	0.3	2.4	109.9	1.1	0.7	105.3	2.8	0.3	20,462	1.7	70,281	3.1		
4月～6月	108.1	1.3	0.8	106.9	2.7	1.4	105.9	0.6	1.4	19,527	3.0	62,627	5.2		
7月～9月	104.6	3.2	1.4	103.1	3.6	4.7	105.6	0.3	0.8	19,014	3.4	62,520	3.5	22,000	-
10月～12月	92.8	11.3	14.5	92.8	10.0	14.9	91.1	13.7	16.5	22,095	8.0	71,097	8.7	25,199	-
21年1月～3月	72.3	22.1	34.6	71.6	22.8	34.5	72.5	20.4	32.0	18,114	11.5	61,518	12.5	20,480	-
4月～6月	78.3	8.3	27.8	78.3	9.4	26.7	79.7	9.9	25.0	16,992	11.6	54,556	12.9		-
平成20年4月	108.0	0.6	1.8	108.0	0.1	1.2	106.2	1.8	3.1	6,381	3.3	21,359	2.2		
5月	109.3	1.2	0.9	107.7	0.3	1.4	109.2	2.8	2.7	6,405	2.6	20,889	4.9	7,368	-
6月	107.1	2.0	0.2	105.0	2.5	3.9	102.3	6.3	1.6	6,441	7.5	20,379	8.6	6,678	-
7月	106.8	0.3	2.3	105.2	0.2	1.6	106.1	3.7	1.7	7,716	2.4	23,942	3.3	9,285	-
8月	103.5	3.1	7.2	102.3	2.8	9.8	106.9	0.8	0.7	5,567	3.1	19,705	3.0	6,410	-
9月	103.6	0.1	0.4	101.7	0.6	3.0	103.8	2.9	0.1	5,731	4.9	18,873	4.0	6,305	-
10月	100.1	3.4	6.6	99.5	2.2	7.8	100.7	3.0	4.8	6,369	7.2	21,092	7.9	6,962	-
11月	93.1	7.0	16.5	95.5	4.0	14.6	89.1	11.5	20.2	7,058	6.7	22,076	7.0	7,322	-
12月	85.3	8.4	20.7	83.3	12.8	22.7	83.5	6.3	24.0	8,658	9.7	27,929	10.7	10,915	-
平成21年1月	76.7	10.1	30.9	76.7	7.9	31.3	74.7	10.5	30.7	6,705	9.4	22,259	10.5	7,705	-
2月	69.5	9.4	38.4	67.4	12.1	38.3	71.5	4.3	32.0	5,144	11.8	17,462	10.9	5,868	-
3月	70.6	1.6	34.2	70.6	4.7	33.8	71.2	0.4	33.4	6,265	13.3	21,797	15.6	6,908	-
4月	74.8	5.9	30.7	75.1	6.4	30.5	77.8	9.3	26.7	5,611	12.0	18,295	14.3		-
5月	79.1	5.7	29.5	78.0	3.9	28.8	79.4	2.1	28.1	5,589	12.7	18,313	12.3		-
6月	80.9	2.3	23.5	81.9	5.0	20.9	81.8	3.0	20.1	5,792	10.1	17,948	11.9		-
7月	82.4	1.9	22.9	82.7	1.0	21.4	86.3	5.5	18.6	6,730	12.8	21,406	10.6		-
8月															
9月															
資料	経済産業省			東北経済産業局			宮城県			経済産業省					

大型小売店販売額の仙台市の平成19年10月から平成20年4月まで、及び平成21年4月から7月までの数値は、百貨店・スーパーを合算したものを次項スーパーの欄に記載しています。

個人消費

大型小売店販売額(前年比は店舗調整前) (スーパー)						乗用車新車登録台数									
全国		東北		仙台		全国		東北		宮城					
販売額 (億円)	前年比 (%)	販売額 (百万円)	前年比 (%)	販売額 (百万円)	前年比 (%)	総数 (台)	前年比 (%)	総数 (台)	前年比 (%)	総数 (台)	前年比 (%)	普通車 (台)	前年比 (%)	小型車 (台)	前年比 (%)
126,137	0.3	912,078	0.0	126,809	0.4	3,377,465	1.1	235,408	2.9	63,163	1.2	22,516	11.7	40,647	7.2
125,654	0.4	898,239	1.5	124,673	1.7	3,353,586	0.7	229,038	2.7	61,471	2.7	20,013	11.1	41,458	2.0
125,010	0.5	905,903	0.9	131,540	5.5	3,126,236	6.8	213,513	6.8	57,930	5.8	19,498	2.6	38,432	7.3
127,336	1.9	921,266	1.7	234,370	3.1	2,945,665	5.8	198,114	7.2	54,143	6.5	20,477	5.0	33,666	12.4
128,752	1.1	935,325	1.5			2,793,625	5.2	188,661	4.8	51,339	5.2	19,738	3.6	31,673	5.9
31,578	3.0	233,265	2.5	57,422	0.8	912,161	1.3	62,793	0.7	17,527	1.1	6,841	10.1	10,686	4.0
31,443	0.8	227,845	1.1	55,949	0.8	633,493	0.7	42,758	0.0	11,128	2.2	4,281	6.5	6,847	7.0
31,768	0.7	233,571	0.8	34,382	-	701,972	2.4	46,510	2.5	12,619	2.5	4,849	7.0	7,770	0.5
33,983	0.1	239,884	1.4	35,928	-	545,999	21.6	36,600	19.2	10,137	18.7	3,767	25.1	6,370	14.4
30,987	1.8	233,459	0.1	34,642	-	632,321	30.7	45,119	28.1	12,966	26.0	4,444	35.0	8,522	20.3
31,183	0.8	229,923	0.9		-	525,145	17.1	37,416	12.5	10,312	7.3	3,874	9.5	6,438	6.0
10,431	1.1	76,271	1.7	19,021	1.8	200,833	9.4	14,290	8.0	3,541	5.1	1,302	9.7	2,239	2.6
10,546	0.7	76,494	0.6	11,399	-	190,337	4.4	12,766	3.1	3,398	2.7	1,306	11.2	2,092	9.7
10,446	0.4	75,302	1.2	11,483	-	242,323	1.8	15,702	3.9	4,189	7.3	1,673	0.9	2,516	12.1
10,945	2.2	77,361	3.4	11,728	-	267,263	9.4	17,682	7.3	4,672	4.4	1,815	3.1	2,857	5.3
10,964	0.1	84,893	0.0	11,730	-	165,653	12.9	11,021	12.1	3,022	12.6	1,075	21.4	1,947	6.9
9,859	0.4	71,577	0.6	10,925	-	269,056	5.6	17,807	4.8	4,925	1.8	1,959	6.0	2,966	1.2
10,299	0.0	73,393	0.6	11,242	-	202,119	13.4	14,341	10.1	3,902	9.2	1,430	16.9	2,472	4.1
10,752	1.8	75,571	2.9	11,490	-	185,941	24.9	12,785	27.0	3,408	27.0	1,296	29.0	2,184	25.8
12,932	1.1	90,964	0.8	13,195	-	157,939	22.9	9,474	19.9	2,755	19.2	1,041	29.9	1,714	10.9
11,364	0.2	87,161	1.7	12,468	-	153,273	28.0	11,133	22.9	3,922	19.4	1,269	29.7	2,653	13.4
9,374	3.4	70,677	1.0	10,784	-	193,398	32.2	12,281	30.1	3,324	31.8	1,122	40.6	2,202	26.2
10,249	2.1	75,621	0.8	11,390	-	285,650	31.0	21,705	29.5	5,720	26.6	2,053	34.8	3,667	21.0
10,349	0.7	76,851	0.8		-	146,229	27.2	10,863	24.0	2,707	23.6	848	34.9	1,859	17.0
10,596	0.5	78,398	2.7		-	159,410	16.2	11,893	6.8	3,263	4.0	1,229	5.9	2,034	2.8
10,237	2.1	74,675	0.7		-	219,506	9.4	14,660	6.6	4,342	3.7	1,797	7.4	2,545	1.2
10,630	2.9	76,981	0.4		-	265,811	0.5	19,824	12.1	4,926	5.4	2,149	18.4	2,777	2.8
経済産業省						(社)日本自動車販売協会連合会									

大型小売店販売額の仙台市の平成19年10月から平成20年4月まで、及び平成21年4月から7月までの数値は、百貨店・スーパーを合算したものを次項スーパーの欄に記載しています。

	家計消費						住宅投資							
	1世帯あたり消費支出(全世帯) (前年比は名目値)						新設住宅着工戸数							
	全国		東北		仙台		全国		東北		仙台			
	支出額 (円)	前年比 (%)	支出額 (円)	前年比 (%)	支出額 (円)	前年比 (%)	総数		総数		総数		持家	
戸数							前年比 (%)	戸数	前年比 (%)	戸数	前年比 (%)	戸数	前年比 (%)	
平成16年	302,975	0.4	293,172	4.5	303,273	8.8	1,189,049	2.5	64,492	0.6	10,903	6.0	2,422	5.8
平成17年	300,531	0.8	286,825	2.2	319,309	5.3	1,236,175	4.0	64,617	0.2	12,904	18.4	2,293	5.3
平成18年	294,943	1.9	274,927	4.1	289,537	9.3	1,290,391	4.4	67,005	3.7	14,937	15.8	2,353	2.6
平成19年	297,782	1.0	289,345	5.2	306,736	5.9	1,060,741	17.8	56,511	15.7	12,502	16.3	2,087	11.3
平成20年	296,932	0.3	285,636	1.3	292,660	4.6	1,093,485	3.1	52,096	7.8	8,804	29.6	1,914	8.3
20年1月～3月	299,406	1.7	305,798	7.5	332,778	12.5	253,924	9.0	10,821	13.7	2,173	41.1	378	15.2
4月～6月	293,591	1.0	288,013	1.7	310,113	2.0	289,663	11.0	13,706	18.5	2,063	49.6	434	20.7
7月～9月	290,381	0.2	264,721	6.2	260,884	10.6	291,301	40.2	14,132	9.4	2,126	10.6	594	25.8
10月～12月	304,414	2.0	284,013	4.5	266,865	17.4	258,597	4.1	13,437	5.6	2,442	4.3	508	18.3
21年1月～3月	289,388	3.5	279,537	9.4	263,873	26.1	199,619	21.4	9,155	15.4	1,505	27.0	401	6.1
4月～6月	289,702	1.3	279,214	3.2	317,887	2.5	197,271	31.9	10,760	21.5	1,429	30.7	483	11.3
平成20年4月	310,695	1.7	314,788	7.6	352,525	9.9	97,930	8.7	4,517	20.1	645	53.6	63	69.0
5月	288,128	1.7	272,024	7.2	309,912	13.0	90,804	6.5	4,269	7.2	620	24.4	185	24.1
6月	281,951	0.5	277,228	4.0	267,902	24.4	100,929	16.7	4,920	25.1	798	57.6	186	4.6
7月	298,366	2.3	265,319	9.9	273,575	4.9	97,212	19.0	4,645	8.2	573	49.8	206	58.5
8月	291,154	1.6	276,361	8.3	263,472	10.6	96,905	53.6	4,368	22.0	696	18.0	202	21.7
9月	281,433	0.0	252,483	0.6	245,605	16.2	97,184	54.2	5,119	19.7	857	32.3	186	5.7
10月	291,504	1.8	268,329	8.0	260,611	21.3	92,123	19.8	5,265	19.8	1,302	109.3	194	0.5
11月	284,762	0.7	258,436	4.0	247,811	12.6	84,277	0.0	3,945	20.5	572	44.2	152	35.6
12月	336,976	4.2	325,274	2.0	292,174	17.5	82,197	5.8	4,227	13.5	568	18.3	162	15.2
平成21年1月	291,440	5.9	270,931	13.6	277,405	19.0	70,688	18.7	3,261	7.6	659	10.2	150	16.3
2月	266,044	3.5	250,220	8.0	243,145	29.5	62,303	24.9	2,631	27.6	326	64.8	119	4.8
3月	310,680	0.6	317,460	5.1	271,070	25.8	66,628	20.7	3,263	10.7	520	1.4	132	6.5
4月	306,340	1.4	302,350	4.1	333,888	5.6	66,198	32.4	3,613	20.0	669	3.7	169	168.3
5月	285,530	0.9	275,251	1.2	319,330	2.9	62,805	30.8	3,531	17.3	369	53.8	166	10.3
6月	277,237	1.7	260,040	6.6	300,443	12.1	68,268	32.4	3,616	26.7	391	51.0	148	20.4
7月	285,078	4.7	275,779	3.8	268,275	1.9	65,974	32.1	3,436	26.0	420	26.7	157	23.8
8月	290,972	0.1	262,654	5.2	291,177	10.5	59,749	38.3			386	44.5	175	13.4
9月														
資料	総務省						国土交通省							

住宅投資				公共投資				雇用								
新設住宅着工戸数				公共工事請負金額				新規求人(パートを含む) (原数値)			有効求人倍率 (パートを含む)			所定外労働時間(製造業) (従業者規模30人以上)		
仙台				全国	東北	宮城		全国	仙台		全国	東北	仙台	全国	宮城	
貸家		分譲		前年(度)比 (%)		請負額 (百万円)	前年 (度)比 (%)	前年比 (%)	求人数 (人)	前年比 (%)	倍(季節調整値)			前年比 (%)	時間	前年比 (%)
戸数	前年比 (%)	戸数	前年比 (%)													
5,518	4.6	2,824	5.1	11.1	11.9	293,042	6.6	11.7	106,256	3.6	0.83	0.64	1.14	7.5	16.4	-
7,429	34.6	3,102	9.8	5.6	7.3	249,963	14.7	10.3	113,225	6.6	0.95	0.68	1.26	0.4	16.0	-
9,367	26.1	3,184	2.6	5.2	7.3	231,201	7.5	4.3	124,894	10.3	1.06	0.77	1.37	3.5	17.3	7.7
6,750	27.9	3,557	11.7	4.1	5.0	201,324	12.9	6.4	116,964	6.3	1.04	0.76	1.40	0.9	16.7	6.0
3,882	42.5	2,879	19.1	0.1	2.1	207,201	2.9	15.8	87,561	25.1	0.88	0.60	0.78	6.3	15.3	2.7
1,129	39.7	666	51.2	5.2	11.9	42,077	16.2	13.8	24,081	31.3	0.98	0.68	0.87	1.5	15.7	6.9
970	56.1	552	57.1	8.4	22.4	41,943	12.6	15.3	22,733	22.2	0.92	0.65	0.85	1.4	15.1	1.8
720	49.8	790	87.6	4.7	7.7	65,697	14.8	16.1	21,895	21.0	0.85	0.58	0.77	5.0	15.2	0.3
1,063	13.8	871	80.3	2.8	7.6	57,484	4.1	18.3	18,852	24.5	0.76	0.51	0.65	19.6	15.0	13.4
690	38.9	414	37.8	7.8	6.3	53,078	26.1	23.6	20,792	13.7	0.59	0.39	0.58	47.5	10.3	39.4
730	24.7	216	60.9	13.0	20.1	70,265	67.5	23.4	17,139	24.6	0.44	0.33	0.48	43.2	10.9	33.5
245	60.9	230	58.9	4.7	27.2	16,052	17.8	12.6	7,276	20.5	0.93	0.66	0.82	1.7	15.6	1.1
355	17.8	80	66.5	9.6	15.4	13,135	7.4	15.6	8,376	18.1	0.92	0.66	0.88	0.2	14.7	1.8
370	67.9	242	50.4	11.3	19.4	12,756	21.3	17.9	7,081	28.2	0.91	0.63	0.84	2.2	15.0	4.7
204	72.7	163	23.5	13.8	8.4	23,335	27.0	13.5	7,585	21.2	0.89	0.60	0.80	2.8	15.8	0.8
272	16.6	200	104.1	6.0	2.1	19,919	3.4	21.3	6,624	31.8	0.86	0.58	0.77	5.7	14.5	1.5
244	32.4	427	288.2	5.5	12.4	22,443	23.2	13.4	7,686	8.2	0.84	0.56	0.74	6.5	15.3	1.4
537	95.3	571	278.1	0.4	7.5	23,157	9.5	18.1	6,887	32.1	0.80	0.54	0.69	9.0	15.7	6.9
284	50.1	136	37.3	2.8	0.3	19,308	5.9	23.7	5,410	38.0	0.76	0.50	0.62	19.4	15.9	11.2
242	37.8	164	42.6	6.4	17.1	15,019	8.7	12.0	6,555	7.3	0.72	0.47	0.63	30.4	13.3	22.1
373	4.4	136	36.7	1.9	5.4	9,707	22.3	18.4	7,071	10.9	0.67	0.43	0.63	40.7	10.5	32.9
163	62.9	44	87.8	2.8	10.1	9,261	0.3	30.1	6,290	27.0	0.59	0.38	0.58	50.2	10.5	41.3
154	48.7	234	162.9	15.3	13.1	34,110	68.0	22.3	7,431	1.3	0.52	0.36	0.54	50.8	9.8	43.4
390	59.2	110	52.2	20.5	21.4	23,137	44.1	26.5	5,541	23.8	0.46	0.34	0.49	46.8	10.3	39.3
148	58.3	55	31.3	2.5	0.2	23,637	80.0	34.5	4,833	42.3	0.44	0.33	0.48	42.2	10.5	34.8
192	48.1	51	78.9	12.7	33.4	23,491	84.2	22.3	6,765	4.5	0.43	0.33	0.48	40.5	12.0	26.3
183	5.4	80	50.9	2.5	23.1	34,774	49.0	23.4	6,497	14.6	0.42	0.33	0.47	34.6	12.9	26.2
101	62.9	110	45.0			22,348	12.2	24.2								
						42,124	87.7									
国土交通省				保証事業会社協会		東日本建設業保証(株)		厚生労働省	仙台公共職業安定所		厚生労働省	東北6県労働局	仙台公共職業安定所	厚生労働省	宮城県	

有効求人倍率の仙台については、平成20年4月分より、ハローワークプラザ青葉取り扱い分と仙台学生職業センター取り扱い分を含めています。

	物 価						金 融							
	消費者物価指数 (平成17年 = 100)						金融機関預金残高(末残)				金融機関貸出残高(末残)			
	全 国			仙 台			全 国	東 北	仙 台		全 国	東 北	仙 台	
	指数	前月比 (%)	前年比 (%)	指数	前月比 (%)	前年比 (%)	前年(度)比 (%)		残高 (億円)	前年 (度)比 (%)	前年(度)比 (%)		残高 (億円)	前年 (度)比 (%)
平成16年	100.3	-	0.0	100.6	-	0.3	1.3	0.2	68,411	0.4	2.4	1.9	44,223	1.9
平成17年	100.0	-	0.3	100.0	-	0.6	1.5	0.2	68,741	0.5	1.1	0.5	44,618	0.9
平成18年	100.3	-	0.3	100.3	-	0.3	0.7	0.1	69,231	0.7	1.4	0.3	45,220	1.3
平成19年	100.3	-	0.0	100.5	-	0.2	3.0	1.5	72,142	4.2	0.1	1.3	44,876	0.8
平成20年	101.6	-	1.3	101.6	-	1.1	2.0	1.5	72,086	0.1	4.3	1.9	45,985	2.5
20年1月～3月	100.7	0.1	0.9	100.5	0.4	0.8	2.6	1.0	71,772	4.7	1.2	0.1	45,012	0.2
4月～6月	101.6	0.9	1.4	101.5	1.0	1.1	2.9	1.8	72,339	2.9	1.7	0.6	45,810	2.0
7月～9月	102.6	1.0	2.2	102.5	1.0	1.6	2.3	1.3	72,084	2.4	1.8	0.8	46,275	1.9
10月～12月	101.9	0.7	1.1	101.7	0.8	0.8	2.0	1.5	72,147	0.0	4.3	1.9	46,843	4.4
21年1月～3月	100.6	1.3	0.1	100.2	1.5	0.3	2.5	1.8	71,813	0.1	4.0	1.7	46,191	2.6
4月～6月	100.6	0.0	1.0	100.2	0.0	1.3	2.3				2.7			
平成20年4月	100.9	0.1	0.8	100.8	0.1	0.4	2.3	1.2	72,957	3.0	1.2	0.1	45,647	0.9
5月	101.7	0.8	1.3	101.6	0.8	0.9	1.8	1.7	71,458	2.7	2.1	0.6	45,824	1.8
6月	102.2	0.5	2.0	102.1	0.5	1.9	2.9	1.8	72,601	3.2	1.7	0.6	45,960	2.3
7月	102.4	0.2	2.3	102.3	0.2	1.9	2.2	2.3	72,135	3.4	2.1	1.1	46,028	2.8
8月	102.7	0.3	2.1	102.7	0.4	1.7	2.4	2.7	72,589	3.3	2.0	1.1	45,822	2.5
9月	102.7	0.0	2.1	102.5	0.2	1.2	2.3	1.3	71,529	1.6	1.8	0.8	46,974	3.4
10月	102.6	0.1	1.7	102.5	0.0	1.4	1.9	1.6	71,641	1.5	3.3	1.9	46,995	5.1
11月	101.7	0.9	1.0	101.5	1.0	1.0	1.7	2.2	72,094	1.6	3.9	2.6	47,633	6.2
12月	101.3	0.4	0.4	101.0	0.5	0.0	2.0	1.5	72,707	0.8	4.3	1.9	45,901	2.3
平成21年1月	100.7	0.6	0.0	100.1	0.9	0.5	1.8	1.6	71,639	0.3	4.1	2.5	46,207	3.5
2月	100.4	0.3	0.1	100.2	0.1	0.1	2.3	2.5	72,729	0.6	4.1	2.6	46,169	3.0
3月	100.7	0.3	0.3	100.3	0.1	0.4	2.5	1.8	71,070	0.2	4.0	1.7	46,216	1.3
4月	100.8	0.1	0.1	100.2	0.1	0.6	2.4	2.7	73,240	0.4	3.9	2.5	46,580	2.0
5月	100.6	0.2	0.9	100.3	0.1	1.3	2.3	2.9	72,474	1.4	3.7	2.3	46,395	1.2
6月	100.4	0.2	1.8	100.2	0.1	1.9	2.3				2.7			
7月	100.1	0.3	2.3	99.8	0.4	2.4								
8月	100.4	0.3	2.3											
9月														
資 料	総務省			宮城県			日本 銀行	東北 財務局	宮城県銀行協会		日本 銀行	東北 財務局	宮城県銀行協会	

金融機関預金・貸出残高の全国・東北には、信用組合・農林漁業金融機関・労働金庫分は含まない。

倒産（負債総額1千万円以上）											
倒産件数						負債額					
全国		東北		仙台		全国		東北		仙台	
件数 (件)	前年比 (%)	件数 (件)	前年比 (%)	件数 (件)	前年比 (%)	負債額 (億円)	前年比 (%)	負債額 (億円)	前年比 (%)	負債額 (万円)	前年比 (%)
13,679	15.8	790	13.4	118	0.9	78,177	32.5	3,239	12.6	6,223,300	23.9
12,998	5.0	810	2.5	125	5.9	67,035	14.3	2,731	15.7	3,095,900	50.3
13,245	1.9	793	2.1	96	23.2	55,006	17.9	2,407	11.9	2,636,600	14.8
14,091	6.4	781	1.5	93	3.1	57,279	4.1	2,756	14.5	2,591,600	1.7
15,646	11.0	912	16.8	98	5.4	122,920	114.6	3,114	13.0	3,054,400	17.9
3,715	8.0	217	10.7	27	12.9	14,194	5.0	673	5.4	879,900	29.2
3,829	5.9	236	18.0	26	73.3	17,602	35.4	887	13.3	614,500	149.9
4,034	16.4	239	31.3	24	0.0	68,958	310.2	933	90.9	823,200	35.8
4,068	13.9	220	8.4	21	12.5	22,165	58.9	620	2.2	736,800	48.1
4,215	13.5	201	7.8	15	44.4	31,464	121.7	630	6.9	271,700	69.1
3,954	3.3	193	18.2	23	11.5	15,389	12.6	684	22.8	915,400	49.0
1,215	8.4	77	28.3	3	0.0	7,181	16.5	449	39.5	141,600	461.9
1,290	1.5	82	24.2	12	100.0	5,498	49.1	128	16.0	86,100	49.7
1,324	11.7	77	4.1	11	83.3	4,924	56.1	310	142.4	386,800	679.8
1,372	12.9	82	46.4	10	150.0	6,653	90.2	333	82.4	228,700	112.7
1,254	4.2	79	0.0	8	20.0	8,680	0.2	255	97.9	307,500	219.3
1,408	34.5	78	66.0	6	33.3	53,625	1,064.2	345	94.5	287,000	28.7
1,429	13.4	95	23.4	7	41.7	10,077	118.5	252	11.1	546,000	130.8
1,277	5.2	48	14.3	3	50.0	5,761	16.9	158	15.6	30,100	70.9
1,362	24.1	77	10.0	11	83.3	6,327	43.3	211	9.0	160,700	2.2
1,360	15.8	71	9.2	4	55.6	8,390	44.3	300	16.6	22,600	96.1
1,318	10.4	63	12.5	7	41.7	12,292	236.6	139	12.5	180,100	4.3
1,537	14.1	67	17.3	4	33.3	10,782	127.9	192	26.6	69,000	38.5
1,329	9.4	63	18.2	12	300.0	5,219	27.3	240	46.5	591,700	317.9
1,203	6.7	62	24.4	6	50.0	5,399	1.8	280	119.6	140,500	63.2
1,422	7.4	68	11.7	5	54.5	4,771	3.0	164	47.2	183,200	52.6
1,386	1.0	69	15.9	9	10.0	3,710	44.2	119	64.3	90,700	60.3
1,241	1.0	53	32.9	4	50.0	2,842	67.2	73	71.5	19,000	93.8

(株)東京商工リサーチ



お手数ですが、最初に「ご記入者」「電話番号」欄をご記入ください。
 なお、貴事業所の「名称」「所在地」に誤りがございましたら、恐縮ですが、訂正願います。

名称		所在地	
ご記入者	部課名	役職	ご芳名
		Tel	
事業所		小分類	記号

貴事業所が本店・本社の場合は仙台市内全事業所を通じての判断を、支店・支社の場合は貴事業所関係分のみの判断を記入してください。

設問1 貴事業所の、売上、収益等の状況について、おたずねします。

それぞれ、該当する番号を1つ選び、をつけてください。

今期(平成21年7月～9月期)の実績	➡	前年同期(平成20年7月～9月期)と比べて。
来期(平成21年10月～12月期)の見通し	➡	前年同期(平成20年10月～12月期)と比べて。

設問1-1 売上高

今期の実績	1. 増加した	2. 変化がなかった	3. 減少した
来期の見通し	1. 増加する	2. 変化はない	3. 減少する

設問1-2 販売数量

今期の実績	1. 増加した	2. 変化がなかった	3. 減少した
来期の見通し	1. 増加する	2. 変化はない	3. 減少する

設問1-3 経常利益

今期の実績	1. 増加した	2. 変化がなかった	3. 減少した
来期の見通し	1. 増加する	2. 変化はない	3. 減少する

設問2 貴事業所の、製品単価、原材料価格の状況について、おたずねします。

それぞれ、該当する番号を1つ選び、をつけてください。

今期(平成21年7月～9月期)の実績	➡	前期(平成21年4月～6月期)と比べて。
来期(平成21年10月～12月期)の見通し	➡	今期(平成21年7月～9月期)と比べて。

設問2-1 製(商)品単価 製(商)品を持たない業種の場合は未記入で結構です。

今期の実績	1. 上昇した	2. 変化がなかった	3. 下降した
来期の見通し	1. 上昇する	2. 変化はない	3. 下降する

設問2-2 原材料(仕入)価格 原材料を持たない業種の場合は未記入で結構です。

今期の実績	1. 上昇した	2. 変化がなかった	3. 下降した
来期の見通し	1. 上昇する	2. 変化はない	3. 下降する

設問3 貴事業所の、今期の在庫、労働力、設備、資金繰りの状況について、おたずねします。

それぞれ、該当する番号を1つ選び、 をつけてください。

今期（平成21年 7月～ 9月期）の状況

設問3 - 1 製（商）品在庫 製（商）品を持たない業種の場合は未記入で結構です。

今期の状況	1. 過剰	2. やや過剰	3. 適正	4. やや不足	5. 不足
-------	-------	---------	-------	---------	-------

設問3 - 2 労働力 パートタイム、アルバイト等の非正規雇用従業員を含みます。

今期の状況	1. 過剰	2. やや過剰	3. 適正	4. やや不足	5. 不足
-------	-------	---------	-------	---------	-------

設問3 - 3 生産・営業用設備

今期の状況	1. 過剰	2. やや過剰	3. 適正	4. やや不足	5. 不足
-------	-------	---------	-------	---------	-------

設問3 - 4 資金繰り

今期の状況	1. 楽である	2. やや楽である	3. 普通	4. やや苦しい	5. 苦しい
-------	---------	-----------	-------	----------	--------

設問4 貴事業所の、今後の従業員数、設備投資の予定について、おたずねします。

来期以降の方向について、それぞれ該当する番号を1つ選び、 をつけてください。

設問4 - 1 正規従業員数

今後の予定	1. 増員する	2. 変化させない	3. 減員する
-------	---------	-----------	---------

設問4 - 2 非正規従業員数 季節的な要因を除いてご回答ください。

今後の予定	1. 増員する	2. 変化させない	3. 減員する
-------	---------	-----------	---------

設問4 - 3 生産・営業用設備

今後の予定	1. 増強する	2. 変化させない	3. 縮小する
-------	---------	-----------	---------

設問5 貴事業所の業況について、おたずねします。

それぞれ、該当する番号を1つ選び、 をつけてください。季節的な要因を除いてご回答ください。

今期（平成21年 7月～ 9月期）の実績

設問5 - 1 今期の事業所の業況（業況の良し悪し）

今期の実績	1. 良い	2. 普通	3. 悪い
-------	-------	-------	-------

< 「1. 良い」とお答えの方へ > 「良い」とお答えの理由を、下の欄にご記入ください。

「良い」理由	例.) 新製品の売上が伸び、販売目標を超える売上があったため。

< 「3. 悪い」とお答えの方へ > 「悪い」とお答えの理由を、下の欄にご記入ください。

「悪い」理由	例.) 需要の減少により、製品在庫量が適正量より増加したため。

それぞれ、該当する番号を1つ選び、をつけてください。季節的な要因を除いてご回答ください。

来期（平成21年10月～12月期）の見通し

設問5 - 2 来期の事業所の業況（業況の良し悪し）

来期の見通し	1. 良い	2. 普通	3. 悪い
--------	-------	-------	-------

<「1. 良い」とお答えの方へ> 「良い」とお答えの理由を、下の欄にご記入ください。

「良い」理由	例.) 新製品の売上が伸び、販売目標を超える売上有ると予想されるため。

<「3. 悪い」とお答えの方へ> 「悪い」とお答えの理由を、下の欄にご記入ください。

「悪い」理由	例.) 需要の減少により、製品在庫量が適正量より増加すると予想されるため。

設問6 貴事業所の業況の変化について、おたずねします。

今期(平成21年7月～9月期)の実績 ➡ 前年同期(平成20年7月～9月期)と比べて。

設問6 - 1 事業所の業況（業況の変化）

該当する番号を1つ選び、をつけてください。

今期の実績	1. 好転した	2. 変化なし	3. 悪化した
-------	---------	---------	---------

設問7 貴事業所の経営上の課題について、おたずねします。

設問7 - 1 経営上の課題

該当する番号を3つまで選び、をつけてください。

1. 合理化・省力化不足	2. 設備・店舗等の老朽化又は狭い	3. 原材料・仕入製(商)品高
4. 設備過剰	5. 売上・受注の停滞、不振	6. 資金繰り・金融難
7. 求人・人材難	8. 人件費高騰	9. 在庫過大
10. 販売価格の値下げ	11. 競争の激化	12. 生産・販売能力の不足
13. 諸経費の増加	14. 立地条件の悪化	15. その他()
16. 特になし		

最後に、本市の産業政策に関するご意見・ご要望等がございましたら、以下にご記入ください。

ご協力、誠にありがとうございました。

お問い合わせ先

仙台市 経済局 産業政策部 経済企画課

電話:022-214-8275 FAX:022-267-6292 E-mail:kei008010@city.sendai.jp

発 行

仙台市経済局産業政策部経済企画課

〒980-8671 仙台市青葉区国分町3 - 7 - 1

電 話 022-214-8275

F A X 022-267-6292

E-mail kei008010@city.sendai.jp

U R L <http://www.city.sendai.jp/keizai/kikaku/>